

14.2
717

農事改良資料 第七四

昭和九年三月

小麥增殖獎勵協議會要錄

農林省農務局



始



小麥增殖獎勵協議會要錄

目次

一	昭和七年六月開催小麥增殖獎勵協議會	一頁
第二	後藤農林大臣訓示要旨	三
第三	小平農務局長指示事項要旨	三
第三	議事日程	三
第四	議事經過ノ大要	三
第五	會議出席者氏名	三
	昭和八年四月開催小麥增殖獎勵關係技術官會議	
第一	後藤農林大臣訓示要旨	二九
第二	長瀬農務局長指示事項要旨	三一
第三	農林省提出協議事項	三八
第四	道府縣提出協議事項	三八



發行所寄贈本



第五 農林省提出協議事項答申要旨……………四〇

第六 農林省提出協議事項決議……………六七

第七 議事日程……………八四

第八 議事經過ノ大要……………八五

第九 會議出席者氏名……………一二五



發行所 農林省



小麥増殖獎勵協議會要録

昭和七年六月開催小麥増殖獎勵關係官會議

第一 後藤農林大臣訓示要旨

近時我國ニ於ケル小麥ノ需要ハ逐年増大ノ勢ヲ示シ國民ノ主要食糧トシテ米ト相竝ンデ益々重要ナル地位ヲ占メントシツ、アリマスガ遺憾ナガラ國內ノ生産ハ之ニ伴ハズ爲ニ年々海外ヨリ多量ノ小麥ノ輸入ヲ見最近數年間ノ事實ニ徴スルモ其ノ多キハ五百四十萬石、價額七千萬圓ヲ超ユルノ状態ニ在リマス此ノ状態ニ鑑ミルトキハ此ノ際國內ニ於ケル小麥ノ増殖ヲ圖ルコトハ食糧政策上竝ニ國際貸借改善上極メテ緊要ノコト、言ハネバナリマセヌ更ニ我國農業經營ノ極メテ小規模ナル事實ニ即シテ考フレバ其ノ改善ノ要諦ハ經營ヲシテ益々集約ナラシムルコトニ存スルノデアツテ之ガ爲ニハ裏作物トシテ最有望ナル小麥ノ栽培ヲ獎勵シ冬季休閑ノ状態ニ放置セラル、耕地ノ利用ト農家餘剩勞力ノ活用ノ途ヲ拓クガ如キハ最モ急務トスル所デアリマス殊ニ最近我國農村ノ事情ハ頗ル窮迫ヲ告ゲ政府ニ於テモ之ガ對策ニ付イテ各方面ニ亘リ銳意攻究ヲナシツ、アルノデアリマスガ就中本施設ノ如キハ直チニ



142717

農家ノ收益増加ヲ齎シ農家經濟ノ作興ニ資スルコト鮮少ナラザルモノトシテ極メテ重要視シテ居ル次第デアリマス

政府ニ於テハ從來ト雖小麥ノ改良増殖ニ關スル方策ノ重要性ヲ認メ種々施設ヲ講ジ來ツタノデアリマス然シ此ノ程度ノ施設ヲ以テシテハ猶充分ナル效果ヲ期待シ難ク而モ一面ニ於テハ上述ノ如ク小麥増殖ノ事タル我國民經濟上喫緊ノ要務タルニ鑑ミ此處ニ一大決心ヲ以テ其ノ増殖ノ促進ヲ圖ル爲徹底シタル獎勵助長ノ方策ヲ講ズルコト、致シタノデアリマス

農家ヲシテ小麥ノ耕作ニ嚮ハシムル爲ニハ先ヅ以テ小麥ノ價格ヲ相當ノ程度ニ維持スルコトガ必須條件デアリマス然ルニ最近我國ニ於ケル小麥ノ價格ハ輸入小麥價格ノ影響ニ依リ著シキ低落ヲ示シ一般ノ農産物價格殊ニ米價等ニ比シテ其ノ程度甚シキモノガアルノデアリマス仍テ政府ハ小麥關稅ノ引上ヲ行フノ急務ナルヲ認メ過般ノ臨時議會ニ關稅定率法ノ改正ヲ提案シ從來每百斤一圓五十錢ノ關稅ヲ二圓五十錢ニ引上ゲタノデアリマス右關稅ノ改正ハ必ズヤ小麥ノ國內價格ニ好影響ヲ及ボスベク之ガ小麥ノ國內生産助長ノ上ニ相當ノ效果ヲ齎スベキハ期待シテ誤ラザル處ト信ズルノデアリマス

然シ乍ラ小麥増殖ノ實ヲ舉グル爲ニハ之ノミヲ以テハ未ダ充分ナリト言ヒ得マセン故ニ政府ニ於テハ更ニ昭和七年度以降毎年百七十萬圓ニ上ル經費ヲ投ジテ最モ有效適切ト信ズル小麥増殖獎勵計畫ヲ遂

行センコトヲ企圖シ之ニ關スル經費ヲ特ニ追加豫算トシテ臨時議會ニ提案シ其ノ成立ヲ見タノデアリマス即チ五箇年ヲ一期トシテ三百萬石以上ノ增收ヲ目標トシ栽培面積ニ於テ約二十萬町步單位面積當收量ニ於テ一割五分以上ノ増加ヲ圖ラントスルノデアツテ其ノ計畫ノ内容ニ付テハ本日はヨリ當局ヨリ夫々指示スル處アルベキヲ以テ施設ニ付充分承知セラレ之ニ基キ地方ニ於テ夫々適切ナル計畫ヲ樹テ事業實施上遺憾ナキヲ期セラレンコトヲ望ミマス

之ヲ要スルニ今回政府ガ小麥増殖獎勵方策ヲ樹立シ財政窮乏ノ際ナルニ拘ラズ其ノ施設ノ爲ニ斯ノ如キ巨額ノ國帑ヲ費シテ其ノ遂行ヲ圖ラントスル所以ノモノハ洵ニ國家ハ本事業ノ爲ニ盡シ得ル限りノ全力ヲ傾倒シテ最モ急速ニ其ノ目的ヲ達成セントスル決意ヲ有スルガ爲ニ外ナリマセン諸君ニ於テハ能ク政府ノ意ノ在ル所ヲ體シ殊ニ深ク農村現下ノ情勢ニ思ヲ潛メ自重ノ念ヲ持シ以テ地方ニ於ケル各種機關トノ充分ナル協調ノ下ニ我國小麥ノ増殖ノ目的達成上邁進セラレンコトヲ切望シテ止マヌ次第デアリマス

第二 小平農務局長指示事項要旨

我國ニ於テ小麥増殖ノ急務ナル所以ニ付テハ先刻大臣ヨリ訓示セラレタル通デアリマシテ此處ニ之ヲ繰返ヘスコトヲ避ケマスガ政府ガ國費多端ノ際ナルニモ拘ラズ斯ノ如キ巨額ノ經費ヲ投ジテ其ノ施設

ヲ講ズルニ至リマシタノハ國民經濟ノ現狀殊ニ農村現下ノ實情ニ鑑ミ大ニ期スル所アルガ爲デアリマシテアラユル困難ヲ克服シテ其ノ所期ノ目的達成ニ邁進スル覺悟ヲ有シテ居ルノデアリマス併シ乍ラ本事業ノ遂行ハ獨リ政府ノ施設ノミヲ以テシテハ之ヲ能クシ難ク中央及地方ニ於ケル各種機關並ニ團體ノ熱心ナル協力ニ俟タネバナリマセヌ殊ニ地方ニ於ケル農事ノ獎勵研究等ノ實際業務ニ從事セラル、諸君ノ一大決心ニ訴フル處ガナケレバナラヌノデアリマス諸君ニ於テハ何卒政府ノ意ノ存スル所ヲ諒セラレ本事業ノ遂行ニ當リ十二分ノ努力ヲ拂ハレンコトヲ切望シテ止マヌ次第デアリマス尙此ノ機會ニ小麥増殖獎勵上特ニ注意スベキ事項ヲ擧ゲテ諸君ノ考慮ヲ促シ度イト存ズルノデアリマス

一、種子配給ニ關スル件

獎勵品種ノ種子配給ニ付テハ原種圃及採種圃ノ經營ノ如キハ豫定計畫ノ通之ヲ實行スル上ニ格別ノ困難ハ無キモノト思フノデアリマスガ採種圃生産ノ種子ヲ更新計畫ニ從ヒテ一般ニ普及セシムルコトハ然カク容易ノ業デハナク從來ノ実績ニ徵スルモコノ一事ノミハ頗ル遺憾ノ狀況ニ在ルノデアリマス而テ今回ノ小麥ノ増殖獎勵計畫ニ於テ種子ノ配給事業ハ優良品種ノ育成事業ト共ニ小麥ノ増殖並ニ其ノ品質ノ改良上極メテ重要ナル事項ト目シテ居ルノデアリマスカラ此ノ點ニ付テハ地方ニ於テ特ニ十分攻究ヲ遂ゲラレ適切ナル計畫ヲ樹テ農家ヲシテ進ンデ採種圃生産ノ種子ノ配給ヲ受ケ之ヲ栽培スルニ至ラシムル様指導セラレンコトヲ望ムノデアリマス

尙本年度ニ於ケル小麥栽培擴張面積ニ對シ必要トスル種子ニ付テハ既ニ夫々地方ニ於テ適當ナル手配ヲ講ゼラレツ、アルコト、思ヒマスガ本計畫實施着手第一年ニ於テ栽培面積ノ増加ヲ大ナラシムルコトハ本事業ノ氣勢ヲ高ムル上ニ鮮カラザル影響ガアルノデアリマスカラ此ノ方針ノ下ニ能フ限リ其ノ実績ヲ擧グルコトニ努力セラレ度ク夫レニツケテハ新規栽培者ニシテ種子ノ準備ナキモノニ對シ遺漏ナク之ヲ配給スルノ手段ヲ講ジ而モ右ハ時期ノ關係上急速ニ取運バレンコトヲ望ムモノデアリマス

一、小麥増殖實行委員ニ關スル件

小麥増殖實行委員ハ小麥ノ増殖ニ付キ町村若ハ部落ニ於テ夫々其ノ地方ニ適切ナル計畫ヲ樹ツルニ當リ必要ナル機關タラシムルト共ニ其ノ地方農家ニ對スル誘掖指導者タラシムル趣旨ノ下ニ之ヲ設置セントスルモノデアリマスカラ其ノ人選ニハ慎重ナル注意ヲ拂ヒ篤農家ニシテ其ノ地方ニ於テ衆望ヲ擔ヒ得ル人物ヲ選定スルト共ニ之ガ活動ヲ促ス爲ニ必要ナル督勵ヲ加ヘラレンコトヲ望ムモノデアリマス

一、實地指導ニ關スル件

小麥ノ既栽培地ニ於テ栽培法各般ノ改良ヲ促シ又其ノ未栽培地ニ於テ新規栽培ヲ行ハシムル爲ニハ實地指導ノ方法ニ依リテ之ガ徹底ヲ圖ルノ最モ適切ナル措置タルコトハ諸君ノ既ニ熟知セラル、處

デアリマシテ本計畫ニ於テモ此ノ事業ニハ最モ重キヲ置クモノデアリマス而テ此ノ事業ノ效果ヲ舉グルト否トハ直接指導ノ任ニ當ル者ノ適否及指導方法ノ巧拙如何ニヨリ岐ル、ノデアリマスカラ先以テ適當ナル町村技術員若ハ之ニ代ルベキモノ、設置セラル、町村ニ於テ之ヲ行フベキハ勿論指導地ノ選定、指導組織其ノ他ノ點ニ付キ諸君ノ經驗ニ基キ最善ノ方法ヲ講ジ萬全ノ效果ヲ收ムルコトニ努力セラレンコトヲ望ミマス尙實地指導ハ成ル可ク之ヲ團體的ニ行フト共ニ指導地ハ能フ限り之ヲ團地的ナラシムルヲ可トシ又其ノ效果ハ單ニ直接ノ被指導者ノミニ限ラル、コトナク近接セル一般農家ノ誘掖ノ上ニ之ヲ及ボサシムル様特ニ注意セラレンコトヲ望ムデアリマス

一、小麥ノ販賣統制ニ關スル件

我國ニ於ケル小麥ノ販賣ノ狀況ヲ觀ルニ農會、産業組合等ノ努力ニ依リ共同販賣ノ成績漸ク見ルベキモノアルニ至ツタノデアリマスガ尙不充分ナルヲ免レズ之ガ共同販賣ノ普及ヲ圖リ取引ノ合理化ヲ期センガ爲ニハ一面ニ於テ農家ノ自覺ヲ促シ因襲ヲ一掃スル爲之ガ指導機關ニ對シ一段ノ努力ヲ望ムト共ニ他面ニ於テ大量直接販賣機關ノ統制アル活動ヲ促スノ必要ヲ認ムル次第デアリマス仍テ此ノ度小麥増殖獎勵事業ヲ計畫スルニ際シ特ニ全國區域ノ販賣組合聯合會、道府縣區域ノ販賣組合聯合會及郡市農會ノ行フ小麥販賣統制ニ關スル事業ニ對シテ相當助成ノ途ヲ講ジ農會及産業組合兩者ノ協力ニ依テ販賣上遺憾ナキヲ期セントスルモノデアリマス諸君ハ以上ノ趣旨ヲ體シテ農會、産

業組合ノ相互協力ニ付指導上充分留意セラレ小麥販賣統制ノ成果ヲ舉グル様十分盡力アランコトヲ切望スル次第デアリマス

一、小麥ノ増殖ト他作物トノ關係ニ關スル件

小麥増殖ノ爲ニハ栽培面積ノ擴張ヲ圖ルコトガ一重要事項デアリマスガ其ノ獎勵ニ當リテハ他ノ作物トノ關係ニ付十分ノ注意ヲ拂ハレンコトヲ望ミマス即チ小麥以外ノ裏作物ニシテ今後更ニ其ノ増産ヲ必要トスルモノ例ヘバ菜種及綠肥作物ノ如キモノニ付テハ其ノ區分ヲ侵スコトヲ避ケ大麥、稈麥ノ如キ作付面積漸減ノ傾向ニ在ルモノニ付テハ其ノ程度ニ應ジテ之ヲ小麥作ニ轉換セシムルコトハ勿論必要ノコトデアリマスガ其ノ度ヲ超ニルコト急激ナルニ於テハ之ガ需給ノ均衡ヲ破リ價格ノ不自然ナル騰貴ヲ招キ其ノ結果反動的現象ヲ惹起スル虞ガアリマスカラ注意セネバナリマセヌ元來我國内地ニハ直ニ裏作ヲ行ヒ得ルニ拘ラズ冬季休閑ノ状態ニ放置セラレツ、アル耕地ハ相當多ク存在シテ居リマスガ故ニ右ノ如キ結果ヲ招クコトナクシテ小麥ノ増殖ハ期シ得ラル、ノデアリマス尤モ現下我國ニ於ケル重要問題ノ一タル蠶絲業ノ統制ニ關聯シテ適度ノ範圍ニ於テ桑園ノ整理ヲ斷行セシメ之ヲ小麥作ニ轉換セシムルコトハ極メテ緊要ノコト、思フノデアリマス

一、一般農事改良ノ機運促進ニ關スル件

政府ハ本事業ノ遂行ニ當リ巨額ノ經費ヲ計上シ小麥ノ増殖獎勵上苟モ必要ト思惟セラル、事項ハ殆

ド之ヲ網羅シ及ブ限り完全ニ近キ施設ヲ講ズルコトニ致シマシタノデアリマスカラ之ニ依テ當面ノ目的タル小麥増殖上大ナル效果ヲ齎スベキコトヲ期待スルハ勿論ノコトデアリマスガ同時ニ之ガ延テハ一般ノ農事改良ノ機運ヲ促進スルノ動機トナリ刺戟トナリ所謂一舉ニシテ兩得ノ結果ト爲ランコトハ洵ニ望マシキコトデアリ又是非共斯クアラシムベキデアツテ本施設ニ依リテ小麥増殖ヲ獎勵セラル、ニ當テハ絶エズ此ノ點ニ留意セラレンコトヲ望ムノデアリマス之ニ關シテ一例ヲ舉グレバ小麥ノ増殖上施肥法ノ改善ハ必須事項トシテ之ヲ農家ニ實行セシメネバナリマセヌガ其ノ際ニ於テ肥料代ヲ節約セシムル爲堆肥ノ増産利用ヲ獎メ之ガ製造ニ關シ指導ヲ與フル結果ハ獨リ小麥栽培其ノモノ、改善ヲ來タスニ止マラザルガ如キ之デアリマス諸君ハ本事業ノ遂行ニ當リ當面ノ目的タル小麥ノ増殖ニ專念セラルベキハ勿論ノコトデアリマスガ右ノ如クシテ此機會ヲ捉ヘテ併セテ一般ノ農事改良ノ實ヲ舉グルニ努メラレンコトヲ特ニ希望スル次第デアリマス

一、事業實施ニ關シ各種機關及團體ノ連絡協調ニ關スル件

今回ノ小麥増殖事業ハ大體五箇年ヲ一期トシテ之ヲ實行セントスルモノデアリマシテ此ノ期間内ニ豫期ノ效果ヲ舉ゲンガ爲ニハ事業ノ實施ニ際シテハ道府縣市町村等ヲ通ジ各種機關竝ニ團體ノ一致協力ノ下ニ所謂總動員ノ觀念ヲ以テ事ニ當ルノ必要ガアルノデアリマス殊ニ道府縣、道府縣ニ於ケル農會及産業組合等ノ間ニ於テハ緊密ナル連絡協調ヲ圖リ之等機關及團體ニ於テ行フベキ事業ニ付

テハ各其ノ機能ニ應ジ最適當ナル分擔ヲ定メテ其ノ重複ヲ避クルト共ニ農家ノ指導上相互ノ間ニ矛盾ヲ生ズルコトナク充分ナル統制ノ下ニ獎勵ヲ加ヘ以テ最大ノ效果ヲ收ムル様努メラレンコトヲ望ムノデアリマス

一、豫算經理ニ關スル件

本計畫ハ比較的短期間ニ相當大ナル増殖ノ実績ヲ收メンガ爲多額ノ經費ヲ支出シテ實施スルコト、致シタノデアリマスガ故ニ道府縣當局ニ於テモ其ノ意ヲ體シ豫定ノ經費ヲ以テ最大ノ效果ヲ舉グルコトニ努力セラル、ト共ニ苟モ經費ヲ濫用シ又ハ之ヲ他ノ目的ニ流用スルガ如キコトハ嚴重ニ愼ミ被助成者ニ對シテモ特ニ此ノ點ヲ戒告セラレンコトヲ望ムノデアリマス

第三 議 事 日 程

午 前

午 後

六月二十三日

農林大臣訓示

小麥増殖獎勵規則要綱及通牒要綱説明竝質疑應

農務局長指示

答

小麥増殖獎勵施設內容説明

二十四日

小麥増殖獎勵事業實施方法打合

同上

第四 議事經過ノ大要

六月二十三日(木曜日) 午前九時三十分中央會議所ニ於テ開會

間部農産課長開會ノ辭ヲ述ベ議長席ニ着ク

議長(間部農産課長) 議事進行方法ニツキ議場ニ諮リタル結果本會議ニ於テハ小麥増殖獎勵規則要綱

案竝ニ小麥増殖獎勵規則施行ニ關スル要項案ニツキ大要説明ノ上右ニ關スル總括的意見ヲ徵スルニ止メ具體的事項ニ付テハ各道府縣個々面接ノ方法ニヨリ意見ヲ求ムルコトニ決定ス

間部農産課長 小麥増殖獎勵計畫ノ大要ヲ説明ス

後藤農林大臣臨席別項ノ訓示ヲナス

間部農産課長退席小平農務局長議長席ニ着ク

福岡縣 本計畫ニ依レバ五箇年後ニハ十割ニ近キ増産トナルモ實現ノ可能性アリヤ又生産増加ト價格

ノ維持トハ重大ナル關係アルモ適當ナル對策アリヤト質ス

間部農産課長 本計畫ニ依ル生産増加三百萬石ハ現在生産額ノ約五割、輸入超過額ノ約九割ニ相當ス然レドモ將來本計畫ノ實現セラル、時期ニ於テハ更ニ人口ノ増加、需要ノ伸展ヲ豫想セラル、ヲ以

テ供給過剩ノ懼レナシ又小麥ノ價格ハ大體次ノ如キ理由ニヨリ將來更ニ不利ニ陥ルガ如キコトナシト想像セラル、モ萬一左様ナル場合ニハ適當ナル對策ガ講ゼラルベシ

一、將來ノ小麥價格ハ小麥ガ國際的商品ナル點ヨリスルモ又過去ノ事實ニ徵スルモ外國小麥相場ニ追隨スト考ヘラル即チ外國小麥相場ニ關稅ト運賃諸掛ヲ加ヘタルモノヲ以テ内地小麥相場ト見テ差支ナカルベシ

一、世界小麥ノ總輸出額ニ對シ我國ノ輸入額ハ極メテ少額ナルヲ以テ我國ガ關稅引上ヲ行フモ外國小麥ニ影響ナシ即チ我國ノ關稅引上ハ對內的ニハソレダケノ効果アルモ對外的ニハ影響ナシ

一、世界ニ於ケル小麥主要生産國タル加奈陀、濠洲、亞爾然丁等ニ於テハ小麥ガ主要農作物タル關係上現在ニテモ價格對策ニ腐心シツ、アリ故ニ將來今日以上ニ下落スルガ如キコトアラバ更ニ何等カ有効ナル方法ヲ講ズベキヲ以テ外國小麥價格ガ今日以上ニ暴落スルコトハ想像セラレズ

一、從テ我が小麥生産ガ國內需要ニ充タザル期間ハ外國小麥價格ヨリモ關稅及諸掛分ダケ有利ナリ又假令將來輸出ニ轉ズルトシテモ國內小麥ノ價格ガ外國小麥ヨリ低下スルコトハ考ヘラレズ

只今回ノ關稅改正ガ小麥相場ノ上ニ現レザルハ遺憾ナルモ之ハ昨冬ノ金輸出禁止ト今回ノ關稅改正ヲ見越シテ例年ヨリ約百五六十萬石ノ輸入増加トナリ(主要製粉會社ノ約三箇月間ノ消費量)タル

爲ナルヲ以テ農業倉庫ノ利用等ニヨリ農家ノ賣急ギヲ防止スルノ要アリト詳細ニ説明ス

小平農務局長別項ノ指示ヲナス

小平農務局長退席間部農産課長議長席ニ着ク

議長(間部農産課長) 小麥増殖獎勵規則要綱案ノ主要項目ニ付逐條審議ヲ進ムベキ旨ヲ宣シ第一項、

第二項ニツキ説明ヲナス

(之ニ關スル質問應答ノ要旨左ノ如シ)

島根縣 本縣ニ於テハ從來ノ主要食糧農産物改良増殖獎勵規則ニヨル原種圃一町歩ニ對シ一千圓ヲ助成サレ居ルモ右ノ中五反歩ヲ今回ノ小麥ノ方ニ振向クル時ハ本年度ニ於テ二百圓ノ減額ヲ來スコト、ナルモ本縣ハ他府縣ト異リ原種圃ノ借地料トシテ二百圓ノ支出アルヲ以テ事業遂行上著シキ支障ヲ豫想セラル、故ニ七年度ハ從來ノ儘舊規定ニ依ルコト、シ新規定ニ依ルモノハ別途ニ若干擴張シテ其ノ分ニ對シテ補助ヲ受ケ得ラル、ヤ

間部農産課長 本事業ハ年度ノ中途ヨリ着手セラル、コト、ナリタルヲ以テ斯ノ如キ點ニ取扱上相當困難ナル問題ノ發生ヲ豫想シ居ルモ未ダ具體的決定ヲ見ズ暫ク留保ヲ望ム

熊本縣 從來ノ小麥共同採種圃監督ノ經費ハ打切ラル、ヤ又今回ノ新事業ノ方ニ移シテ増額セラレザ

ルヤ

間部農産課長 採種圃監督ニ關シテハ技術員ノ俸給費、旅費ノ半額ヲ助成スル以外ノ經費ハ新計畫ニ計上シ居ラズ

鹿兒島縣 原種圃ノ面積ガ非常ニ大ナル場合ハ原種圃翌年ノ種子モ相當量ニ上ルモ右ハ原種圃ニ加算スルモ差支ナキヤ

間部農産課長 原種圃ノ面積ハ昭和九年ノ栽培見込面積ヲ基礎トシテ算出スルコト、シ個々面接協議ノ上決定スル豫定ナルヲ以テ差當リ本年ハ其ノ決定ニ依ラレタシ

愛媛縣 本縣ニ於テハ採種圃ノ監督職員ハ農事試驗場ニ設置サレ居ルモ縣廳ニ設置ノ場合ハ其ノ方ニモ助成セラル、ヤ

間部農産課長 何レニスルモ一縣二人ニ助成スルコトハ不可能ナリ

岡山縣 原種圃所要ノ種子ヲ生産スベキ原々種圃ノ設置ハ必要ト認メルモ本規定ニテ之ヲ原種圃ト認メラル、ヤ

山崎技師 鹿兒島縣ノ質問ノ場合ト同様ナルモ原々種圃ハ認めズ

正午休憩

午後一時三十分再會

間部農産課長議長席ニ着キ午前ニ引續キ議事ニ入ル旨ヲ宣ス

(質問應答ノ要旨左ノ如シ)

宮崎縣 主要食糧農産物改良増殖獎勵規則ニ依ル麥原種圃中ノ小麥原種圃ハ如何ニ取扱フベキヤ

間部農産課長 總テ新規規則ニ移ス方針ナリ此ノ點ニ付テ問題トナルハ舊規則ニハ一町歩以上ト云フ制限アルヲ以テ小麥ヲ別トスルコト、ナレバ缺格トナル場合ヲ生ズルコトナリ本年ハ斯ノ如キ場合モ缺格ト看做サルモ將來如何ニ取扱フカハ經理等ノ關係モアリ未定ナリ

愛媛縣 四、五町歩ノ原種圃ヲ設クル場合ハ地區整理等ノ臨時費ヲ要スルノミナラズ之ダケノ纏マリタル大面積ヲ本場ト近接シタル場所ニ得ルコトモ困難ヲ豫想セラル、ヲ以テ收納舎、堆肥舎等ヲモ増設セザルベカラズ斯ノ如キ經費ハ如何ニスベキヤ又原種圃擔任職員ノ如キモ技師ヲ技手ニシテ員數ヲ増加スルトカ或ハ助手等ヲ設置スルコトモ認メラル、ヤ

間部農産課長 原種圃設置ニ伴フ臨時費ハ豫算ニ見込ミ居ラズ然シ經營費ニ對スル補助金ノ如キハ現在ノ物價等ニ比シ相當潤澤ナリト考ヘラル、ガ故ニ整地費ノ如キハ一部分ノ繰延、人夫賃ノ節約等ニ依リ支出シ得ベシ建物等ハ如何トモ致シ方ナキヲ以テ道府縣ニ於テ適當ニ考慮セラレタシ原種圃擔任職員ノ點ハ道府縣ニヨリ種々ノ事情アルコト、察スルモ大體原案通りト承知セラレタシ

鹿兒島縣 本縣ニ於テハ原種圃ノ面積約二十八町歩乃至三十町歩ニ達スル豫定ニシテ從テ愛媛縣ト同

様ノ事情ヲ伴フモ經費ノ都合上支障アル場合ハ適宜農家小組合等ニ委託經營ノ途ヲ講ズルモ亦止ムヲ得ズト考ヘラル、モ御意見如何又原種圃ノ豫定收量ハ相當確實性ヲ見込ム要アリト認ムルモ如何ナル程度ニテ宜シキヤ

間部農産課長 原種圃ハ總テ直營トス單位面積當リ豫定收量ハ安全ナル所ヲ見込ム程結構ナルモ獎勵金ニモ限度アルヲ以テ兩害等ノ懼アル地方ニ於テハ更新面積ヲ七十%ニ見込ムトカ或ハ不足分ノ經費ヲ道府縣ニテ支出スル等ノ方法ニ依リナルベク豫定事業ノ遂行ニ支障ヲ來サル様努メラレタシ

千葉縣 本年採種圃ニ播種スベキ種子竝ニ農家ニ配付スベキ種子ノ不足分ハ如何ニスベキヤ
間部農産課長 止ムヲ得ザルモノニ付テハ種子購入費ヲ交付スル考ヘナルモ目下各道府縣ノ所要數量ヲ取纏メ中ニテ其ノ結果餘リニ多額ニ達スル場合ハ要求額ノ全部ニ對シテハ補助シ難シ
採種圃ハ理想トシテハ農家小組合ニ經營セシムルヲ本體トスルモ小麥ノ栽培ガ極端ニ少キ地方等ニ對シテハ郡農會、市農會等ノ採種圃經營ニ對シ助成ノ途ヲ開キタリ

福井縣 適當ナル措置ト認ム

福岡縣 本縣ノ事情ヨリスレバ採種圃ノ助成金ハ縣農會ヲ經由セズ縣ヨリ郡市町村農會ニ直接助成スルヲ適當ト認ム

山口縣 採種圃ノ設置獎勵費、實地指導地設置獎勵費ハ縣農會ヲ經由スルコトニナリ居ルモ之ハ縣ニ依リ事情ヲ異ニシ本縣ニテハ從來縣ヨリ直接事業者ニ對シテ交付セル關係上本要綱ノ如ク決定セラレ、時ハ實際ニ於テ種々困難ヲ生ズル故ニ縣農會ヲ經由スルコトハ特別ノ場合ニ限ルヤウ變更セラレタシ又小麥增收競技會、増殖成績競進會ノ獎勵金或ハ普及宣傳ニ對スル獎勵金ハ總テ道府縣ニ交付シ道府縣ヨリ適宜道府縣農會ニ助成ナシ得ル様改正セラル、ガ地方ニ於ケル計畫上便宜ナリト思ハル、ガ如何若シ兩者ヲ同格ニ認ムル場合ハ分擔ヲ如何ニセラル、ヤ

間部農産課長 質問ノ第一ノ點タル小麥増殖實地指導地ノ如キハ町村農會ヲ第一線ニ立ツル必要アリ又採種圃設置獎勵ノ如キモ町村農會ヲシテ大イニ活動セシムル必要アリ從テ町村農會ニ對シ直接指導ノ任ニアル郡農會ノ活動ヲモ期待セザルベカラズ其ノ意味ヨリシテ今日道府縣農會ガ郡市町村農會ノ上ニ在ル以上道府縣農會ニ對シテモ其ノ責任ヲ分擔セシメ充分ナル關心ヲ持タシムルガ本事業ノ遂行上有効ナリト認メタル結果ナリ故ニ若シ斯クスルコトガ事業遂行上妨害トナルガ如キ事實アリトスレバ考慮ノ餘地アルモ左様ナル事ハ考ヘラレズ

又小麥增收競技會、増殖成績競進會ハ大體道府縣農會ノ事業トシテ適當ナリト認メ道府縣經由ノ煩ヲ避ケ直接交付ノ途ヲ開キタリ但シ兵庫縣等ニテハ從來縣ガ品評會ヲ開催セル事例モアリ或ハ斯種事業ハ國庫ヨリノ獎勵金ノミニテハ不充分ナリトシテ縣ニ於テ若干經費ヲ支出シ之ニ追加シテ縣農

會ニ助成セラル、ガ如キ場合モ豫想サル、ヲ以テ斯ノ如キ向ニ對シテハ道府縣ニ交付シ得ル様立案セル次第ナリ

普及宣傳ハ道府縣、道府縣農會ノ一方ノミニ限ラズ其ノ分擔ニ付テハ道府縣農會ト充分協議セラレタシ

湯河事務官 本案ノ用語中「又ハ」或ハ「若ハ」トアルハ體裁ヲ考慮セル結果ニシテ別段排他的ノ意味ヲ表ハスタメ使ヒ分ケタルモノニアラズ

山口縣 大體論トシテ道府縣農會ヲ經由スルコトガ実績ヲ舉ゲ得ルトハ考ヘラレザルモ其レハ別トシテ從來斯種事業ヲ道府縣農會ヲ通ジテ施行セル向ハ別トシ然ラザル道府縣ニ對シテハ沿革ヲ尊重シ道府縣ヨリ直接町村農會ニ助成シ得ルノ途ヲ開カル、ガ便宜ナリト考ヘラル殊ニ道府縣農會ヲ單ニ素通リスルノミニテハ無意味ナラズヤ

間部農産課長 事業ノ遂行上積極的ニ障害トナラザル以上道府縣農會ヲ除外スルハ適當ナラズト考ヘラル此ノ點ニ付テハ農會人ノ心理ヲ充分尊重スル要アリ又獎勵金ハ道府縣農會ヲ素通リスト云フモ指導督勵ニ關スル經費中ニハ旅費其ノ他道府縣農會ニテモ使ヒ得ルモノアリ要スルニ從來各地方ノ慣行等モアリ種々意見ノ存スル事ハ當然ト思ハル、モ原案ノ意ノ存スルトコロヲ十分諒承セラレタシ

群馬縣 本縣ノ經驗ヨリスルモ本事業ノ如ク短期間ニ確實ナル成績ヲ舉ゲントスル場合道府縣農會ヲ通ジテ事業ヲ進メラル、ニ付テハ慎重考慮ヲ要ス

間部農産課長 道府縣ヨリ道府縣農會ニ助成セラル、場合事業計畫等ニ充分ナル注意ヲ拂ヒ嚴重監督スルニ於テハ別段不都合ナシト認ム

鹿兒島縣 道府縣農會ガ下級農會ノ未納負擔金ト本規定ニヨル補助金ヲ差引ク如キ場合ヲ豫想シテ何等カノ規定ヲ必要トセザルヤ

間部農産課長 斯ノ如キ場合ハ道府縣農會ニ助成シ得ザル儀ニシテ別段規定ノ要ナシ

岡山縣 本縣ノ多年ノ實績ヨリシテ縣農會ヲ經由セザルヲ適當ト認ム又縣農會トシテモ現在手不足ノ狀況ニアリ旁々充分考慮セラレタシ

間部農産課長 縣農會ガ希望セザル場合ハ特別ト認ム

茨城縣 本縣モ以上ノ他府縣ト同様系統農會ヲ經由スルハ寧ロ非常ナ弊害ヲ伴フモノト思フ本縣ニテハ從來縣ヨリ直接交付ノ主義ヲトリ町村農會側モ之ヲ欲シ居レリ成ルベクハ之等ノ條項ハ除カレタシ

山形縣 本件ハ道府縣ノ事情ニヨリ解釋ヲ任意ニセラレタシ本縣ハ縣ヨリノ直接交付ヲ希望ス

高知縣 本縣ニハ所謂休止農會ナルモノ多數アリ之等ノ場合ハ如何ニ處理スベキヤ

間部農産課長 左様ナ場合ハ町村農會ニ交付ノ途ナキモノト考ヘラル尙本案ハ主務課ノ私案ナルヲ以テ助成金ノ道府縣農會經由ノ問題ハ充分研究スベシ

群馬縣 採種圃ト實地指導地トノ兩方ニ付考慮セラレタシ

福井縣 實地指導地ハ縣ヲ主體トシ所要經費モ一括シテ交付セラレ度シ普及宣傳ハ道府縣ト道府縣農會ガ適宜分擔計畫スルモノト解シテ宜シキヤ

間部農産課長 實地指導地ハ無論縣ガ主要ナル役割ヲ演ズベキナリ但シ當業者ニ接觸シテ活動スルハ町村農會ナルヲ以テ道府縣農會ニモ指導上ノ分擔事項存スル筈ナリ從テ指導督勵上ノ事務打合せ、協議等ノ爲要スル旅費其ノ他ノ經費ノ如キモ適宜割當ツル必要アルヲ以テ道府縣農會ト隔意ナキ打合せヲ要ス尙普及宣傳ノ點ハ兩者ノ何レカニ特別ノ支障ナキ限り御意見ノ通りナリ

福井縣 縣ガ各種機關ノ意見ヲ聽キ適當ニ計畫スルモノト解シテ宜シキヤ

間部農産課長 道府縣ニ於テハ本事業ノ遂行上最モ適當ナル計畫ヲ樹テ得ルヤウ本規定ニ於テハ各種ノ場合ヲ考慮シテ途ヲ開キタリ

岡山縣 實地指導地設置獎勵費ハ一箇所五圓以内トスルヨリモ一町村五圓トスル方適當ナラズヤ

間部農産課長 栽培面積極メテ少キ地方ノ郡農會等ガ經營スル場合ヲモ考慮シ一反歩五圓見當トセ

リ

熊本縣 原種圃ニ對スル補助金ノ最高限度六千圓ニテハ七町歩内外ニ限定セラル、モ今少シク擴張セラレザルヤ

間部農産課長 本案ニテハ一府縣大體五町歩ヲ中心トシ反當八十圓見當ヲ見込ミタリソレ以上ノ場合ハ反當經費モ漸次低下スルモノトシ最高十町歩ヲ限度トセリ

鹿兒島縣 本事業ノ達成ニハ中國以南殊ニ鹿兒島、熊本縣等ニ於テ相當ノ成績ヲ舉グルヲ要ス反當八十圓ハ必要トセザルモ總額ノ最高限度ニ付テハ是非トモ考慮セラレタシ

間部農産課長 退席小平農務局長議長席ニ着ク

間部農産課長 增收競技會ニ於ケル一等賞ニ對スル農林大臣授賞ニツキ「七百斤未滿」ヲ失格トシタルハ低キニ過グルヤノ感アルモ富民協會等ノ場合ト異リ本事業ノ性質上餘リ高キニ置クハ失當ト認メタルニヨル北陸地方等トシテハ此ノ制限ニ意見ナキヤ

福井縣 本縣ハ四百斤ヲ適當トス

湯河事務官 大臣授賞ノ趣旨ニ鑑ミ餘リ低キニ失スルハ穩當ナラズ他道府縣ノ見込如何

福井縣 獎勵上適當ニ低下サレ度シ

山口縣 增收競技會ノ審査ハ立毛ニ依ルヤ

間部農産課長 立毛ニ依ラズトモ正確ナル方法ナラバ宜シ

間部農産課長 小麥増殖獎勵規則施行ニ關スル要項案第三ノ獎勵金ニ付説明ス

(之ニ關スル質疑應答ノ要旨左ノ如シ)

愛媛縣 增收競技會ニ於ケル大臣賞以外ノ授賞點數十點ハ愛媛縣ノ如キ郡市數多キ府縣ニテハ少キニ失セザルヤ

間部農産課長 一點ニ對スル金額ヲ餘リ小額ニスルハ適當ナラズ

埼玉縣 普及宣傳ニ關シ他ノ作物ヨリ小麥ニ轉換セシムル爲ニハ具體的ノ宣傳材料ヲ必要トスルモ之ハ中央ヨリ供給セラル、ヤ販賣統制ハ農會ト産業組合ノ何レニ中心ヲ置クベキヤ又特殊事業トシテ桑園ノ拔根機購入ヲ助成スルハ適當ナリヤ

小平農務局長 販賣ハ商行爲ナルヲ以テ之ヲ農會ニテ實行スベキモノニ非ザルコトハ議論ノ餘地ナシ故ニ理想トシテハ産業組合ハ主シテ販賣ノ實務ニ當リ農會ハ農民ヲシテ産業組合ニ出荷セシムル様充分ナル指導ヲナス外産業組合ト製粉會社トノ協定ニ際シ生産者側ノ利益ヲ強ク主張スル如キ任務ニ膺ルベキモノナルモ現在ニテハ農會モ販賣斡旋事業ヲ行ヒツ、アリ又農村ノ産業組合加入ノ狀況ヨリスルモ俄ニ此ノ區分ヲ明瞭ニスルコトハ不可能ナルガ故ニ現在ノ如キ過渡時代ニ於テハ兩者ノ協調ニヨリ圓滿進行スル様指導セラレタシ農會ト産業組合トガ競争ノ結果價格ヲ賣崩ス如キハ嚴ニ避ケザルベカラズ特殊事業トシテ桑園ノ拔根機購入ヲ助成スルハ不穩當ナリ

間部農産課長 宣傳材料ニ付テハ各道府縣ニ於ケル優良事例等ヲ纏メ漸次配付ノ豫定ナルヲ以テ適宜報告ヲ煩ハシタシ尙宣傳ニ當リテハ普通ノ反響收支計算ニ於テ小麥必ズシモ他ノ裏作物ニ比シ有利ナラズトスルモ小麥ニハ當分生産過剰ノ懼レク又經營上ノ見地ヨリスルモ小麥ヲ取入ルハコトガ有利ナリト云フガ如キ點ニツキ充分諒解ヲ與ノルヤウ考慮セラレタシ又宣傳用フィルムハ本省ニ於テ作製ノ豫定ナリ

埼玉縣 拔根機購入補助ヲ特殊事業トシテ認メラレタシ又從來斯種事業ノ獎勵ニアリテハ動モスレバ宣傳ガ過大ニ過ギ生産過剰ヲ招來シ農家ヲ苦シムル結果ニ陥リタルモノ尠カラズ本事業ニアリテハ宣傳材料ノ作製其ノ他ニツキ慎重考慮セラレタシ

小平農務局長 桑園ヲ整理シタル跡地ニ小麥作ヲ獎勵スルハ適當ナルモ桑園ヲ整理シテ小麥作ニ轉換セヨト宣傳スルハ不穩當ナリ

間部農産課長 小麥ハ西瓜或ハ白菜等トハ異リ將來三四百萬石ノ増産ヲ行フモ生産過剰ノ懼レナク又生産過剰ノ結果ハ外國へ輸出スルコト、ナルモ外國小麥ノ相場以下ニ内地小麥價格ガ下落スルガ如キコトナシ只大麥、稈麥ノ領域ヲ急激ニ侵スコトハ大イニ注意ヲ要ス

福岡縣 本縣ノ原種圃面積ハ二十町歩ニ上ル豫定ニテ之ヲ一箇所ニ纏ムルコトノ困難ナルハ勿論他面種子ノ配給上ヨリスルモ各地ニ分散スルヲ便宜トス旁々數箇所ニ分散設置スルトセバ監督ニ當ルベ

キ職員ノ旅費等モ相當多額ニ上ルヲ以テ考慮セラレタシ

間部農産課長 左様ナ場合ハ最高限度ノ額ガ交付サル、モノト考ヘラル

京都府 京都府ニテハ從來府農會ノ採種事業ニ反當五圓ノ獎勵金ヲ交付シ居レリ今回ノ反當二圓ハ少額ニ過ギズヤ

間部農産課長 ソレ以上ノ經費ノ出所ナシ

香川縣 本縣ノ裏作、畑作ハ大麥、稈麥ノミナル故本計畫ニヨリ小麥ノ増殖ヲ圖ラントスレバ大麥、稈麥ヨリ小麥ニ轉換セシメザルベカラザルモ其ノ爲ニハ小麥ノ反當收量ガ現在ヨリ一割五歩増加スルコト竝ニ價格ニ於テ現在ヨリ石當リ約三圓方ノ騰貴ガ確實ナルコトヲ先決問題トス右ニ對スル見込如何

間部農産課長 本計畫ハ現在利用サレザル耕地ノ利用ヲ主ナル對象トスルモノニシテ香川縣ノ如キ地方ニ於テ無理ニ小麥作ニ轉換セシムルコトハ考ヘ居ラズ

香川縣 究極ニ於テ小麥作ガ有利ナリト云フガ如キ事例ナキヤ

間部農産課長 前述ノ如ク普通ノ收支計算ニテハ多少價格ガ不引合ニテモ今日ノ如キ不況時代ニ休閒地ヲ利用シテ農家ノ勞力ヲ金ニ換フルコトハ最モ必要ニシテ決シテ不利トハ云フベカラズ特ニ今回ノ關稅ノ引上ゲニヨリ小麥價格ハ相當有利トナル見込ミナリ故ニ斯ノ如キ趣旨ニ於テ事例ヲ集メラ

ル、時ハ適當ナル材料ヲ得ラルベシ

小平農務局長 國ガ必要ト認メテ獎勵スル以上價格ガ不當ニ下落スルガ如キ場合ニハ適當ナル方策ヲ採ルベキヲ以テ「決シテ不引合デハナイカラ遊ンデ居ル土地ニ餘ツタ勞力ヲ利用シテ小麥ヲ作レ」ト云フ方針ニテ宣傳セラレタシ

間部農産課長 今回ノ計畫ハ其ノ時期ヨリスルモ誠ニ絶好ノ機會ニシテ其ノ成功ヲ確信ス勿論技術上ニ於テモ將來ニ殘サレタル難點アルモ技術者諸君ノ奮起ニヨリ必ズ成功スルコト、思フ何卒大イニ希望ヲ以テ事業ニ當ラレタシ

福岡縣 販賣統制事業ハ縣農會ニモ助成スルガ適當ニアラズヤ

小平農務局長 農會ト産業組合ニ對シテハ團體ノ性質及從來ノ沿革ニ鑑ミ本事業ニ對シテ充分ノ活躍ヲ期待ス從テ補助金モ其ノ意味ニ於テ公平ニ分配スル方針ナリ而シテ農會トシテハ郡農會ニカヲ集注スルヲ適當ト認メ本案ノ如ク決定セリ

山口縣 特殊事業ハ當初ノ計畫ガ當局ノ方針ト一致セザルガ如キ場合ニモ訂正ノ上交付セラル、ヤウ考慮セラレタシ

岡山縣 反當收量ノ一割五分増加ハ將來増加スベキ面積ニ對シテモ見込ミ居ルヤ

間部農産課長 新舊兩方見込ミアルモノト承知サレタシ

岡山縣 實地指導地ノ補助金一反歩五圓ハ少キニ失セザルヤ

間部農産課長 此ノ補助金ハ實地指導地ヲ以テ單ニ立毛ヲ他人ニ示スノミニ止メズ栽培上ノ設計其ノ他ヲ擔當者ヲシテ纏メシメ印刷配布スルガ如キコトモ必要ト認メ其ノ經費トシテ計上セル次第ニシテ農民ノ自奮ニ訴ヘ本事業ヲ遂行スル趣旨ヨリスレバ決シテ少キニ失セザルベシ

岡山縣 實行委員ハ中止シテモ實地指導地ノ方ヲ増加セラレタシ

間部農産課長 意見トシテ承リ置クモ原案ノ方針トハ根本的ニ合致セズ

議長(小平農務局長) 本會議ハ以上ニテ打切り明日以後ハ別途個々面接協議ヲ行フ旨ヲ宣ス
午後五時十分散會

第五 會議出席者氏名

北海道	農産課長	和田貞臣、試驗場長	安孫子孝次、技師	高野重一
青森	試驗場長	吉田清、技師	岩田豊、五戸分場長	川村遙
岩手	試驗場長	猪狩源三、技師	大森凱次	
宮城	試驗場長	寺澤保房、技師	玉手棄陸	
秋田	農務課長	田中進、試驗場長	足立啓次、技師	桑原省吾

山形	農務課長	岸本千秋、試験場長	鈴木忠三郎
福島	農務課長	酒井百人、試験場長	佐本榮次郎、技師
茨城	農林課長	山田俊介、試験場長	關塚茂七、技師
栃木	農務課長	荒川又市、試験場長	内山恒三、技師
群馬	農務課長	平本義隆、試験場長	久保貞次郎、技師
埼玉	農務課長	石原武二、試験場長	松本芳道、技師
千葉	農務課長	渡邊次郎、試験場長	田中定夫、技師
東京	農林課長	山田武雄、試験場長	佐藤信哉
神奈川	農務課長	堀江浩、試験場長	藤川弘一、技師
新潟	農務課長	山口享、試験場長	西大條透、技師
富山	農林課長	佐々木重成、試験場長	小林貢
石川	試験場長	橋本驥一	
福井	農林課長	奥田茂雄、試験場長	田中秀雄、技師
山梨	試験場長	小林英一、技師	櫻林政和
長野	農商課長	武島一義、試験場長	前田源吉、技師

岐阜	農務課長	藤原侃治、試験場長	間瀬鉦太郎、技師
静岡	農務課長	三井正雄、試験場長	上野操、技師
愛知	農務課長	鷺野重光、試験場長	藤原綱太郎、技師
三重	課長代理屬	山下菊次郎、試験場長	中村義雄、技師
滋賀	農務課長	小野淺次郎、試験場長	近山廣二、技師
京都	試験場長	竹蓋千代三、技師	草階孫作
大阪	試験場長	新見勇吉、技師	門田一
兵庫	試験場長	江角金五郎、技師	長尾善治郎
奈良	勸業課長	渡邊廣、試験場長	春日直人、技師
和歌山	農務課長	船山右松、試験場長	田中慶夫
鳥取	農務課長	大麻寛一、試験場長	加藤廣造、技師
島根	農務課長	朝比奈策太郎、試験場長	林忠昭、技師
岡山	農務課長	伊藤久松、試験場長	前田修治、技師
廣島	農務課長	沖森源一、試験場長	平岩健吉、技師
山口	農務課長	原田知壯、試験場長	袴田輔明、技師

- 德島 農林課長 津川秀男、試驗場長 東野市次郎、技手 砂口行衛
- 香川 農林課長 手島傳、試驗場長 滿田正軌、技師 八木邦造
- 愛媛 課長代理屬 乃萬守男、試驗場長 納富金作、技師 河淵元次郎
- 高知 農務課長 野島瑛、試驗場長 立川義夫
- 福岡 農務課長 石原專一、試驗場長 水内哲雄、技師 島原重夫
- 佐賀 試驗場長 新倉晴光、技師 草野徹二郎
- 長崎 試驗場長 田中富太郎、技師 部坂敏一
- 熊本 技師 藤本虎喜、技師 森雅司
- 大分 農務課長 石川真四郎、試驗場長 山口巖太郎、技師 小林責夫
- 宮崎 試驗場長 江上英三、技師 濱田靜
- 鹿兒島 試驗場長 内藤晉、技師 河野丑之助
- 沖繩 課長代理屬 納戸彖吉、技師 松永高元

二 昭和八年四月開催小麥増殖獎勵關係技術官會議

第一 後藤農林大臣訓示要旨

小麥ノ生産ニ關シマシテハ政府ハ昨年來關稅ニ依ル保護ヲ厚クスルト共ニ其ノ増殖獎勵ノ施設ヲ講ズルコト、致シマシタ申スマデモナク之ハ一面之ニ依リマシテ國民食糧ノ充實ト國際貸借ノ改善トニ資セント致シタノデアリマスガ其ノ主タル目的ハ現下ノ我國農業經營ノ實情ニ鑑ミマシテ國內需給關係上尙相當ニ増殖ノ餘地ヲ存シテ居リマスル小麥ノ栽培ヲ獎勵シ冬季休閑ノ状態ニ放置セラル、耕地ノ利用竝ニ農家餘剩勞力活用ノ途ヲ拓キマシテ農家收益増進ノ一要目ト致サウトスルノデアリマス然ル處本年ニ於ケル小麥ノ作付ハ幸ニ官民ノ努力ト昨夏以來ノ小麥價格ノ好況ト相俟ツテ豫想以上ノ成績ヲ示シ前年ニ比シ十萬町歩以上ヲ増加セルモノ、如クデアリマシテ生産額ニ於テモ相當ノ増加ヲ豫想セラル、コトハ洵ニ慶バシキコトデアリマス併シ仔細ニ其ノ實情ニ立チ入リマスレバ尙考究努力ヲ要スル所ガアルノデアリマシテ之等ノ點ニ關シマシテハ農務局長ヨリ別ニ指示スル所ガアル筈デアリマス

唯茲ニ各位ノ留意ヲ促シ度キコトハ小麥ノ生産ニ伴フ販賣ニ關シテニアリマス小麥販賣ノ改善ニ付キ

マシテハ増殖計畫中ニモ特ニ考慮ヲ拂ヒ産業組合及農會ニ獎勵金ヲ交付シ販賣統制並ニ販賣斡旋ニ當ラシメツ、アルノデアリマスガ御承知ノ通り小麥ハ春蠶以後ノ中小農家ニ於ケル主要ナル收入源タル關係上從來收穫直後一兩月ノ間ニ其ノ大部分ガ販賣セラレ短期間ニ市場ニ殺到スル爲一時的ニ價格ヲ低下セシメ動モスレバ農家折角ノ辛苦ヲ不満足ノ結果ニ終ラシムル如キ實情ニアルノデアリマシテ之ニ付キマシテハ今後適切ナル改善ヲ加ヘマセンコトニハ今後増産ニ伴ヒ益々此ノ傾向ヲ激成スルノ虞ガアルノデアリマス殊ニ本年ニ於ケル販賣成績ノ如何ハ今後ノ小麥増殖獎勵上至大ノ關係ヲ有シマスルカラ各位ハ地方ノ實情ニ應ジ産業組合又ハ農會等ヲ援助督勵セラレ各機關相互連絡協調ノ下ニ販賣統制ノ實ヲ擧ゲ出廻盛期ニ於テモ適當ニ價格ヲ維持シ得ル様格段ノ努力ヲ致サレンコトヲ希望致ス次第デアリマス

次ニ販賣ノ改善ト共ニ留意ヲ煩シタイノハ生産費ノ低下ニ關スル事項デアリマス
今回ノ小麥増殖獎勵ノ主要目的ガ農家經濟ノ作興ニアルコトハ前述ノ如クデアリマスガ既往ニ於ケル斯種増殖獎勵施設ノ經驗ニ徴シマスレバ經濟事情ノ變動等ノ爲其ノ結果ニ於テ時ニ却ツテ農家ヲ苦シムルガ如キ事態ヲ誘致シタルコトガ無イデモナイノデアリマス故ニ小麥ノ増殖獎勵ノ實施ニ當ツテハ生産量ノ増加ト同時ニ特ニ生産費ノ低減ニ關シ極力研究並ニ指導ニ努メ今後經濟事情ノ變動等ガアリマシテモ克ク之ニ堪ヘ生産ノ基礎ノ脅カサル、ガ如キコト無ク而シテ近キ將來ニ於テ増殖獎勵ノ結果

自給自足ノ域ニ達シタル場合ニ於キマシテハ假令關稅等ニ依ル保護無クトモ十分農家ノ小麥作ガ存續シ得テ永ク農家經濟ヲ利スルヤウ致サレタイノデアリマス
今日迄ノ經過ニ徴シマスレバ本事業ハ概シテ順調ニ進行シツ、アリマスガ今後事業ノ進展ニ伴ヒ或ハ測ラザル障碍困難踵デ起リ時ニ馳緩停頓無キヲ保シ難イノデアリマス各位ハ嚮後一層ノ緊張ヲ以テ事ニ當リ目的ノ達成ニ全力ヲ注ガレンコトヲ切望スル次第デアリマス

第二 長瀬農務局長指示事項要旨

小麥ノ生産増殖ニ付キマシテハ客年本省ニ於テ新ナル施設ヲ講ジ獎勵ニ着手シテ以來諸君ノ多大ノ努力ニ依リ大體好成绩ヲ示シ殊ニ作付面積ノ如キ豫期以上ノ増加ヲ見ントスルニ至リマシタコトハ洵ニ欣快ニ堪ヘザル處デアリマシテ諸君ノ勞苦ニ對シ深ク感謝スル次第デアリマス
本事業着手第一年ノ成績トシテハ右ノ如クデアリマスガ其ノ所期ノ目的ヲ達成センガ爲ニハ既定ノ計畫等ニツキテモ此上充分ノ檢討ヲ加ヘテ更改スベキハ之ヲ改メ施設ノ效果ヲ全カラシムルコトガ肝要デアリマスノデコノ機會ニ事業遂行上特ニ留意スベキ點ニ關シ申述ベテ參考ニ供シ度ト思ヒマス

一、増産獎勵計畫ニ關スル件

小麥増産獎勵ニ關スル計畫ハ昨年第一次臨時議會ニ於テ之ガ決定ヲ見マシテ同年麥ノ播種以前短時

日ノ間ニ實施計畫ヲ樹テ之ヲ急速實行ニ移シマシタ關係上地方ニ依リマシテハ往々獎勵計畫ノ確實ナラザルモノ實施方法ノ適切ナラザルモノ等モ見受ケラル、ノデアリマス
 例ヘバ種子ノ改良更新、實地指導地及實行委員ノ活用竝ニ特殊事業ノ選擇等ノ如キ夫レデアツテ之等ハ將來一段ノ工夫ヲ要スルモノト存ズルノデアリマス爲ニ普及宣傳事業ニ付テハ所謂空疎ナル宣傳ノ爲ノ宣傳ヲ避ケテ眞ニ合理的ナル小麥栽培ノ普及ヲ核心トシテ計畫實行スベキモノト思フノデアリマス

尙豫算ノ經理ニ付キマシテハ昨年モ特ニ注意致シタル處デアリマスガ今日迄一部地方ノ監査ヲ行ヒタル結果ニ依レバ遺憾ノ點ガ少ク無イノデアリマス國家財政ノ異常ナル難局ニ際シ小麥増産ノ爲ニ多額ノ國帑ヲ費スハ容易ナラザルコトヲ敢ヘテ爲セルモノデアリマスカラ深ク思ヒヲ茲ニ潜メ不急不適當ノ支出ヲ爲サルヤウ充分戒心サレタイノデアリマス更ニ又本事業ニ關シテハ必要ト認ムル事業費ニ付テハ地方費ノ負擔ヲ條件トセズ全部國費ヲ交付シテ之ヲ行ハシムル方針デアリマスガ事業ノ種類ニ依リテハ其ノ完壁ヲ期スル上ニ於テ多少地方費ノ支出ヲ必要トスル場合モアルベク又純粹ノ事務的經費ノ如キハ當然地方ニ於テ支辨スベキモノデアリマスカラ徹頭徹尾國庫ノ獎勵金ニ俟ツガ如キ誤解無キヤウ爲念注意ヲ促ス次第デアリマス

二、栽培地ノ擴張ニ關スル件

小麥栽培地ノ擴張ニ伴フ他作物栽培地トノ調和ニ付テハ昨年ノ會議ニ際シテモ特ニ留意ヲ求メタル處デアリマスガ最近地方廳ヨリノ報告ニ依レバ本年ノ小麥作付増加段別約十三萬町歩ノ内約其ノ半數ハ從來ノ大麥及稗麥作地ヨリ轉換サレタルモノ、如クコレハ稍々意外ニ感ズル所デアリマス斯クノ如ク他作物ノ轉換ノ多カリシコトハ蓋シ昨年六月小麥輸入關稅ノ引上ゲノ行ハレタルニ搗テテ加ヘテ其ノ後我國爲替相場ノ續落シタル爲外國小麥ノ輸入價格ハ原產地ニ於ケル價格ノ低落ニ拘ラズ昂上シ内地産小麥ノ價格亦之ニ追隨シテ騰貴セルコト、這回ノ獎勵施設ト相俟ツテ農家ノ小麥作ニ對スル關心ヲ刺戟シ爲ニ一部農家ニ於テ單ニ風潮ニ驅ラレテ無反省ニ小麥作ヲ擴張シタルモノアリタルガ爲ナルベク右ハ或程度迄ハ止ムヲ得ヌ現象デアリマスガ健全ナル小麥作發達ノ上ヨリスレバ此ノ狀勢ニ對シテハ充分ノ警戒ヲ要スルコト、思フノデアリマス何者大麥、稗麥ハ近年漸次其ノ需要ヲ減ズル傾向ニハアリマスガ今日内地ノ生産ニ依ツテ需給ノ平衡ヲ得テ居リ且ツ消費ノ弾力性ニ乏シキ農産物デアリマスカラ斯クノ如ク急激ニ其ノ作付ヲ減少スル場合ハ大麥、稗麥ノ價格ノ不自然ナル騰貴ヲ來シ一時的ニ之等ハ小麥ニ比シ有利ナル現象ヲ呈シ農家ヲシテ選擇歸趨ニ迷ハシメ結局農家ノ不利ヲ招クコト、ナルカラデアリマス

夫故ニ小麥作擴張ニ付テハ町村農會等ガ主トナリ農業經營改善ノ見地ヨリ充分ノ調査研究ヲ行ヒ土地利用計畫ヲ定メ未利用ノ耕地ヲ利用シ過剩ノ勞力ヲ活用スルコトヲ主眼トシ確實ナル基礎ノ上ニ

計畫ヲ樹立スルコトガ肝要デアリマシテ上述ノ如キ地方ニ對シテハ計畫ノ根本ニツキ檢討ヲ加ヘ單ニ作付段別ノ増加ノミヲ以テ能事終レリトスルガ如キコトナカラシムルヤウ指導上特ニ注意アランコトヲ希望スル次第デアリマス

三、反當收量ノ増進ニ關スル件

現在小麥ノ反當收量ハ尙貧弱デアリマシテ平均一石二斗餘ニ過ギズ將來增收ノ餘地大ナルコトハ明カデアリマシテ今回ノ増産計畫ニ於テモ少クトモ平均一割五分ノ増加ヲ目標トシテ居ルノデアリマス反當收量ノ増加ハ増産ノ目的ヲ達スル手段トシテ最モ必要ノコトデアリマスガ此ノコトハ小麥ノ單位量生産費ヲ遞減スル上ニ亦非常ニ有效ナル方法デアリマス今日我國ノ小麥作ハ殆ンド生産費節減ノ餘地無キモノ、如ク唯一ノ方法ハ今後ニ於ケル反當收量ノ増加ニ俟タナケレバナリマセヌ即チ經營の見地ヨリ見テ之ハ小麥作ノ普及上根本的必要條件デアリマス御承知ノ如ク現在世界ニ於ケル小麥ノ需給關係ハ依然トシテ供給過剩ノ狀態デアリマシテ萬國農事協會ノ調査ニ依レバ本年七月末小麥ノ主要輸出國ニ於テ次年ニ持越サルベキ過剩古小麥ハ六億七千萬「ブツセル」ト云フ未曾有ノ多量ヲ豫想サレテ居リマス從ツテ小麥ノ世界的標準相場ト稱セラル、市俄古ノ小麥相場モ最近五十七仙ニシテ一時ヨリ幾分上向イテハ居ルガ依然軟調ヲ免レズ小麥ノ輸出國ハ未ダ所謂小麥恐慌ノ渦中ヨリ脱シ得ザル狀態デアリマス我國ノ小麥市價ハ關稅ト爲替安ノ爲ニ今日幸ニ相當ノ地位ヲ保ツ



テ居リマスガ爲替相場ノ如キハ將來如何ナル變化ヲ見ルカ圖リ難キ次第デアリマスカラ萬一ノ場合ニ處センニハ今ヨリ出來ル丈ケ生産費ヲ減少シテ價格ノ變動ニモ耐ヘ得ル弾力性ヲ保タシムルコトが必要デアツテ其ノ爲ニハ反當收量ノ向上ニ努ムルノ外無キモノト信ズルノデアリマス本年作付ノ小麥ニ付テ見レバ地方ニヨリ此ノ點ガ多少閑却サレタルヤノ憾ガアリマスカラ特ニ諸君ノ留意ヲ煩シタイノデアリマス

四、乾燥、調製、包裝並ニ貯藏法ノ改善ニ關スル件

從來麥類ノ收納及貯藏ニ付テハ一般農家ハ極メテ無關心デアツテ甚ダ粗漏ナル取扱ヲナシテ居ルノデアリマス即チ乾燥不充分、調製不良、夫ニ加ヘテ包裝ニハ汚損、蟲付等モ省ミズ古俵ヲ使用スルモノ少カラザル有様デアルカラ品位規格ノ整然タル外國小麥ト比較商量セラレテ國產小麥ハ取引上常ニ百斤四、五十錢以上ノ格下ゲヲ強キラル、ガ如キ不利ノ狀態ニ置カレテ居ルノデアリマス又小麥ノ貯藏上絶對的ニ必要ナル穀蟲ノ燻蒸モ一般ニ閑却セラレテ居ルノデアツテ之ガ爲小麥ノ貯藏ノ殆ンド不可能ノ地方モ尠ク無イノデアリマス如上ノ點ハ從來ノ國產小麥ニ於テ指摘スベキ著シキ缺陷デアリマシテ之等ニ付キテ誤レル慣習ヲ棄テ改善ノ途ヲ講ズルト共ニ農産物検査機關ノ活動ト相俟ツテ小麥ノ商品價值ヲ高ムルコトハ小麥ノ市價向上ノ爲最モ緊要ノコトデアアルノミナラズ次ニ述ベントスル小麥ノ販賣統制ノ根底ヲ築クコト、ナルノデアリマスカラ今回ノ増産計畫實行ヲ契

機トシテ關係機關連絡協調シ或ハ實行委員等ヲ動員督勵シテ改善ノ實ヲ舉グルニ努メラレタイノデアリマス

五、販賣統制ニ關スル件

小麥販賣統制ニ付テモ昨年會議ノ際其ノ方針ヲ指示シ又本年三月十七日附ヲ以テ地方長官ニ對シ其ノ大綱ヲ示シ速カニ地方ニ於テ實行計畫ヲ樹テラレタキ旨通牒ヲ發シマシタカラ既ニ夫々進行シツ、アルコト、存ジマス

元來今回ノ小麥増殖計畫ハ輸入品ヲ驅逐シ國內産ヲ以テ代替自給セントスルモノデアリマシテ計畫ノ範圍ニ於テハ無論供給過剩トナルコトハ豫想セザル所デアリマスガ取引上ヨリ見タル季節的需給ノ關係ニ於テ生ズル現象ハ自ラ別個ノ問題デアリマス御承知ノ如ク小麥ヲ販賣スル者ハ中小ノ農家デアツテ現金支出ノ必要ニ迫ラレ收納ヲ待チ兼テ之ヲ賣ラネバナラヌ有様デアリマスカラ從來七、八月ノ兩月ニ小麥ノ大部分ガ農家ノ手ヲ放レ市場ニ殺到スル結果異常ニ市價ヲ崩ス實情トナツテ居ルノデアリマス今年假ニ百萬石以上ノ增收アリタリトスレバ其レ丈市場出廻リ數ハ從來ノモノニ加重セラル、結果トナリマシテ今年ノ出廻盛期ニ於ケル一時的ノ市價低落ハ今日ヨリ相當警戒考慮セネバナラヌ事柄デアリマス

而シテ本年ニ於ケル小麥ノ販賣統制ニ付テハ曩ニ全國米穀販賣購買組合聯合會並ニ帝國農會ノ當局

トモ協議ヲ致シ關係團體ニ於テハ夫々已ニ畫策スル所アリ本省ニ於テモ小麥貯藏ニ要スル低利資金ノ供給等ニ付テ計畫中デアリマス

本件ハ協議事項トシテモ提出セラレテアリマスカラ充分審議研究ヲ遂ゲラレ之ニ基キ徹底的ニ統制ノ實ヲ舉グルニ努メラレンコトヲ切望スルモノデアリマス

六、增收競作會ノ審査ニ關スル件

增收競作會ニ付テハ成績優秀ナルモノニ對シテハ農林大臣ヨリ賞金ヲ交付セララルベク其ノ審査官ハ追テ地方長官ノ内申ニ依リ本省ヨリ囑託セララル、ノデアツテ大部分ハ諸君ノ内ヨリ之ニ當ラル、コト、思フノデアリマスガ斯種ノ審査ニハ技術上幾多ノ困難ヲ伴ヒ嚴正ニ之ヲ遂行スル爲ニハ綿密周到ノ注意ヲ要スルコト勿論デアリマス任ニ當ラル、各位ハ慎重事ニ從ヒ苟モ後日兎角ノ物議ヲ招ク等ノコト無キヤウ充分注意セラレンコトヲ望ム次第デアリマス

七、生産費調査ニ關スル件

農産物生産費ノ調査ハ價格基準ノ一ツノ基礎トシテ又經營改善探究ノ資料トシテ極メテ必要ナルモノデアリマス

小麥ニ關シテ今後發生スベキ國民經濟的又ハ私經濟的問題ニ備フル爲ニハ是非計畫的ニ年々之ガ調査ヲ行フ必要ガアルノデアリマスカラ適當ナル農家ヲ選定シ別途指示ノ方法ニ從ヒ精確ナル調査ヲ

行ヒ貴重ナル材料ノ提出ニ盡力セラレシコトヲ希望致ス次第デアリマス
以上ヲモチマシテ大體指示事項ヲ終リマスガ尙或ルモノハ漸次協議事項ノ進ムニ從ヒ此等ノ事項ニ
觸ルベク又或ハ必要ニ應ジ農産課長ヨリ申上グベキモ目下ノ處大體本省ニ於テ定メタル方針トシテ
各位ノ御留意ヲ願フハ以上ノ事項ガ主ナル事項デアリマスカラ一應取纏メテ申上ゲタル次第デアリ
マス

第三 農林省提出協議事項

- 一、現行ノ小麥増殖獎勵施設中特ニ更改ノ必要アリト認ムル事項
- 二、小麥增收競技會審査方法ニ關スル件
- 三、小麥増殖成績競進會實施計畫及審査方法ニ關スル件
- 四、小麥販賣統制ニ關スル件
- 五、小麥ノ乾燥、調製、包裝及貯藏ノ指導督勵ニ關スル件
- 六、小麥生産費調査ニ關スル件

第四 道府縣提出協議事項

北海道

- 一、簡易製粉機ノ考案及利用獎勵ニ關スル件
- 二、農林省統計ノ調査方法更改ノ件

青森縣

- 一、小麥採種圃生産種子ノ普及徹底ヲ圖ル良法如何

宮城縣

- 一、道府縣ニ於ケル小麥増殖實行委員ノ活動狀況及實行委員ニ對スル道府縣ノ指導督勵方法ヲ承リ
度シ

茨城縣

- 一、小麥新品種普及増殖ノ件
- 二、小麥萎縮病防除法研究ニ關スル件
- 三、小麥加工利用ノ研究施設ニ關スル件
- 四、小麥生産品ノ品質向上ニ關スル件

千葉縣

- 一、小麥ノ價格維持ニ關スル件

島根縣

一、小麥ノ病蟲竝ニ化學ニ關スル調査研究費ニ對シ獎勵金交付ニ關スル件

山口縣

一、小麥増殖面積計畫ニ關スル件

第五 農林省提出協議事項答申要旨

(一) 農林省提出協議事項一

「現行ノ小麥増殖獎勵施設中特ニ更改ノ必要アリト認ムル事項」

右ニ對スル各道府縣ヨリノ書面答申ノ要旨左ノ如シ

北海道

一、小麥増殖實行委員設置獎勵金ハ手當トシテ支給スベキ規程ナルモ手當トシテ支給スルコトヲ廢

シ町村農會ニ對シ委員設置獎勵金トシテ交付スル様更改セラレ度シ

二、小麥採種圃ノ設置經營ヲ指導督勵シ之ガ成績ノ完全ヲ期センニハ之ニ對スル助成金ヲ生産年度

ニヨリ交付スルヲ效果的ト認ムルヲ以テ之ヲ更改セラレテハ如何

三、採種圃ト原種圃トハ密接ナル關係ヲ有スルヲ以テ兩者擔當技術員ヲ相互ニ兩事務ニ兼任セシム

ルハ連絡竝ニ指導上效果的ト認ムルヲ以テ斯ク更改セラレ度シ

四、昭和八年度ニ於テモ七年度ト同様農家ノ擴張用不足種子補充ニ關シ補助金交付セラレ度シ

青森縣

一、小麥採種圃ノ手當ヲ反當二圓以内トアルヲ五圓以内ニ増額セラレ度シ

二、小麥獎勵品種決定試驗ノ事業計畫書ニ記載スベキ「供試品種數及系統數」ヲ削除シコノ事項ハ

八月二十日迄ニ報告スルコトニセラレ度シ

岩手縣

特ニ更改ヲ必要ト認ムル事項ナシ

宮城縣

一、小麥採種圃ノ助成金反當二圓以内トアルヲ五圓以内ニ改メラレ度シ

二、道府縣ノ小麥増殖計畫ニ依ル實績ヲ斟酌シ先ニ割當ノ採種圃面積ヲ變更セラレ度シ

三、小麥増殖獎勵規則ニ依リ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル費用ヲ其ノ事業以外ノ費用ニ或ル制限内ニ於

テ流用シ得ル様改メラレ度シ

四、小麥増殖獎勵規則第二條九ヲ「小麥ノ販賣統制ニ關スル事業ノ爲要スル販賣組合聯合會竝ニ道

府縣農會ノ費用及其ノ事業ノ爲要スル郡農會若ハ市農會ノ費用ニ對シテ交付スル道府縣農會ノ助

成金」ニ改メラレ度シ

秋田縣

特ニ更改ノ必要アリト認ムル事項ナシ

山形縣

一、採種圃ノ助成金一反歩當二圓以内トアルヲ更ニ相當増額スル様更改セラレ度シ

福島縣

一、小麥ノ販賣統制事業ニ對スル獎勵金ハ直接販買組合聯合會並ニ道府縣農會ニ交付セラル、制度ナルモ縣ヲ區域トスル右兩團體ニ對スル獎勵金ハ道府縣ノ補助金又ハ助成金ニ對シ交付セラル、様更改スルヲ適當ト認ム

茨城縣

一、小麥販賣統制事業ノ獎勵主體ヲ地方廳トシ販賣組合聯合會及縣農會等ノ小麥販賣統制ニ關スル事業ヲ助成セシムル様改正セラレ度シ

栃木縣

一、小麥ニ關スル特殊試験、調査、研究ニ對スル補助（病蟲害、乾燥、貯藏等）
二、販賣統制ニ要スル費用ニ對スル補助 入庫ニ對スル獎勵金ノ助成

三、原種圃ノ國營

四、外國小麥ノ使用量制限

群馬縣

一、小麥採種圃ノ設置助成金ヲ増額セラレ度シ

埼玉縣

一、小麥販賣統制事業ニ關シ販賣組合及農業倉庫ノ活動ヲ促進シ販賣統制ノ實ヲ舉ゲシムル爲縣ヲ區域トスル販賣組合聯合會ニ對シ現行補助金交付額ノ限度ヲ擴張シ其ノ事業ノ遂行ヲ助成セラレ度シ

二、現行規則ニ於テモ小麥病蟲害驅除豫防施設ニ對シ獎勵金交付ノ途アルモ將來増殖計畫ノ遂行ニ伴ヒ之ガ販賣統制上必然的ニ小麥貯藏ノ必要起ルベキニ依リ特ニ獎勵規則中ニ之ガ施設ノ一項ヲ加ヘラレ獎勵金ヲ交付セラレ度シ

千葉縣

一、小麥病蟲害ノ驅除豫防ヲ増殖獎勵施設ノ一項トシテ加ヘラレ度シ

東京府

特ニ更改ヲ必要ト認ムル事項ナシ

神奈川縣

特ニ更改ヲ必要ト認ムル事項ナシ

新潟縣

- 一、小麥增收競技會ニ於ケル賞金及審査費ノ區別ヲ廢シテ獎勵金ヲ交付セラレ度シ
- 二、農林大臣賞ノ授與資格ヲ七百斤以上ノ收量トアルヲ撤廢セラレ度シ

富山縣

- 一、小麥増殖實行委員ノ指導督勵ニ當ラシムル爲小麥増殖指導員ヲ縣ニ於テ任命又ハ囑託シタル場合之ガ手當ニ對シ助成金ヲ交付セラレ度シ

- 二、地方ノ氣候、土壤等ニ依ル廣範圍ノ特殊事情ニ於ケル障害除外ニ對スル研究ヲ本省指定事業トシテ施行シ之ガ促進ヲ圖ル施設ヲ講ゼラレ度シ

石川縣

- 一、小麥採種圃ノ助成金ヲ反當五圓以内ニ増額セラレ度シ
- 二、小麥増殖獎勵施設ノ效果ヲ一層顯著ナラシムル爲承認ヲ受ケ各事業間ニ於ケル費用ノ一部流用ヲナシ得ル途ヲ拓カレ度シ

福井縣

- 一、小麥新品種育成試験ニ關スル件

本縣ニ配付セラル、獎勵品種決定試験供試材料ハ島根小麥育種地方試験地ヨリ積極的ニ配付セラル、外中國小麥試験地ノ統轄ニ屬スル他ノ小麥育種地方試験地ヨリモ配付セラル、趣ナルモ本年ノ雪害狀況ニ鑑ミ新潟小麥育種地方試験地ヨリ積極的ニ配付セラル、外東北小麥試験地ノ統轄ニ屬スル他ノ小麥育種地方試験地ヨリモ配付セラル、様希望ス

山梨縣

- 一、小麥採種圃助成金ヲ少クトモ反當三圓内外交付セラル、様考慮サレ度シ
- 二、小麥ノ平均賣勸獎ニツキ一層系統農會、縣販聯ニ活動助成ノ方途ヲ講ゼラレ度シ

長野縣

- 一、小麥増殖指導農家及小麥増殖指導組合ノ設置ニ對シ助成セラレ度シ
- 二、製粉機、製麵機ノ設置ニ對シ一層獎勵金ヲ交付セラレ度シ
- 三、小麥増殖實行委員ノ訓練並ニ協議研究ノ爲會議費ヲ助成セラレ度シ
- 四、小麥増殖成績競進會ヲ全道府縣ニ開催セシメラレ度シ
- 五、小麥乾燥室並ニ燻蒸室設置ニ對シ助成金ヲ交付セラレ度シ

岐阜縣

四六

- 一、小麥獎勵品種決定試驗ノ外委託試驗制度ヲ認メ之ニ要スル經費ニ對シ獎勵金ヲ交付セラレ度シ
- 二、小麥栽培試驗ニ要スル經費ニ對シ獎勵金ヲ交付セラレ度シ
- 三、小麥採種圃專任技術員ノ俸給費並ニ旅費ニ對シ全額ノ獎勵金ヲ交付セラレ度シ
- 四、小麥増殖實行委員ノ表彰ニ要スル獎勵金ヲ交付セラル、カ又ハ同費目ヨリ右經費ノ支出方容認セラレ度シ
- 五、小麥實地指導地ニ試驗ノ一部ヲ加味スルコトヲ認メラレ度シ
- 六、普及宣傳ヲ廣義ニ解釋シテノ事業施行ヲ認メラレ度シ
- 七、小麥販賣統制ニ對シ人件費ノミナラズ事業費ニ對シテモ獎勵金ヲ交付セラレ度シ

静岡縣

- 一、小麥獎勵品種決定試驗ニ委託試驗ヲ附隨セシメ且ツ之ニ對シ國庫助成金ヲ交付セラレ度シ
- 二、小麥原種圃並ニ採種圃面積ノ擴張ヲ認メ之ニ對シテモ國庫助成金ヲ交付セラレ度シ
- 三、地方的特殊事業ノ獎勵金ヲ増額セラレ度シ

愛知縣

- 一、小麥ノ増殖ニ關スル地方的特殊事業ニ對スル國庫獎勵金交付額限度ヲ高メラレ度シ

二、小麥ノ病害防除施設ノ擴充ヲ圖ラレ度シ

三、小麥販賣統制事業ニ關シ國ヲ區域トセル機關及團體ヲ統制セラレ度シ

四、小麥増收競技會審査方法ハ農林省ニ於テ一定ノ標準ヲ示サル、様改メラレ度シ

五、小麥ノ生産費ハ米ト同様特別ノ施設ヲ講ジ以テ道府縣一定ノ基準ノ下ニ正確ナル調査ヲ行フ様定メラレ度シ

三重縣

一、特ニ更改ヲ必要トスル事項ナキモ出來得レバ特殊事業獎勵金交付限度ヲ擴張セラレ度シ

滋賀縣

一、現行ノ小麥増殖獎勵施設中ニ小麥ノ生産費調査ヲ施行相成度シ

京都府

一、小麥生産品評會開催ニ對シ獎勵金交付ノ途ヲ講セラレ度シ

二、小麥價格維持ニ關スル施設ヲ更ニ講セラレ度シ

大阪府

特ニ更改ヲ必要ト認ムル事項ナシ

四七

兵庫縣

一、特ニ更改ノ必要ヲ認メザルモ今後左記三項ニ對シ留意アリ度シ

(一)、販賣統制事業ノ助成費ヲ増額スルコト

(二)、小麥ノ生産増加、販賣統制等ノ第一線ニ於ケル指導者(郡市町村技術員)ノ活動ヲ促進スル爲之等ノ者ニ對シ手當及旅費助成ノ方法ヲ講ズルコト

(三)、獎勵金ヲ交付セラル、各事業種目別金額制限ヲ撤廢スルコト

奈良縣

一、小麥販賣統制事業ニ關シ左記事業ニ對シ獎勵金交付ノ途ヲ講ゼラレ度シ

(一)、産業組合及縣農會ノ小麥販賣事業ヲ統制シ助成スル爲縣ニ對シ事業費補助ノ途ヲ講ゼラレ度シ

(二)、町村農會技術員、販賣組合幹部等ニ小麥販賣統制委員ヲ任命シ其ノ委員手當トシテ道府縣ニ獎勵金ヲ交付セラレ度シ

(三)、縣農會ノ小麥販賣統制ニ從事スル專任職員設置費(人件費)ニ對シ助成金ヲ交付セラレ度シ

和歌山縣

一、小麥ノ自家用加工(製粉、製麵、醬油釀造其ノ他)獎勵費ノ交付額ヲ増額セラレ度シ

二、小麥作改良ノ爲農具購入費ニ對シ獎勵金交付ノ途ヲ拓カレ度シ

三、小麥販賣統制ニ從事スル技術員ノ設置ナキ郡農會ノ小麥販賣事業費ニ對シ相當ノ獎勵金交付ノ途ヲ拓カレ度シ

右各項ノ經費ハ小麥ノ増殖獎勵ニ關スル普及宣傳費及小麥實地指導費ヲ減額充當スルコト

鳥取縣

一、小麥ノ獎勵品種決定試験ニ附隨スル栽培試験ヲ認メ且ツ地方委託試験地ヲ設置セシメラレ度シ

二、道府縣農事試験場ノ使用スルテストミル購入獎勵金ヲ交付セラレ度シ

三、小麥ノ採種圃設置獎勵費ヲ反當五圓ニ増額セラレ度シ

四、小麥ノ貯穀害蟲驅除獎勵ヲ一般施設トシテ施行セラレ度シ

島根縣

一、小麥増殖獎勵規則第二條第五號ノ專任技術員ニ關シテハ特別ノ事由アル場合ニ限り全額國庫補助トセラレ度シ

二、小麥増殖獎勵事業中技術的指導ヲ要スルモノニ付テハ縣ノ直營事業トナシ農會ニ於テハ普及宣傳、販賣方面等ニ當ラシムル様事務分擔ノ區分ヲ明カニセラレ度シ

岡山縣

- 一、小麥増殖實行委員ノ數ヲ現在人員ノ二倍以上ニ増加セラレ度シ若シ實現困難ナル場合ハ寧ロ全然之ヲ廢止シ其ノ經費ヲ以テ他ノ小麥増殖事業ヲ一層助成セラレ度シ
- 二、普及宣傳事業ノ必要ノ程度ハ年ト共ニ減少スルヲ以テ昭和九年度以降ハ其ノ經費ヲ極度ニ減少シ他ノ増殖事業ニ振り當テラレ度シ
- 三、現行ノ小麥増殖獎勵金ヲ其ノ範圍内ニ於テ事業ノ選擇ハ道府縣ヲシテ行ハシムル様改正アリ度シ

廣島縣

- 一、販賣統制ニ關スル事務ニ從事スル專任技術員ヲ道府縣ニ設置スル爲ニ要スル費用ニ對シテ助成金ヲ交付セラレ度シ
- 二、小麥ノ増殖ニ關スル普及宣傳事業ノ助成金ヲ増額シ更ニ經理ヲ地方長官ニ一任セラレ度シ
- 三、地方的特殊事業ノ助成金ヲ増額セラレ度シ

山口縣

- 一、小麥増殖實行委員ノ事業成績報告期限ハ六月三十日ノ處十二月十五日ニ變更セラレ度シ

徳島縣

特ニ更改ヲ必要ト認ムル事項ナシ

香川縣

- 一、小麥増殖實行委員ニ農業技術員又ハ勸業主任（農業技術員設置ナキ町村）ヲ任命シ得ル様更改セラレ度シ

愛媛縣

現行ノ各獎勵施設ハ實施後未ダ日猶淺ク其ノ經過成績モ不明ニシテ目下ノ處特ニ更改スベキ事項ヲ認メズ

高知縣

- 一、小麥増收競技會ノ一出品地ノ面積一反歩以上トアルヲ八畝歩以上ニ改メラレ度シ
- 二、小麥増殖指導員（直接指導ノ任ニ當ル市町村農會技術員）ヲ設置スル爲要スル道府縣ノ費用ニ對シ獎勵金ヲ交付セラレ度シ

福岡縣

- 一、小麥採種圃ノ反當助成金ヲ今少シク増額シ尙一道府縣總額八千圓ノ限度ヲ撤廢セラレ度シ

佐賀縣

- 一、各道府縣ニ於ケル小麥増殖五箇年計畫ニ基キ設置シタル小麥原種圃竝ニ小麥採種圃ニ對シテハ設置總反別ニ對シ獎勵金ヲ交付セラレ度シ

長崎縣 二、小麥增收競技會並ニ小麥増殖成績競進會ノ褒賞授與式費ニ對シ獎勵金ヲ交付セラレ度シ

特ニ更改ヲ必要ト認ムル事項ナシ

熊本縣

一、小麥育種地方試験ノ製粉ニ關スル試験研究ヲ整備擴張シ其ノ區域内ノ府縣ノ委託ニヨリ製粉ニ關スル試験研究ヲナス途ヲ講ゼラレ度シ

二、獎勵品種決定試験ニ關シテハ其ノ試験費ニ對シ五反歩一千圓限度ノ獎勵金交付ノ途アルモ更ニ府縣ノ事情ニヨリテハ特ニ反別及獎勵金ヲ増加シ特殊地方ニ對スル品種適否試験ヲモ併セ行フ途ヲ講ゼラレ度シ

大分縣

一、小麥採種圃ノ指導督勵ニ從事スル專任技術員設置ニ要スル費用ヲ全額國庫補助ニ改メラレ度シ
二、小麥増殖實行委員ノ員數ヲ一町村一名ニ減少シ手當額ヲ増加シ專心指導督勵、調査ニ當ラシムル途ヲ講ゼラレ度シ

宮崎縣

一、小麥ノ販賣統制ヲ行フ縣郡市農會ノ全部ニ對シ獎勵金ヲ交付セラレ度シ

二、地方的特殊事業トシテ試験研究ヲ認メラレ度シ

鹿兒島縣

一、小麥作肥料ニ對シ可及的多額ノ政府資金ヲ無利子又ハ極メテ低利若ハ利子補給等ノ方法ニ依リ且ツ最モ簡易ナル手續ニ依リ貸付セラル、様小麥増殖獎勵施設上考慮セラレ度シ

二、小麥病蟲害ノ内萎縮病ニ付テハ未ダ適當ナル防除法ナキヲ以テ之ガ研究ト共ニ本病ニ對スル耐病性優良品種育成ノ必要急ナルヲ認ム而シテ銹病類及白澁病ニ對スル石灰硫黃合劑ノ效果又貯藏小麥ノ赤黴病及麥蛾防除ニ對スル「クロールピクリン」瓦斯燻蒸ノ效果ニ付テハ既ニ試験成績ノ示スガ如クナルヲ以テ驅除用藥劑ノ購入、驅除用器具機械ノ購入、燻蒸箱ノ購入及燻蒸兼貯藏倉庫ノ設置等ニ對シ相當助成セラレ度シ

三、小麥増殖實行委員ノ設置數ヲ各道府縣ノ事情ヲ考慮シテ決定セラレ度シ

(二) 農林省提出協議事項 四

「小麥販賣統制ニ關スル件」

右ニ對スル各道府縣ヨリノ書面答申ノ要旨左ノ如シ

北海道

北海道ニ於テハ大正十四年北海道小麥販賣聯合會ヲ設立シ爾來小麥ノ生産改良、増殖ヲ圖リ販賣ヲ

有利ナラシメ着々其ノ実績ヲ舉ゲツ、アリ

本年ニ於テハ小麥ノ販賣ハ産業組合系統ノ機關ニ統制セシムルコト、シ産業組合ノ設置ナキ町村ニ於テハ農會系統ノ機關ヲシテ斡旋セシムルコト、セリ以上ノ方針ニ基キ北海道農會及北海道信用購買販賣組合聯合會ヲシテ之ガ計畫ヲ樹立セシメ兩者協調ノ上有利ニ販賣ヲナシ生産者ノ利益ヲ圖ルコト、セリ

青森縣

從來ハ上北、三戸ノ兩郡ニ於テ縣農會斡旋ノ下ニ出廻期ニ於ケル共同販賣ヲ行ヒタルニ過ギズ

昭和七年度ニ於テハ縣農會及縣販賣購買組合聯合會協議ノ結果組合關係ハ之ヲ縣販賣組合聯合會ニ於テ取扱ヒ其ノ他ハ縣農會斡旋ノ下ニ上北、三戸ノ兩郡ニ於テ入札ニ依ル共同販賣ヲ行ヘリ

岩手縣

販賣統制ニ關シテハ産業組合並ニ農會之ニ當リ圓滑ニ行ハレツ、アリ四月上旬各關係機關ト協議ノ上計畫ヲ樹立セリ

宮城縣

昭和七年七月十四日縣主催ノ下ニ縣農會及縣販賣購買組合聯合會ノ關係者ノ會同ヲ求メ各々其ノ機

能ニ應ジ協調シテ販賣統制事業ニ當ルコト、セリ尙近ク關係者ノ會合ヲ求メ具體的行動ニ移ル計畫ナリ

秋田縣

販賣統制事業ハ縣農會ノ事業トシテ南秋田郡農會ヲ指定シ行ハシメツ、アリ

山形縣

縣ニ於テハ過般開催ノ小麥増殖獎勵委員會ニ産業組合及縣農會販賣主任ノ出席ヲ求メ郡市農會ト種々協議セリ更ニ四月十日各關係技術員會議ヲ開催シ小麥ノ販賣統制事業計畫及實行方法等ニ關シ根本的ニ協議ヲナス豫定ナリ尙縣農會ニ於テハ小麥販賣專任技術員ヲ飽海、北村山ノ兩郡農會ニ設置シ販賣ノ圓滑ヲ期スベク補助申請中ナリ又産業組合ニテハ縣農會ト協調シテ販賣統制ニ當ルコト、シ之ガ對策ヲ講ジツ、アリ

福島縣

縣ニ於テハ昭和八年度ヨリ小麥ノ縣營検査ヲ施行シ米穀同様銘柄ヲ設定シ之ニ依リ市場ニ販賣セントス縣購買販賣組合聯合會ニ於テハ專任職員ヲ設置シ各般ノ調査ヲ進メ販賣統制ニ關スル各種ノ印刷物ヲ配付スル等着々準備ヲ進メツ、アリ又縣農會ニ於テハ從來ノ販賣斡旋事業ノ充實ヲ圖ルト共

茨城縣
ニ播種期ニ於テ縣内七箇所ニ町村技術員其ノ他關係者ヲ招集シ販賣斡旋ニ關スル協議會ヲ開催セリ

小麥販賣統制計畫ヲ樹立シ之ガ事務ヲ擔當スル專任職員ヲ新ニ任用シ統制上必要ナル集荷、販賣、受渡精算等ノ事務ヲ擔當セシメタリ小麥出盛期前ニ數回ノ協議會ヲ開催シ昭和七年度産十萬俵ニ付販賣ノ統制ニ努ムルコト、セリ縣販賣組合聯合會ハ販賣手数料ヲ低下シ右豫定數量ニ達セシムベク計畫ヲ樹立セリ

右計畫ノ下ニ極力統制ニ努メタルモ大製粉會社、大醸造會社等ガ地方ニ散在スル手先商人ヲ利用シ右統制ヲ攪亂スルガ如キ行爲ニ出デタルヲ以テ豫定數量ヲ取扱フニ至ラザリキ

栃木縣

縣購買販賣組合聯合會ニ於テハ專任職員ヲ設置セル外所屬ノ販賣主任者ヲ集メ共同販賣ニツキ協議セリ縣農會ニ於テモ亦專任職員ヲ設置シ町村農會、出荷組合等ト協力シテ出荷ヲ勸誘シ農業倉庫ヲ利用シ競争入札又ハ製粉會社、大口需要者ト隨意契約ニヨリ共同販賣ヲ行ヘリ

群馬縣

縣購買販賣組合聯合會ニ於テハ出荷統制ニ關スル指導ヲナシ又協議會ヲ開催シ出荷ノ統制ヲ圖ル外縣下ノ組合未設置町村ニ對シ極力組合設置ヲ勸奨シ尙各郡市町村ニ小麥販賣統制委員ヲ設置セリ

縣農會ハ小麥増殖獎勵並ニ販賣統制ニ關スル事務者ヲ設置シ市況調査及通信ヲ行フ外小麥販賣斡旋者、製粉工場代表者並ニ取引商ヲ集メ協議會ヲ開催セリ

埼玉縣

小麥増殖計畫委員會ニ於テ審議ノ結果小麥ノ販賣ニ關シテハ將來産業組合ヲ以テ之ガ統制ニ當ラシムベキモ當分系統農會及産業組合ノ兩者ヲシテ之ニ當ラシメ縣ニ於テハ兩者ノ聯絡協調ヲ圖リ其ノ實行ヲ促進スルコト、セリ

千葉縣

縣農會ハ主要生産地方ノ郡農會ヲ統制シ郡農會ハ所屬町村農會ヲ統制シ大口需要者ニ對シテハ隨意契約ニ依リ其ノ他ニ對シテハ競争入札ノ方法ニヨリ共同販賣ヲ實行セリ縣販賣購買利用組合聯合會ハ協議會ヲ開催シ之ガ趣旨ノ普及徹底ヲ圖ル外販賣統制ニ關スル講習會ヲ開催シ尙其ノ他販賣統制ニ關スル專任技術員ヲ任用シ小麥集散箇所ニ出張所ヲ設置セリ

東京府

該當事項ナシ

神奈川縣

昭和八年二月二日小麥増殖指導員協議會ニ於テ販賣統制ノ實施方法ノ指示並ニ協議ヲ行ヒ後引續キ

各都市農會ニ於テ開催セル小麥増殖獎勵協議會ニ於テ之ガ實施方法ヲ指示セリ其ノ他各方面ニ於ケル調査ヲ施行シ以テ本事業ノ完璧ヲ期スベク努力シ、ツアリ

新潟縣

該當事項ナシ

富山縣

目下各關係者ニ於テ具體案協議中ニシテ四月上旬協議會開催ノ上決定ノ豫定ナリ

石川縣

該當事項ナシ

福井縣

坂井、大野ノ兩郡ノ一部ヲ除ク外ハ自家消費ヲ充スニ過ギザル現況ニ在ル故之等兩郡ニ於テハ郡農會ニテ規格ヲ統一シ共同販賣斡旋ヲナス計畫ナリ更ニ縣下一圓ノ販賣統制ハ縣販賣購買組合聯合會ヲシテ行ハシムベク四月上旬縣、郡農會並ニ右聯合會ト具體的協議ノ上決定ノ豫定ナリ

山梨縣

生産指導ヨリ集荷検査ニ至ル迄ヲ系統農會ノ分掌トシ金融並ニ配給ノ主體ヲ縣販賣組合聯合會トシ互ニ連絡協調以テ販賣統制事業ニ當ルコト、シ商品價値ノ向上、検査ノ實施、販賣方法改善或ハ趣旨

ノ徹底等ヲ企劃シ着々進捗中ナリ

長野縣

從來販賣上諸機關ノ連絡協調ニ思ハシカラザルモノアリタルヲ以テ本年ハ縣、検査所、縣農會、縣購買販賣組合聯合會ト協議ノ上計畫ヲ樹テ各種機關、團體ノ協力ニ依リ之ガ徹底ヲ期セントス

岐阜縣

販賣統制事業ハ從來ハ多ク農會系統ニ於テ行ハレタルモ昭和七年度ニ於テハ濃飛農倉販賣組合聯合會ニ於テモ行ヘリ縣ニ於テハ今後專ラ兩者ノ協調連絡ヲ圖リ當業者ノ福利増進ヲ基礎トシ之ガ計畫ヲ樹立シ近ク兩者ノ懇談的協議會ヲ開催シ本事業ノ圓滑ヲ期セントス

静岡縣

前年度ニ於テハ產業組合ト縣農會トノ間ニ若干意志ノ疎通ヲ缺キ多少紛糾ヲ來シタルモ昨今漸ク兩者圓滿ニ協調シテ協力一致事ニ當ラントスルノ機運トナリタルヲ以テ此ノ機會ヲ利用シ縣ハ近ク兩者幹部ノ參集ヲ求メ小麥販賣統制協議會ヲ開催スベク目下其ノ下交渉中ナリ

愛知縣

愛知縣農產品出荷統制委員會規定ニ依リ設置セラレタル委員會ニ於テ販賣並ニ出荷ニ付具體的統制

計畫ヲ樹ツル爲四月中ニ穀物部會開催ノ豫定ナリ縣販賣購買組合聯合會並ニ縣農會ハ何レモ販賣統制ニ關スル協議會ヲ開催セリ更ニ四月中ニ各主任者ノ協議會ヲ開催スル豫定ナリ尙今後ハ縣販賣購買組合聯合會ト縣農會トノ連絡協調ニ依リ出來得ル限リ共同販賣ノ事業的分野ヲ定メ協力以テ販賣ノ統制ニ當ル方針ナリ

三重縣

縣農會ニ於テハ販路擴張懇談會、共同販賣協議會ヲ開催スル外講習講話會ノ開催並ニ印刷物ノ配付等ニ依リ販賣統制ノ趣旨ノ普及徹底ヲ圖リ販賣ノ合理化ニ努メタリ縣信用購買販賣組合聯合會ニ於テハ小麥ノ販賣委員ヲ設置シ事務ノ圓滑ヲ圖ル外販賣統制協議會ヲ開催セリ

滋賀縣

縣信用販賣購買組合聯合會ニ於テハ專任職員ヲ設置シ昭和八年販賣小麥ヨリ實質的ニ統制ヲ行フ可ク之ガ準備ヲ整ヘツ、アリ縣農會ニ於テハ縣下販賣組合ト連携シ販賣協議會ヲ開催シ農會及販賣組合ノ事業分擔ヲ協定シ郡農會ヲ中心トスル共同販賣ヲ施行シ販賣統制ニ努メツ、アリ

京都府

昭和七年産小麥ノ共同販賣ハ其ノ計畫時期ノ遅レタル結果趣旨ノ徹底ヲ缺キ豫期ノ成績ヲ得ザリシ

ヲ以テ八年度ハ更ニ農會及府販賣購買組合聯合會ノ協調ヲ密接ニシ趣旨ノ普及徹底ヲ圖リ且ツ農業倉庫利用ヲ促進セシムル方針ノ下ニ府農會ハ系統農會ヲ又府販賣購買組合聯合會ハ各級產業組合ヲ通ジ各々其ノ計畫趣旨ノ貫徹ニ努メ府ハ之ガ督勵助成ニ努メツ、アリ

大阪府

小麥ノ増殖獎勵各技術員及府農會、府販賣購買組合聯合會關係者會合ノ上販賣ニハ府販賣購買組合聯合會ヲシテ當ラシメ貯藏ヲ獎勵スルコト、シ又小麥増殖關係實行組合長及町村農會幹部ノ會合ヲ求メ小麥販賣ニ關スル協議會ヲ開催シ府下一齊ニ統制アル共同販賣ニ附スベキコトヲ協議セリ

兵庫縣

小麥ノ販賣ニ關シテハ既ニ昭和二年度ヨリ農會指導ノ下ニ各郡農會ニ於テ共同販賣ヲ實施シツ、アリ昨年度ニ於テハ從來通り販賣斡旋ノ主體ヲ郡農會ニ置キ縣農會之ヲ統制シ八月迄競争入札ニ依リ其ノ後ハ隨意契約ニ依リ販賣セリ

奈良縣

小麥ノ販賣統制及販賣改善ノ事業ハ主トシテ產業組合及縣農會ノ兩者提携ノ下ニ計畫實施セシメ縣ハ之等兩者ノ活動ヲ統制、指導スベク方針ヲ樹立シ其ノ方針ニ基キ縣農會主催ニテ縣農會、縣販賣購買組合聯合會トノ打合會並ニ縣、穀物検査所、縣農會、縣販賣購買組合聯合會ノ協議會ヲ開催シ

小麥販賣計畫ヲ決定セリ

和歌山縣

該當事項ナシ

鳥取縣

縣農會ニ於テハ各郡市農會販賣幹旋主任ヲ招集シ協議會ヲ開催シ各市町村ニ於テ小麥栽培契約臺帳ヲ作製シ共同販賣ヲ行フコト、シ縣販賣組合聯合會ニ於テハ縣販賣組合聯合會支所主任ノ參集ヲ求メ又各支所ニ於テハ所屬市町村販賣組合係員ヲ招集シ販賣統制事業ニ關シ協議ヲ行ヘリ

島根縣

縣農會ニ於テハ郡農會ニ專任職員ヲ設置シ各郡農會ノ事業ノ中心タラシメ以テ本事業ノ徹底ヲ期シ又縣信用購買販賣組合聯合會ニ於テモ別ニ販賣統制事業ヲ開始セントシ具體案ヲ作製セルモ之等ノ計畫相互ニ何等ノ連絡ナキヲ以テ四月上旬右兩團體ヲ招集シテ販賣統制計畫竝ニ實行方法ニ關シ協議シ確固タル方針ヲ樹立セシムベク考慮中ナリ

岡山縣

縣農會ニ於テハ專任職員ヲ設置シ販賣統制ニ從事セシムル外郡市農會販賣幹旋職員ヲ召集シ縣、產業組合、農業倉庫聯合會其ノ他關係者ノ出席ヲ求メ販賣統制ニ關スル協議會ヲ開催シ縣購買販賣組

合聯合會ニ於テモ亦專任職員ヲ設置シ販賣統制ニ關スル事務ニ從事セシムル外販賣統制協議會ヲ開催セリ

廣島縣

縣ニ於テハ四月十日縣農會、信用購買販賣組合聯合會、農產物検査所、產業組合及小麥販賣統制專任職員ヲ招集シ協議會開催ノ豫定ナリ信用購買販賣組合聯合會ニ於テハ販賣統制實施上必要ナル各種ノ調査ヲ行ヒ販賣統制方法等ヲ研究中ニシテ四、五月ニ於テ販賣品取扱ニ關スル協議會ヲ開催スル豫定ナリ縣農會ハ專任職員ヲ設置シ各種關係團體ト提携シ統制ニ遺漏ナキヲ期シツ、アリ

山口縣

三月三十日縣廳ニ於テ各關係方面ノ會合ヲ求メ販賣統制協議會ヲ開催シ販賣統制計畫ヲ樹立セリ縣販賣購買組合聯合會ノ主催ヲ以テ各郡單位ニ販賣統制協議會ヲ開催シ又各町村モ其ノ後ニ於テ町村内ヲ單位トシ農事組合長ヲ集メ之ガ趣旨ノ普及徹底ニ努メシムルコト、セリ

德島縣

縣主催ノ下ニ本年一月縣販賣購買組合聯合會、縣農會其ノ他關係者ノ會合ヲ求メ事務協定ヲナシ之ニ基キ指導獎勵ヲナシツ、アリ縣販賣購買組合聯合會ハ縣下各郡ニ亘リ町村農會技術員、町村勸業主任及町村產業組合職員ヲ招集シ販賣指導ノ打合會ヲ開催シ更ニ三月二十四日縣販賣購買組合聯合

會ハ各種關係機關ノ集合ヲ求メ昭和八年度ニ於ケル全販聯ノ小麥販賣統制ニ關スル件、縣下小麥販賣統制ノ實行ニ關スル件ニ付協議セリ

香川縣

從來本縣ニ於テハ市町村ハ農會、產業組合、農業倉庫、郡ハ郡農會、縣ハ縣產業組合聯合會ニ於テ極力共同販賣ニ努メツ、アルヲ以テ縣ハ專ラ小麥販賣ノ統制、指導誘掖ニ當リ時々關係團體ヲ招集シ協議打合ヲナシ相互ノ協調ヲ圖ラントス縣產業組合聯合會ニ於テハ職員及販賣支所ヲ設置シ未加入組合ノ加入ヲ勸誘シ講話會ノ開催又ハ印刷物配付等ニ依リ小麥ノ販賣統制ニ努メタリ縣農會ニ於テハ大川、香川ノ兩郡農會ニ經費ヲ助成シ小麥ノ販賣統制ニ努メタリ

愛媛縣

縣内全般ニ亘リ共同販賣ノ実績ヲ舉ゲシムル方針ノ下ニ產業組合、農會共ニ本事業ノ衝ニ當ルヲ適當ト認メ夫々計畫ヲ實施セシメツ、アリ縣ハ關係機關ノ連絡協調ニ依リ親和ヲ圖リ關係機關總動員シテ共同戰線ニ立ツノ方策ヲ樹立シ共同販賣事業達成ノ爲各機關ノ活動ヲ促セリ

高知縣

專任職員一名ヲ設置シ本事業ニ當ラシメ販賣機關ノ訓練、統制ノ爲各郡町村農會ニ對シ講習講話會ヲ開催シ共同販賣ノ趣旨ヲ徹底セシメ將來共同販賣實施上遺憾ナキヲ期シ他面縣產業組合聯合會

ト協調シ事業ノ分擔ヲ定メ販賣組織ノ完備ヲ企圖セリ

福岡縣

三月二十七日各種關係機關ノ會合ヲ求メ小麥販賣統制ニ關スル研究協議會ヲ開催シ協調案ヲ作製シ更ニ四月七日縣内各種關係機關及帝國農會及全販聯關係者ヲ加ヘ協議會ヲ開催シ完全ナル小麥販賣統制網ヲ設ケ又新ニ小麥増殖獎勵審議會ニ販賣ニ關スル關係者ヲ委員ニ任命囑託シ販賣統制ニ關スル審議ヲ行ヘリ

佐賀縣

本縣ニ於ケル米麥ノ共同販賣ハ十數年來農會系統ニ於テ實施シ以テ今日ノ如キ優秀ナル成績ヲ舉グルニ至レルモ近年產業組合ニ於テモ米、麥、菜種ノ共同販賣ヲ行フコト、ナリシ爲統制上遺憾トスル所アルヲ以テ目下縣ニ於テ調停中ナリ

長崎縣

縣信用販賣購買組合聯合會ニ於テハ專任職員ヲ設置シ販賣統制上必要ナル各種ノ調査ヲ行ヒ計畫ヲ樹立シ統制ノ実績ヲ舉グベク努力シツ、アリ縣農會ニ於テハ栽培中心地タル北高來竝ニ北松浦ノ兩郡ニ擔任職員ヲ設置シ販賣統制計畫ヲ樹テ之ガ遂行ニ努力シツ、アリ又縣ニ於テハ各種關係機關ノ會合ヲ求メ縣ノ計畫竝ニ實行方法ヲ指示シ協議ヲ遂ゲ目的ノ達成ニ努ムルコト、セリ

熊本縣

縣購買販賣組合聯合會ニ於テハ販賣統制協議會ヲ開催セル外印刷物ノ配付等ニ依リ趣旨ノ普及徹底ニ努メ縣農會ニ於テハ小麥配給改善協議會ヲ開催セル外印刷物等ニ依リ趣旨ノ普及徹底ヲ圖リツ、アリ尙縣ニ於テハ兩者ノ協調ヲ圖ル爲關係者ノ協議會ヲ開催セリ

大分縣

昭和七年產小麥ノ販賣ニ關シテハ時期遅ク大部分處分後ナリシモ二萬五千俵ノ取扱ヒヲ目標トシ關係者間ニ於ケル連絡協調ノ下ニ販賣統制計畫ヲ樹テ主要產地タル宇佐、大野ノ兩郡ニ於テ實施セリ本年ニ於テハ大體昨年ノ計畫ヲ踏襲擴大スルコト、セルモ二月ニ於テ小麥販賣ニ關シ關係者ノ協議會ヲ開催シ出荷、集荷ハ主トシテ系統農會、金融、販賣ハ主トシテ産業組合系統ガ之ニ當リ充分連絡協調ノ上實施スベキ事ヲ協定セリ尙新年度早々販賣統制ニ對シ更ニ詳細ナル計畫ヲ樹立シ實行ニ着手セントス

宮崎縣

一月七日關係方面ノ出席ヲ求メ協議會ヲ開催シ販賣統制ニ關スル大體ノ方針ヲ協定セリ縣ニ於テハ販賣統制計畫ヲ樹立シ系統農會ハ主トシテ出荷統制ニ當リ其ノ中心ヲ郡市農會ニ置キ産業組合ハ主トシテ販賣竝ニ金融ニ當リ其ノ中心ヲ販賣組合聯合會ニ置クコト、シ農會、産業組合協力シテ以テ

統制ノ完璧ヲ期セントシツ、アリ

鹿兒島縣

從來縣農會及縣産業組合聯合會ノ兩者ニ於テ小麥販賣ニ關スル事業ヲ行ヒ夫々相當ノ成績ヲ舉ゲ來リタル處往々兩者連絡ヲ缺キ中間商人ニ乗ゼラル、憾多カリシモ今回兩者ノ完全ナル提携ノ下ニ販賣ノ統制ニ當ルベク協定成立セリ

第六 農林省提出協議事項決議

農林省提出協議事項 二

「小麥增收競技會審査方法ニ關スル件」

右ニ對スル決議

第一委員會ノ決議ヲ可決ス 第一委員會ノ決議左ノ如シ

第一委員會

委員長 前田修治

農林省提出協議事項 二

小麥增收競技會審査方法ニ關スル件

右ニ對スル決議

農林大臣賞ヲ受クル增收競技會出品審査ハ畝刈法又ハ全刈法ヲ行ヒテ收量ヲ調査スベシ
但シ特別ノ事情アル場合ハ坪刈法ニ依ルコトヲ得
畝刈法、全刈法及坪刈法ハ左ニ依ルモノトス
甲、臨地審査

畝刈法

- 一、出品圃地ノ全面積ヲ測定ス
- 二、出品圃地ノ作況ヲ觀察シ其ノ平均ト認ムベキ場所三箇所以上ヲ選定ス
- 三、選定セラレタル場所ニ於テ約十歩ヲ四邊形ニ刈取り刈取後ニ刈取タル面積ヲ測定ス
刈取部分ト刈取ラザル部分トノ境界ハ壟溝ノ平均中心線、畦（作條）間ノ平均中心線及株間ノ平均中心線トス
- 刈取面積ノ測定ハ三角測量法ニ依ル
- 四、刈取區劃ノ何レノ部分モ圃地ノ周縁ヨリ六尺以上内部ニ位置スルヲ要ス
- 五、長サハ厘、坪數ハ小數以下四位迄算出シ厘及小數以下四位ヲ四捨五入ス
- 六、刈取リタル小麥ハ各區ノ分ヲ合シ直ニ脱穀調製シタル後子實全重量ヲ測定シ（三回測定シテ平均ス）平均セルモノ二貫匁ヲ二點採取シ現品審査材料トス

全刈法

- 一、出品圃地全部ヲ刈取ルモノトス
- 二、面積ハ畦畔ト圃地トノ境界線ヲ境トシ圃地ノ面積ヲ三角測量法ニヨリ算出ス
- 三、長サハ厘、坪數ハ小數以下四位迄算出シ厘及小數以下四位ヲ四捨五入ス
- 四、刈取リタル小麥ハ脱穀調製シ全重量ヲ測定シ（三回測定シテ平均ス）平均セルモノ二貫匁ヲ二點採取シ現品審査材料トス

坪刈法

- 一、出品圃地ノ全面積ヲ測定ス
- 二、出品圃地ノ作況ヲ觀察シ其ノ平均ト認ムベキ場所三箇所以上ヲ選定ス
- 三、選定セラレタル場所ニ於テ刈取線ノ長サ又ハ刈取ルベキ區劃ヲ左ニ依リ設定ス

(一) 平畦又ハ縦作條ノ場合

刈取線ノ長サハ三十六平方尺（一坪）ヲ畦幅（又ハ壟幅）ト刈取畦數（又ハ壟數）トノ積ニテ
餘シテ算出ス、此ノ場合畦幅（壟幅）トハ刈取畦（刈取壟）ノ一ヲ中心トシ兩側ニ二畦（二壟）
宛取リ其ノ外側ニ於ケル畦ト次ノ畦トノ中心線間（壟溝ノ中心線間）ノ距離ヲ測定シ其ノ長サ
ヲ畦又ハ壟ノ數ニテ除シタルモノトス

點播ノ場合ハ刈取線ノ兩端ヲ株ト株トノ中心ニ置キ約一坪（一坪ヲ下ラザルコト）トナル長サヲ取リ畦幅（壟幅）ニ其ノ長サヲ乘ジ面積ヲ算出ス

(二) 横作條ノ場合

刈取豫定壟ノ兩側ニ於ケル壟溝ノ平均中心線及刈取豫定區劃ノ最外側ノ作條ト次ノ作條トノ平均中心線ニ依リ圍マル、面積約一坪（一坪ヲ下ラザルコト）ノ四邊形ヲ定ム

(三) 作條ヲ設ケザル點播ノ場合

株間ノ平均中心線ニ依リテ圍マル、面積約一坪（一坪ヲ下ラザルコト）ノ四邊形ヲ定ム

(四) 平畦撒播ノ場合

刈取線ニ依リテ圍マル、面積約一坪（一坪ヲ下ラザルコト）ノ四邊形ヲ定ム

四、刈取區劃ノ何レノ部分モ圃地ノ周縁ヨリ六尺以上内部ニ位置スルヲ要ス

五、横作條、作條ヲ設ケザル點播、平畦撒播ノ場合ニ於ケル面積ハ三角測量法ニヨリ算出ス

六、長サハ厘、坪數ハ小數以下四位迄算出シ厘及小數以下四位ヲ四捨五入ス

七、刈取リタル小麥ハ各區ノ分ヲ合シ直チニ脱穀調製シタル後全重量ヲ測定シ現品審査材料トス

乙、現品審査

一、審査材料ハ秤量シタル後同一程度ニ乾燥スルヲ要ス（晴天二日以上乾燥シタル後更ニ全部ヲ同日ニ同一方法ニ依リ晴天一日以上乾燥ス）

二、精選ハ丁寧ニ之ヲ行フベシ（唐箕二番口ニ出ル程度ノモノハ除ク）

三、乾燥完了後一日以上ヲ經過シタル場合重量及一升重量ヲ測定ス（各三回測定シテ平均ス）

四、品位ヲ調査シ評價ヲ行フ

丙、等級決定

一、左ニ依リ反當收量ヲ算定ス

A、重量ノ場合

(1) 坪刈法ノ場合

$$\text{反當收量} = \frac{A \times 300}{t}$$

A、ハ精選後ニ於ケル重量(貫)

t、ハ刈取面積(坪)

(2) 全刈法及畝刈法ノ場合

$$\text{反當收量} = \frac{A \times B \times 300}{2 \times t}$$

A、ハ現品審査材料精選後ニ於ケル重量(貫) 二點ノ平均)

B、ハ臨地審査ニ於ケル全重量(貫)

t、ハ刈取面積(坪)

B、容量ノ場合

反當重量ヲ一升重ニテ除シテ算出ス

二、左ニ依リ等級ヲ決定ス

反當重量及評價額ニヨリ反當生産金額ヲ算定シ其ノ順位ニ依リ等級ヲ決定ス
但シ本年ニ限り反當重量ノ順位ニヨリ等級ヲ決定スルコトヲ得

農林省提出協議事項 三

「小麥増殖成績競進會實施計畫及審査方法ニ關スル件」
右ニ對スル決議

第二委員會ノ決議ヲ可決ス 第二委員會ノ決議左ノ如シ

第二委員會

委員長 安孫子孝次

農林省提出協議事項 三

小麥増殖成績競進會實施計畫及審査方法ニ關スル件

右ニ對スル決議

小麥増殖成績競進會實施計畫及審査要綱

甲、實施計畫

一、開催者

道府縣又ハ道府縣農會

二、出品區域

道府縣一圓

三、出品者

小麥増殖計畫ヲ樹立セル市町村農會又ハ農事實行組合（之ニ準ズル團體ヲ含ム）ニシテ且ツ同種
類ノ團體トスルコト

四、出品點數

少ナクトモ授賞點數ノ二倍半以上トシ成ルベク多數出品セシムルコト

五、事業實施方法

（一）系統的ニ競進會開催ノ場合

（1）各郡市農會ヲシテ第一次のニ之ヲ開催セシメ成績優秀ナル團體ヲ選抜シ道府縣又ハ道府縣
農會ノ競進會ニ推薦出品セシムルコト而シテ右郡市農會開催競進會ノ主要審査ニハ道府縣又
ハ道府縣農會開催競進會ノ審査員必ズ立會フコト

- (2) 各郡市農會ヨリ推薦スベキ點數ハ各郡市ノ小麥作付面積、生産額及將來ニ於ケル小麥作付増加可能見込面積竝ニ生産増加見込數量等ニ依リ豫メ配當シ置クコト
- (一) 以外ノ場合
- 前號(2)ノ方法ニ依リ各郡市農會ニ豫メ出品點數ヲ配當シ適當ト認ムル團體ヲ選抜シ出品セシムルコト

乙、審査

一、審査方法

審査ハ小麥増殖事業計畫ノ審査及小麥増殖事業成績ノ審査ニ分チ之ヲ行フ

- (一) 小麥増殖事業計畫ノ審査
 - 出品團體ヲシテ其ノ團體ノ農業經營及小麥栽培ニ關スル現況調査(最近一—三箇年)竝ニ小麥増殖計畫(將來ノ基本計畫及其ノ年度ノ計畫)ヲ別ニ定ムル項目ニ基キ記載シタル事業計畫書ヲ提出セシメ其ノ適否ヲ審査ス
- (二) 小麥増殖事業成績ノ審査
 - 審査員ヲ隨時現地ニ派遣シ實地調査ヲ行フ出品團體ヲシテ別ニ定ムル項目ニ基キ記載シタル小麥増殖事業成績報告書ヲ提出セシメ事業計畫書、縣及町村等ノ統計書、穀物検査所報告書、其

ノ他適當ナル資料ト比較對照シ其ノ実績ヲ審査ス

二、審査項目

A、小麥増殖事業計畫

- 一、現況調査(最近一—三箇年)
 - (一) 出品團體ノ農業經營現況
 - (1) 農家戸數(農家戸數、其ノ團體ノ總戸數ニ對スル農家戸數ノ割合)
 - (2) 耕地面積(田畑別及一毛作、二毛作別)
 - (3) 作物(作物別作付面積及生産額)
 - (4) 開墾可能面積
 - (二) 小麥栽培現況
 - (1) 小麥栽培農家戸數(小麥栽培農家戸數、農家總戸數ニ對スル小麥栽培農家戸數ノ割合)
 - (2) 作付面積、生産額及反當收量(各田畑別)
 - (3) 獎勵品種普及歩合及種子更新狀況
 - (4) 栽培法及病蟲害等ノ防除
 - (5) 乾燥調製及貯藏法

- (6) 品位(検査成績)
- (7) 販賣及利用狀況
- 二、將來ニ於ケル耕地利用計畫
- 三、小麥増殖計畫(各項目ニ付將來ノ基本計畫及其ノ年度ノ計畫ヲ記載スルコト)
- (一) 小麥栽培農家ノ増加ニ關スル計畫
- (二) 作付面積及生産額ノ増加ニ關スル計畫
 - (1) 作付面積ノ増加(田畑別増加面積及増加面積ノ休閑地、開墾地ノ利用、他作物ヨリノ轉換等ノ關係)
 - (2) 反當收量ノ増加(田畑別反當收量、増加割合及増加方法等)
 - (3) 生産額ノ増加(田畑別、反當收量ノ増加ニ依ル増産額及作付面積ノ増加ニ依ル増産額等)
 - (三) 獎勵品種ノ普及及種子更新ニ關スル計畫
 - (採種圃ノ品種別設置面積、經營方法及生産種子配給方法等)
 - (四) 栽培法ノ改善及病蟲害等ノ防除ニ關スル計畫
 - (實地指導地、其ノ他施肥改善及病害蟲防除等ニ關スル施設)

- (五) 品質ノ改善ニ關スル計畫
 - (乾燥、調製及貯藏法等ノ改善ニ關スル施設)
 - (六) 販賣及利用方法ノ改善ニ關スル計畫
 - (共同販賣、共同製粉等ニ關スル施設)
 - (七) 小麥増殖實行委員ノ設置及活動促進ニ關スル計畫
 - 其ノ他小麥増産ニ關スル獎勵指導等ノ計畫
 - (八) 小麥増殖事業ニ關スル經費豫算
 - (九) B、小麥増殖事業成績
 - 出品團體ニシテ小麥増殖計畫ノ項目ニ基キ記載シタル増殖成績報告書ヲ提出セシメ其ノ実績ヲ審査ス
- 農林省提出協議事項 六
- 「小麥生産費調査ニ關スル件」
- 右ニ對スル決議
- 一、調査方法
- 農林省提出ノ生産費調査方法案ニ依リ農林省作成ノ小麥生産費調査簿ニ記入

農林省提出小麥生產費調查方法案左ノ如シ

調査農家ノ選定

- 一、田小麥栽培地方ニ於テ田小麥生產費調査ヲ行フベキ町村ヲ畑小麥栽培地方ニ於テ畑小麥生產費調査ヲ行フベキ町村ヲ選定ス
- 二、調査町村ハ小麥ノ栽培品種ガ其ノ地方ニ於ケル代表的ノモノニシテ栽培法、反當收量、其ノ他ノ小麥栽培條件ガ當該地方ノ小麥作ニ關シ中庸ニシテ中庸ナル生產費ヲ得ルニ適當ナルモノタルベシ
- 三、前項ノ町村ニ於テ調査農家自作農及小作農各一戸ヲ選定スベシ（可及的一箇町村内ニ自作農、小作農各一戸ヲ選定ス、一箇町村ニ自作及小作各一戸ヲ選定シ難キトキハ小麥栽培條件ノ類似セル町村ニテ選定スベシ）
- 四、調査農家ハ（田麥地方ニ於テハ田小麥畑麥地方ニ於テハ畑小麥ニ付テ）其ノ地方ニ於ケル普通一戸當小麥栽培反別ナルベク一反歩以上ノ小麥作ヲ行フ中等農家タルベシ
- 五、調査農家ハ小麥ノ栽培品種ガ其ノ地方ニ於ケル代表的ノモノニシテ栽培法、反當收量、其ノ他小麥栽培條件ガ當該町村ノ小麥作ニ關シ中庸ニシテ中庸ナル生產費ヲ得ルニ適當ナルモノタルベシ
- 六、調査農家中自作農家ハ調査スベキ小麥ニ付七割以上ヲ自作地ニ於テ栽培スルモノ又小作農家ハ同ジク七割以上ヲ小作地ニ於テ栽培スルモノタルベシ

調査方法

- 一、田小麥生產費ヲ調査スベキ農家ハ田小麥ノ全部ニ付畑小麥生產費ヲ調査スベキ農家ハ畑小麥ノ全部ニ付調査ス
 - 二、前項前者ニ於ケル畑小麥及同後者ニ於ケル田小麥ニ付テハ調査セズ但シ共通經費ノ計算ニ際シテハ他作物ト同様ノ取扱ヲ爲ス
 - 三、生産費ハ左ノ各號ニ掲グル費用ノ合計額ヨリ副収入金額ヲ控除シタルモノヲ小麥收量ヲ以テ除シテ算出ス
- 種子代、肥料代、勞賃、畜力費、諸材料費、農舍費、農具費、租稅其他ノ公課、土地資本利子、小作料
- 四、種子代ハ購入シタル種子ニ付テハ其ノ購入代金、其ノ他購入ニ要シタル費用ニ依リ、購入セザル種子ニ付テハ選種當時ニ於ケル種子原料ノ農家ノ庭先相場ニ依リ算定ス
 - 五、肥料代ハ購入シタル肥料ニ付テハ其ノ購入代金、其ノ他購入ニ要シタル費用ニ依リ、購入セザル肥料ニ付テハ市價アルモノハ施肥當時ニ於ケル市價ニ依リ、市價ナキモノハ別ニ定ムル肥料成分ノ價格ニ依リ之ヲ算定ス
 - 六、勞賃ハ日雇勞働及季節雇勞働ニ付テハ賃金及實物給與ノ評價額ノ合計金額ニ依リ、自家勞働及之

ニ準ズル勞働並ニ年雇勞働ニ付テハ作業當時ニ於ケル當該地方ノ通常ノ日雇勞賃ニ依リ之ヲ算定ス
七、畜力費ハ使役當時ニ於ケル當該地方ノ通常ノ賃借料ニ依リ之ヲ算定ス但シ賃借シタル家畜ニ付テハ其ノ賃借料(實物給與ノ評價額ヲ含ム)ニ依ル

八、諸材料費ハ左ニ掲グル材料ニ付購入シタルモノニ在リテハ其ノ購入代金、其ノ他購入ニ要シタル費用ニ依リ、購入セザルモノニ在リテハ市價アルモノハ市價ニ依リ、市價ナキモノハ其ノ評價額(原料費、勞賃等ニ依リ評價ス)ニ依リ之ヲ算定ス

一、選種用材料

二、病蟲害驅除豫防用材料

三、器具機械用材料

四、包装用材料

五、前各號ニ準ズル用途ニ使用セラレタル材料

九、農舍費ハ農舍(住宅、納屋、作業場、肥料舍、倉庫其ノ他ノ工作物ヲ謂フ)ニ付テハ其ノ減價額及修繕費ノ合計金額ニ小麥作負擔割合ヲ乗ジタルモノニ依リ、農舍敷地(乾場、其ノ他農舍ノ附屬地ヲ含ム)ニ付テハ其ノ地代(類地ノ賃賃料ニ依リ評價ス)ニ小麥作負擔割合ヲ乗ジタルモノニ依リ之ヲ算定ス但シ賃借シタル農舍又ハ農舍敷地ニ付テハ其ノ賃借料ニ小麥作負擔割合ヲ乗ジタルモノ

ノニ依ル

減價額ハ各農舍ニ付當該年ニ行ヒタル評價額ヲ維持見込年數ヲ以テ除シタルモノトシ修繕費ハ通常ノ年當修繕費トス

小麥作負擔割合ハ農舍又ハ敷地ガ小麥ノ生産ニ供セラレタル割合ニ依リ之ヲ定ム

一〇、農具費ハ左記各號ニ依リ之ヲ算定ス

(一) 左ニ掲グル農具ニ付テハ其ノ減價額及修繕費ノ合計金額ニ小麥作負擔割合ヲ乗ジタルモノニ依ル但シ賃借シタルモノニ付テハ其ノ賃借料ニ小麥作負擔割合ヲ乗ジタルモノトス

犁、馬鍬、肥桶、播種器、石油發動機、電動機、畜力機、水車、廻轉脫穀機、麥打臺、唐箕、萬石通、荷車、舟、枺(一斗以上ノモノ)、桿秤(六貫以上ノモノ)、臺秤、肥料粉碎機、肥料粉末機、肥料配合機、噴霧器、選穀器

減價額ハ當該年ニ新調シタル農具ニ在リテハ其ノ新調ニ要シタル費用ヲ其ノ維持見込年數ヲ以テ、當該年前ニ新調シタルモノニ在リテハ當該年ニ於テ其ノ新調ニ要スル費用見込金額ヲ新調農具ノ見込維持年數ヲ以テ除シタルモノトシ修繕費ハ通常ノ年當修繕費トス又小麥作負擔割合ハ農舍費ニ於ケルト同一方法ニ依リ之ヲ定ム

共同利用ノ農具ニ付テハ自己ノ持分ニ依リ右ニ準ジテ農具費ヲ算定ス

- (二) 前號以外ノ農具ニ付テハ當該年ニ於テ新調シタル農具ニ在リテハ其ノ新調ニ要スル費用及當該年ニ於ケル修繕費ノ合計金額ニ小麥作負擔割合ヲ乗ジタルモノニ依リ、當該年前ニ新調シタルモノニ在リテハ當該年ニ於ケル修繕費ニ小麥作負擔割合ヲ乗ジタルモノニヨル
- 小麥作負擔割合ハ前號ニ於ケルト同一方法ニ依リ之ヲ定ム
- 一一、租稅其ノ他ノ公課ハ當該年ニ徵收セラル、左記ノ租稅其ノ他ノ公課ノ金額ニ小麥作負擔割合ヲ乗ジテ之ヲ算定ス
- 一、田畑租及其ノ附加稅並ニ田畑ニ對スル反別割、特別地稅及其ノ附加稅
 - 二、家屋稅及其ノ附加稅
 - 三、雜種稅
 - 四、農會費
- 小麥作負擔割合ハ左ノ割合ニ依リ之ヲ定ム
- (一) 第一號ノ租稅及第四號ノ農會費中地租割又ハ反別割ニ依リ賦課セラル、モノニ在リテハ小麥作粗收入ノ小麥作及夏作粗收入ニ對スル割合
- (二) 第二號及第三號ノ租稅其ノ他ノ公課ニ在リテハ家屋其ノ他ノ課稅物件ガ小麥ノ生産ニ供セラレタル割合

- (三) 第四號ノ農會費中會員割ニ依リ賦課セラレタルモノニ在リテハ小麥作粗收入ノ農業經營ニ基ク粗收入ニ對スル割合

- 一二、土地資本利子ハ類地ノ通常小作料又ハ小作料ノ評價額ニ小麥作負擔割合ヲ乗ジタルモノヨリ前項ニ依リ算定セラレタル租稅其ノ他ノ公課(第二號、第三號及第四號中ノ會員割ニ依リ賦課セラレタルモノヲ除ク)ノ金額ヲ控除シテ之ヲ算定ス
- 小麥作負擔割合ハ前項(一)號ノ割合ニ依リ之ヲ定ム
- 通常小作料ノ評價ハ當該地方ニ於ケル小作料タル穀物ノ收穫終了當時ノ農家ノ庭先相場ニ依リ之ヲ行フ
- 一三、小作料ハ實納小作料又ハ小作料ノ評價額(納入費用ヲ含ム)ヨリ獎勵金額又ハ獎勵米等ノ評價額ヲ控除シタルモノニ小麥作負擔割合ヲ乗ジテ之ヲ算定ス
- 實納小作料及獎勵米等ノ評價並ニ小麥作負擔割合ハ前項ノ方法ニ依リ之ヲ定ム
- 一四、副收入ハ收穫終了當時ノ農家ノ庭先相場ニ依リ之ヲ算定ス
- 一五、收量ハ包裝シタル小麥ノ重量ニ依リ之ヲ算定ス
- 一六、調査事項ハ別冊ニ記入スベシ
- 二、調査簿案(省略)

第七 議事日程

午前

四月十四日 農林大臣訓示

農務局長指示

報告事項一及二 付道府縣ノ報告

十五日 協議事項 四

協議事項 五

道府縣提出協議事項

十六日 休會

十七日 協議事項 六

十八日 農產課長注意事項

協議(委員會附議事項)

午後

協議事項 一

協議事項 二

協議事項 三

道府縣提出協議事項

第八 議事經過ノ大要

四月十四日(金曜日) 午前九時三十分農林省會議室ニ於テ開會

長瀬農務局長開會ヲ宣シ議長席ニ着ク

長瀬農務局長 別項ノ如キ指示ヲナス

議長(長瀬農務局長) 「報告事項」ヲ議題ニ供スル旨ヲ宣シ指名ニヨリ口頭報告ヲ求ム

高野北海道廳農林技師 北海道ノ農業事情ヨリシテ小麥ノ栽培ガ農業經營上特ニ重要ナルニ鑑ミ増殖

計畫ノ樹立ニ當リテハ大體地方別ニ増殖豫定面積ヲ決定シ之ニ從ツテ獎勵ヲナスコト、セリ秋蒔小

麥栽培面積ハ約一萬四千二百町歩ニシテ即チ前年度ニ比シ約六千四百五十町歩ノ増加ヲ見實行委員ノ

設置ハ全道四千八百餘ノ農事實行組合ニ一人ノ委員ヲ囑託スル方針ノ下ニ水田地帯ヲ除キタル地方

ニ於テ三千八百五十餘名ヲ囑託シ實地指導地ノ設置及經營ニ付テモ輪作様式ヲ考慮シ指導スル必要

アルタメ一箇所面積八反歩乃至一町歩ノ指導地ヲ二百五十箇所設ケ普及宣傳ニハ秋蒔小麥作付前ニ

栽培ニ關スル印刷物ヲ配付シ更ニ二月以降ハ活動寫真映寫會或ハ小麥増殖獎勵懇談會ニヨリ獎勵趣

旨ノ普及徹底ヲ圖リ此外小麥主産地方ニ於テハ郡農會主催ノ下ニ小麥生産品評會ヲ開催シ販賣統制

ニ關シテハ大正十四年ニ北海道農會ガ中心トナリ町村農會、農事實行組合、産業組合等ニヨリ組織

サレタル北海道小麥販賣聯合會及北海道信用購買組合聯合會ノ協力ノモトニ販賣ノ統制ニ當ラシムルコト、シ道廳、支廳、穀物検査所並ニ農會等ノ聯絡協調ニヨリラデオ、印刷物或ハ協議會等ヲ以テ之ガ統制ノ徹底ヲ期スルコト、セリ尙七年秋蒔小麥作付面積増加ノ一部ハ菜豆、大豆、小豆及燕麥ヨリ轉換サレタルモノニシテ大麥、稗麥ヨリノ轉換モ相當アルモ北海道ニ於ケル大麥、稗麥ノ作付ハ近年漸増ノ傾向ニアリ且ツ北海道ノ農業事情ヨリシテ麥類ガ輪作經營上不可缺ノ要素タル點ヲ考フレバ大麥、稗麥ノ生産ノ前途ハ決シテ憂慮スルニ當ラザル旨報告ス

關塚茨城縣農事試驗場長 普及宣傳事業ノ一トシテ行ヘル協議會、集會等ニ於ケル一般小麥栽培者ノ意向ヲ述ベタル後實行委員ニ篤農家ヲ任命スル方針トナリ居ルモ現今ノ篤農家ニハ眞ニ實行委員トシテノ適任者尠キ憾アルヲモツテ別ニ小麥増殖獎勵委員ヲ設ケ郡農會、町村、町村農會等ノ技術員ヲ之ニ任命シテ獎勵ノ徹底ヲ期シ實地指導地ハ一箇所ノ面積ヲ五反歩トシ全縣百箇所ニ設ケタルモ水田ニ毛作獎勵ノ意味ニ於テ水田裏作トシテ設置セルモノハ昨年十一月ノ暴風雨ニテ發芽ヲ害セラレソノ後ノ氣候モ濕潤ニ過ギタルタメ悲觀スベキ状態ニアルモノアリ特殊事業トシテハ小麥簡易火力乾燥室ノ設置ヲ獎勵シタルトコロ豫期以上ノ普及ヲ見補助金ノ不足ヲ來シ小型製粉機ハ購入費ニ對シ三分ノ二ノ補助ヲナシ百二十臺ノ設置ヲナシ又農家ノ餛飩ノ消費相當多キヲ以テ縣下六千ノ小麥採種組合ニ對シ一臺宛ノ製麵機ノ無償交付ヲ行ヘリ販賣統制ニ付テハ縣ハ七年度ニ於テ十萬俵取

扱ヲ目標トシテ從來ノ手數料一俵二錢ヲ五厘ニ低下シタルモ之ニ應ズルモノ僅カニ豫定ノ半數ナリキ之ハ從來縣内産小麥ノ大部分ハ商人ガ收穫前ニ一石當一圓乃至二圓ノ手付金ヲ農家ニ提給シテ之ヲ集メ製粉工場ニ販賣セシ習慣ニヨルモノニシテ産業組合、農會ニ於テ販賣統制ヲ行フニハ特ニ金融ノ點ニ考慮スル要アリ又七年度ノ作付増加面積ハ從來ノ面積ノ約三割、一萬二千四百町歩ニシテ之ガ内譯ハ大麥、稗麥ヨリ八千七百六十町歩、桑園ヨリ二千七百町歩、休閒地作付ハ六百四十町歩、開墾地作付ハ三百町歩ナリ昨年十一月ノ暴風ノ被害ハ其後恢復ヲ見タルモ最近相當廣範圍ニ亘ル萎縮病ノ發生ヲ見調査ヲ續ケツ、アリト報告ス

奥村福岡縣農林技師 福岡縣ノ初年度ニ於ケル増加面積ハ計畫面積五千二百町歩ニ對シ約八千町歩ナリ實行委員ハ篤農家九百名ニ囑託シ實地指導地ハ篤農家ニ經營ヲ委託シ採種圃ハ從來米麥共ニ農事實行組合ニ經營セシメタルモ其ノ數多キニ失シ目的ノ遂行上遺憾ノ點多キヲ以テ今回ハ市町村農會ニ經營セシムルコト、シ販賣統制ニ付テハ縣ノ増殖ニ關スル審議會ニ於テ特ニ販賣ニ關スル専門家、經驗者ヲ委員ニ委嘱シ研究セシメツ、アル旨報告ス

黒住岡山縣農林技師 全縣三百八十餘町村ニ對シ九百名ノ實行委員ヲ任命セルモ此ノ委員數ヲ以テシテハ不徹底ナルヲ以テ五千五百ノ農事實行組合ヲ中心トシテ獎勵ヲ進メツ、アリ眞ニ獎勵ノ徹底ヲ期スルニハ一部一村落一人位ノ實行委員ヲ必要トシ現在ノ如ク一町村當二、三人ニテハ中途平端ナルヲ

以テ寧ロ實行委員制ヲ廢シ其ノ經費ヲ更ニ他ノ有益ナル事業ニ振向クルヲ適當ナリト考ヘラルト述ベ實地指導地ハ將來集團地トナス豫定ナルモ現在ハ一町村一乃至二箇所ノ割ニテ五百箇所設置シ特殊事業トシテ簡易整地法ノ獎勵ヲナシツ、アリ尙石灰硫黃合劑撒布ニヨル病害防除ハ實行組合ヲシテ行ハシメタリ作付面積ノ増加ハ從來ノ二萬六千七百町歩ニ對シ三萬一千餘町歩ニシテ此ノ増加面積ノ五割ハ大麥、稗麥ヨリノ轉換、三割ハ休閒地ノ利用ニヨル旨ノ報告ヲナス

長瀬農務局長退席間部農產課長議長席ニ着ク

間部農產課長 實行委員設置人數ノ増加ガ不可能ナラバ寧ロ廢止シタ方ガ良シトノ意見ナリヤト質ス

黒住岡山縣農林技師 實行委員設置ノ必要ハ認ムルモ現在ノ員數ヲ以テシテハ不徹底ナルヲ以テ其ノ經費ヲ他ノ方面ニ向クルガ適當ナラズヤトノ意見ヲ述ブ

關塚茨城縣農事試驗場長 實行委員ノ任期ハ一年ナリヤ五年ナリヤ尙陣容ヲ新タニスルタメ適當ノ機會ニ人員ヲ更替シテ差支ヘナキヤト質ス

間部農產課長 任期ハ大體五箇年ノ考ヘナルモ實際ニ於テ支障ナク更替ガ行ハル、ナラバ別段差支ヘナシト答フ

砂口鳥取縣農林技師 鳥取縣ノ小麥栽培ハ他道府縣ニ比シ甚ダ貧弱ナルヲ以テ増殖五箇年計畫ニ於テハ栽培面積ヲ五千町歩ニ達セシムル目標ニテ特ニ栽培技術ノ指導ニ主力ヲ注グコト、セル事情ヲ述

ベタル後實行委員ハ増殖反別二十町歩ニ一人ノ割ニテ三百五十名ヲ任命シ實地指導地ハ一町歩以上ノ團地トシ二十五箇所ニ設置シ農事改良組合ヲ中心トシテ經營セシメ特殊事業トシテハ増殖實行委員會ヲ開催、銹病豫防用噴霧器購入補助ヲナセル旨報告ス

下山香川縣農林技師 香川縣ハ土地ノ利用集約的ナルヲ以テ小麥ノ増殖ニハ自然他作物ヨリ轉換スルノ要アリ殊ニ稗麥ハ非常ニ多キ故或ル程度小麥ニ轉換セシムル方針ノ下ニ約五千町歩ノ増殖ヲ計畫セル處恰カモ最近麥稈真田ノ價格下落ニヨリ農家ハ適當ナル作物ニ轉換セントスル機運ニアリタルヲ以テ第一年度ニ於テハ既ニ計畫面積ノ約七割ノ増殖ヲ見タルコトヲ述ベ採種圃ハ農事改良組合ヲ中心トシテ設置セシメタルモ縣ニテ獎勵金ヲ交付セルモノ以外ニ町村ニテ設置ヲナセシモノ約十町歩アリ實地指導地ハ一町歩以上ノ團地トシ農事改良組合ニ經營セシメ一度其ノ經營ニ當リタルモノハ引續キ三箇年間繼續シテ同一管理法ヲ行フノ義務ヲ負ハシムルコト、セリ特殊事業トシテハ日本製粉、丸金醬油等消費者側ノ出席ヲ求メテ増產實行委員會ヲ各郡ニ開催シ或ハ廣播栽培法ノ獎勵等ヲ行ヒタル旨ヲ報告シ次デ實行委員ヲシテ増殖ノ指導誘掖ニ當ラシムルハ勿論ナルモ更ニ生産費調査ヲモ實行セシメタキ意向ナリト述ベ尙實行委員ニハ篤農家ヲ以テ當ツルコトニナリ居ルモ事業ノ効果ヲ舉グル上ニハ是非トモ町村農會技術員等ヲ任命スル要アリト論ジ更ニ販賣統制ニツキテハ縣販聯ヲ中心トシ縣農會ノ職員ヲ縣販聯ノ囑託トシ月五、六回日ヲ定メテ販賣ヲナシ又共同販賣ノモ

ノニ對シテハ特ニ商票ヲ附スルコト、セリト述ブ

正午休憩

午後一時十分再會

間部農産課長議長席ニ着ク

議長(間部農産課長) 午前ニ引續キ「報告事項」ヲ議題ニ供スル旨ヲ宣シ指名ニヨリ報告ヲ求ム
西村新潟縣農林技師 新潟縣ハ六萬町歩ノ畑地中二萬町歩ノ休閑地アレドモ天惠乏シキ爲小麥ノ増殖
困難ナル事情ニアリ増殖計畫ハ昭和六年ノ二千六百町歩ニ對シ五箇年後ニ於テ五千町歩ニ増加セシ
ムルコトヲ目標トス新潟縣ハ氣候ノ關係ニ加ヘテ栽培技術モ進歩セザルタメ農家ノ平均反當收量僅
カニ七斗三升六合ニ過ギザルヲ以テ實地指導地ハ技術ノ改善上特ニ重要ナル故一町歩ノ團地ヲ原則
トシ七十三箇所ニ設置シ實行委員ハ現在小麥作ノ盛ナル町村ノ篤農家六百三十名ヲ選定任命シ各郡
毎ニ協議會ヲ開催シ特殊事業トシテハ加工講習會ノ開催、小麥補償栽培ノ實施ヲナシ又販賣統制ニ
付テハ新潟縣ハ小麥ノ生産額僅少ニシテ二萬石餘ニ過ギズ而モ大部分ハ縣内ニテ消費セラル、ヲ以
テ當分縣農會ヲシテ之ガ検査、販賣斡旋ニ當ラシムル方針ナルコトヲ報告シ更ニ作付面積ノ増加ハ
四百四十町歩餘ニシテ殆ンド休閑地ニ栽培セラレタルモノニテ將來ハ短稈、早熟、多收、良質ナル
品種ノ育成ニヨリ増殖ノ見込充分ナリト論ズ

間部農産課長退席長瀬農務局長議長席ニ着ク

木村熊本縣農林技師 實行委員ハ割當數九百五十名ナルモ此ノ員數ニテハ不充分ナル故一千二百二十
名ニ増員シ實地指導地ハ一町村五十町歩以上ヲ栽培スル町村五十箇所ニ置キ町村ヲシテ經營セシメ
別ニ縣ニ農事關係職員、穀物検査關係職員等ヨリナル實地指導地督勵委員ヲ設ケテ之ガ指導ニ當ラ
シメツ、アリ増收競技會、増殖成績競進會ハ何レモ申込多ク盛會ナルモ成績競進會ノ出品資格ヲ一
町五反歩ノ團地栽培、組合員十人以上ノ農事小組合トセルタメ實際經營ニ當リ居ル人員ト名義上ノ
人員トヲ調査スルノ要ヲ生ジ困難ヲ感ジ居レリ販賣統制ハ縣農會、縣販聯ノ双方ニ於テ行ヒ縣ハ兩
者ノ協調ニ關スル協議會ヲ開催シ其ノ結果各郡一箇所ニ農會及產業組合關係ノ者ヲ集合セシメ販賣
ノ統制、平均賣ノ方法等ニ關シ協議スルコト、ナリ居ル旨報告ス

袴田長野縣農林技師 長野縣ハ小麥栽培面積九千町歩、十萬石ノ生産アルモ消費ハ約二十九萬石ニ達
シ不足約十八萬五千石ノ大部分ハ小麥粉ニテ移入サル、狀況ニアリ加フルニ縣内ノ農業經營ハ養蠶
業ニ極端ニ偏シタル爲近年ノ養蠶業ノ不況ヲ機トシテ之ヲ他ニ轉換セントスル機運ニアリタルヲ以
テ縣ニ於テハ大體自給自足ヲ目標トシ農業經營改善ノ見地ヨリ小麥ノ重要性ヲ發揮セシムベク増殖
計畫ヲ樹立シ實行委員ハ千四十四名ヲ任命シ年二回縣下五十箇所ニ委員會ヲ開催シ指導訓練ヲナシ
實地指導地ハ地方ノ事情ヲ參酌シ大體一箇所一反歩以上、一町村一乃至二箇所設置シ其ノ經營ハ裁

培技術以外ニ經營方面ニ優秀ナル農家ヲシテ擔當セシメ特殊事業ニハ製粉機ノ設置獎勵、菌核病ノ豫防獎勵ヲ行ヒツ、アルモ製粉機ノ普及ハ自給自足ノ見地ヨリスルモ重要ナル故七年度ニ於テ三十六臺、八年度ニ於テ四十八臺ノ設置獎勵ヲ行フ豫定ナリ尙長野縣ハ食糧自給獎勵委員五百十四名ヲ設置シ小麥増殖事業ニ參與セシメツ、アル旨報告シタル後更ニ長野縣ハ小麥粉ノ消費多キ外養蠶業ノ不況以來養蠶業ガ勃興セル故其ノ飼料ヲ自給スル上ヨリスルモ小麥ノ増殖ハ極メテ必要ニシテ小麥ノ市價如何ニ拘ラズ將來増殖ノ見込アリ之ニハ二毛作反別増加ノタメ稻作ノ改良ト共ニ一層早熟ナル小麥品種ノ育成ヲ緊急事トスト説ク

議長(長瀬農務局長) 本省提出協議事項一「現行ノ小麥増殖獎勵施設中特ニ更改ノ必要アリト認ムル事項」ヲ議題ニ供スル旨ヲ宣ス

間部農産課長 提案ノ理由ヲ説明シ慎重協議ヲ進メラレタシト希望ス

水内福岡縣農事試驗場長 増産ノ結果小麥價格ノ暴落ガ豫想サル、故之ガ對策トシテノ本省ノ方針ヲ承リ度シ又價格維持ノ方法トシテ小麥自家製粉ハ有効ナリト考ヘラル、ニ付自家製粉獎勵ノ如キハ道府縣ノ特殊事業トセズ全國的ノ事業トシテ考慮サレ度シト希望ス

間部農産課長 小麥價格ノ下落ガ國際的ナル場合ニ付テハ世界ノ小麥主要生産國ニ於テハ價格崩落防止ニ對シ努力ヲ拂ヒツ、アル故我國ニ於テハ特ニ對策ノ必要ナシトスル樂觀論ヲナシ得ベシト説キ

次ニ小麥價格ノ下落ガ單ニ國內的ニ止ル場合ニ付テ觀ルニ今回ノ増産計畫ノ目標タル三百萬石ハ大體現在我國ニ於ケル不足數量デアリ計畫第一年度ノ成績ヨリスルモ生産過剩ヲ今日ヨリ云々スルハ當ヲ得タルモノナラズ尙爲替關係ヨリスルモ強チ悲觀スベキモノトハ考ヘラレズ更ニ増産ニ附隨シテノ方策トシテ販賣統制上ノ問題モアリ自家製粉ノ獎勵乃至ハ自家消費ノ方面特ニ養鶏飼料トシテノ小麥ノ活用等ヨリスルトキハ價格下落ノタメ必ズシモ農家ガ難儀スルトハ斷ジ得ズト答フ

關塚茨城縣農事試驗場長 販賣統制ニ關スル本省ヨリノ文書ハ往々ニシテ産業組合乃至農會關係方面ノミニ止ル場合多キ故將來ハカ、ル文書ハ地方長官宛ニテ取扱ハレ度シト希望ス

鳥井大阪府農林技手 實行委員ニハ販賣統制ニ付テモ活動ヲ期待セザルベカラザルニ現在ノ規則ノ成文ニテハ小麥増殖ニ關スル指導誘掖ノミニ限ラル、如ク感ゼラル、ヲ以テ特ニ販賣統制ノ一項ヲ加ヘ適當ニ改正セラレタシト述ブ

坂本和歌山縣農林技師 和歌山縣ニ於テハ從來ノ栽培面積ノ約五倍ニ増加セント計畫シ從ツテ増産後ニ於ケル價格變動對抗策トシテ醸造、製粉、製麵等自家消費ヲ獎勵スル必要アリ又栽培技術改善ノ一法トシテ廣播ノ獎勵ヲ企テツ、アルモ之ニ要スル土入器、畦立器等ノ小農具ノ購入ニ對シテ助成ノ途ヲ拓カレタシ販賣統制ハ産業組合以外ニ郡農會モ相當重要ナル役割ヲ有スルヲ以テ郡農會ノ斯種事業ニ對シテハ指導費、旅費等ニ若干助成セラレタシ又普及宣傳ハ初年度ニ比シ縮小スルモ差支

ヘナキ故其經費ヲ以テ前述ノ事業ヲ施行シ得ルヤウ承認セラレタシト希望ス
長瀬農務局長退席間部農産課長議長席ニ着ク

筒井千葉縣農林技師 現ニ千葉縣ニ於テハ立枯病二千五百町歩、輪紋病五百町歩發生セルタメ其ノ防除ニ腐心シツ、アリ病蟲害防除獎勵ノ如キハ特殊事業トシテ取扱ハレ居ルモ各道府縣普遍的ニ重要ナルヲ以テ一般的事業トセラレタシト希望シ次ニ販賣統制ニ對スル獎勵金ハ産業組合、農會ニ直接交付サレ居ルモ縣ヲ通ジテ交付スル方ガ兩團體ノ協調上ニモ好結果ヲ齎ラスモノト認メラルト述ブ
間部農産課長 交付金ノ増加ヲ望マル、モ現在ノ豫算ノ範圍以上ニハ不可能ナリ又販賣統制獎勵金ハ道府縣ヲ經由スルコトニ改ムルモ特ニ効果アリトハ認メズ但シ意見トシテ承リ置クベシト答フ
黒住岡山縣農林技師 現在ノ事業ハ餘リニ劃一的ナル憾アリ然レバ大體現在位ノ金額ノ範圍ニテ道府縣トシテ最モ有効ナル使途ヲ選擇セシメ本省トシテハ其ノ適不適ヲ調査ノ上認可ヲ與フルヤウセラレテハ如何ト質ス

間部農産課長 本省ニ於テハ從來ノ各種獎勵施設ガ劃一的ニ過ギタルニ鑑ミ本施設ニ於テハ大體各道府縣ニテ最小限度ニ必要ナルモノヲ一般の項目トシ各地方ノ事情ニヨリ特ニ適切ナルモノヲ特殊事業トシテ施行シ得ル途ヲ拓キタル次第ナリ過去一年間ノ經驗上更改スルヲ便宜トスル點アラント考ヘ本案ヲ提出セルモノナルモ岡山縣ノ希望ノ如ク豫算ノ範圍内ニ於ケル事業ノ選擇ヲ地方ニ委ス事

ハ不可能ナル旨答フ

織田愛知縣農林技師 愛知縣ニ於テハ小麥増殖ヲ中心トスル農業經營改善指導ノタメ本年度五十ノ農事改良實行組合ヲ小麥栽培指定組合ニ指定セルモ本事業ハ今後組合數ヲ増加シテ繼續シタキ意向ナルヲ以テ特殊事業ニ對スル獎勵金交付ノ限度ヲ擴張シ助成ノ途ヲ講ゼラレタシ尙本年愛知縣下ニ發生セル萎縮病ハ從來ノ條斑性萎縮病菌ニヨラザルモノ、如キモ此點ニ關シ小麥育種地方試驗地、地方農事試驗場ニ對シテモ經費ヲ交付シテ研究ヲ進ムルヤウサレタシトノ希望ヲ述ブ

間部農産課長 病害蟲ノ問題ハ或ル意味ニ於テ小麥増殖事業遂行上ノ暗翳トモ考ヘラル、程ニテ之ガ防除ニハ一段ノ努力ヲ拂フ方針ナル旨答フ

江戸石川縣農林技師 採種圃助成金ヲ増額サレタシ又經費増額不可能ノ場合ハ規則ヲ改正シ「承認ヲ經タル場合ハ流用ヲナスコトヲ得」ナル一項ヲ挿入シ各事業間ノ經費流用ノ途ヲ拓カレタシト述ブ
宮崎奈良縣農林技師 奈良縣ニテハ縣販聯ト縣農會ヲ縣ガ統制シ以テ小麥ノ販賣ニ當ル計畫ナレバ其ノ徹底ヲ期スルタメニ要スル經費ニ普及宣傳費ノ一部ヲ割當テ得ルヤウ認メラレタシ又奈良縣ハ組合組織幼稚ナル故農會技術員ニ販賣統制委員ヲ委任シ産業組合ト提携シテ積極的ニ活動セシムルコト極メテ必要ナルモ委員手當等ニ要スル經費支出ニ困難ヲ感ジ居ルモ實行委員ノ如キハ年ト共ニ其ノ必要ノ程度ヲ減少スルヲ以テ其ノ經費ヲ販賣委員ノ方ニ向ケラレタシト述ベ更ニ販賣統制ノタメ

ノ縣農會ノ專任職員ノ設置ヲ助成サレタシト希望ス

竹内青森縣農林技師 青森縣ニテハ採種ヲ安全ニスル爲薄播ヲ必要トス然ルニ薄播ヲナス時ハ自然收量モ減ジ管理モ厄介ナルヲ以テ採種圃ノ手當ハ實地指導地ト同様五圓ニ増額スル必要アルモ縣ニハ經費支出ノ途ナキ故此點考慮サレタシト述ブ

館谷富山縣農林技師 富山縣立農事試驗場ニ於テ從來雪腐或ハ菌核病ト考ヘラレタル病害ニ對シ研究ノ結果新病原菌ヲ發見シ近ク發表ノ豫定ナリ斯カル特殊ノ病害ハ東北、山陰等ニハ相當廣範圍ニ存在スルコト、豫想シ得ルヲ以テ將來大イニ考慮サレタシト述ベ次デ富山縣ニ於テハ増殖計畫ニ當リ從來ヨリノ研究ノ結果水田裏作ノ擴張ヲ計畫セルモ之ハ將來可成リ見込アルモノト考ヘラレ而モ此ノ小麥ノ水田裏作ノ獎勵ハ北陸地方ニ於ケル小麥増殖上重要ナルヲ以テ本省ノ指定事業トサレタシト希望ス

田口福井縣農事試驗場長 福井縣ニ於ケル小麥獎勵品種決定試驗用種子ハ地理的關係上中國小麥試驗地管下ヨリ配付ヲ受クルコトニナリ居ルモ本年ノ試驗結果ヨリスレバ東北小麥試驗地ノモノモ必要ナラズヤト考ヘラル、故東北小麥試驗地管下ヨリノ配付ヲ受ケタシト希望ス

間部農產課長 出來得ルダケ希望ニ副ヒタシト答フ

何木埼玉縣農林技師 埼玉縣ニハ日東、武藏兩製粉會社ノ工場アリ從來ハ當業者ト直接取引スルモノ

多キ關係上農會、產業組合方面ノ販賣事業ハ發達シ居ラザル故此ノ際產業組合ノ販賣事業ニ對スル獎勵金ヲ増額スルハ勿論農會方面ニ對シテモ郡農會全部ニ助成セラレタシ又病害防除ニ關シテハ規則第二條ノ一事項トシテ之ヲ加ヘ獎勵金交付ノ途ヲ拓カレタシト希望ス

木村熊本縣農林技師 阿蘇地方ニハ一千五百町歩ノ増殖見込地アルモ平坦地ニ比シ十度位寒冷ナルヲ以テ之ニ適スル品種ノ適否試驗ヲ行フ必要アル故之ガ所要經費ニツキ考慮セラレタシ又小麥製粉試驗ハ格付上ニ便宜ヲ與ヘ取引上必要ナルノミナラズ農家ニ優良品種ヲ普及スル上ニ有効ナル故小麥育種地方試驗地ニ於テ關係府縣ノ希望ニヨリ製粉試驗ヲ行ハシメラレタシトノ希望ヲ述ブ

間部農產課長 小麥格付ニ關スル調査ハ農事試驗場ニ、貯藏ニ關スル研究ハ大原農業研究所ニ、銹病ニ關スル研究ハ東京帝國大學ニ夫々委託シ試驗研究ヲ進メツ、アル旨説明ス

西村新潟縣農林技師 小麥增收競技會ニ對スル獎勵金中賞金及審査費ノ區別ヲ撤廢サレタシト述ベタル後新潟縣ニ於ケル一般農家ノ小麥平均反當收量七斗三升ヨリシテ農林大臣賞ニ對スル七百斤ノ制限ハ折角ノ趣旨ニ副ハザル故單ニ「當該道府縣ノ最優等」ト改メラレタシ又特殊事業トシテ加工獎勵ヲ行フ外病害防除獎勵モ亦行フ必要アルヲ以テ特殊事業費ヲ増額サレタシト希望ス

小林富山縣農事試驗場長 富山縣ニ於テモ昨年ノ會議當時ハ七百斤ノ收穫可能ナリト信ジタリシモ本年ノ積雪等ノ經驗ニヨリ農林大臣賞ノ制限ヲ適當考慮セラレタシト希望ス

午後四時四十分散會

四月十五日(土曜日)午前九時十分開會

間部農産課長議長席ニ着ク

議長(間部農産課長) 農林省提出協議事項四「小麥販賣統制ニ關スル件」ヲ議題ニ供スル旨ヲ宣ス
森農林技師 提案ノ趣旨ヲ説明ス

山口東京府農林技師 東京府ハ約十五萬俵位ノ販賣小麥アルモ府ニハ販賣組合聯合會ノ組織ナク全販
聯ニモ加入シ居ラズ又販賣組合モ十二組合ニ過ギズカル場合今回ノ融資ヲ受ケ得ルヤト質問ス

田中産業組合課長 大藏省ト交渉中ニテ未決定ナルモ貯藏持越サル、小麥ヲ融資ノ對象トシテ産業組
合中央金庫ヲ通ジ産業組合ニ融通セラル、モノニシテ以上ニ該當セザルモノニハ融資困難ナリト考
ヘラル但シ融資ノ目的ハ貯藏持越ニヨリ市價ヲ維持スルコトニアル故或ハ事情止ムヲ得ザル向ニ對
シ例外ヲ認ムルヤモ知レズト答フ

山口東京府農林技師 東京府ノ如ク農業倉庫ノ普及少キ場合ハ生産團體ノ關係者ニ於テ適當ナル倉庫
ヲ指定シ其ノ庫荷證券ヲ擔保トシテ府信用組合聯合會或ハ農工銀行ヲ通ジ低資融通ノ途ナキヤト質
ス

田中産業組合課長 組合ガ貯藏スルニ非ザレバ困難ナラント答フ

笹川山梨縣農林技師 山梨縣ニ於テハ中間商人ニ對抗スルタメ共同販賣ノ申込アリタル場合農會ヲ通

ジテ一俵五十錢ノ手付金ヲ交付シ更ニ縣下九箇所ノ集荷倉庫ニ現物持込ノ際ニ市價ノ七掛ヲ前渡金
トシテ交付シ平均賣ヲ行フ豫定ナルヲ以テ農會ノ集荷、保管ニ要スル經費ノ一部竝ニ産業組合ノ前
渡金ニ對スル金利、貯藏ニ要スル倉敷料、燻蒸藥劑費等ニ對シテ補助セラレタシト希望ス

間部農産課長 燻蒸ニ要スル經費ノ一部ハ本省ノ手持經費中ヨリ若干交付スル豫定ナルモ地方ニ於テ
モ特殊事業費ノ一部ヲ割キテ之ニ當テラレタシト述ブ

家村愛媛縣農林技師 現在ノ農業倉庫ハ殆ンド米以外ニ收容ノ餘地ナキ故麥専用ノ農業倉庫ヲ建設シ
タキモ之ニ對シ經費ヲ助成サレザルヤト質ス

間部農産課長退席長瀬農務局長議長席ニ着ク

長瀬農務局長 米麥等ヲ總括シタル倉庫ノ擴張ナラバ兎モ角麥類専用倉庫建設ノ名目ニテハ現在ノト
コロ助成スルコト困難ナラント答フ

家村愛媛縣農林技師 小麥ノ長期貯藏ニ關シ本省農事試驗場ニ於テ試驗セルモノアリヤト質問ス

寺尾農事試驗場技師 小麥ニ付テハ試驗ヲ行ヒタルコトナシト答フ

關塚茨城縣農事試驗場長 販賣組織ノ完備ト、モニ必要ナルハ金融問題ニシテ過去ニ於ケル農會方面
ノ販賣斡旋事業不振ノ原因モコ、ニアルト信ゼラル、故十分考慮サレタシト述べ農家ニ對シ僅少ニ

テモ出荷獎勵金ヲ交付スルコトハ集荷上極メテ有効ナルヲ以テ農會方面ニ對シ適當ニ助成ノ途ヲ拓カレタシト希望シ併セテ「協議事項」一ニ付テハ本年度ヨリ一部分變更スルモ差支ナキヤト質ス

田中産業組合課長 今回ノ低利資金ハ貯藏小麥ヲ對象トスルモノ故直ニ販賣スル小麥ニ付テハ貸付ケザルモノト解釋セラル但シ組合ニ於テ中央金庫等ヨリ融通ヲ受ケタル自己資金ヲ以テ前渡金ニ充ツルハ別問題ナリト説明ス

間部農産課長 經費ニ關スル問題ハ本年ハ既ニ年度ノ中途ナルノミナラズ規則ノ改正等モ簡單ナラザルヲ以テ本年度ハ實現不可能ト思フト答フ

關塚茨城縣農事試驗場長 從來茨城縣ノ農家ハ青田ノ間ニ既ニ商人ト賣却契約ヲナス程ニテ商人ハ其際若干ノ手付金ヲ拂フコト、ナリ居ル故ニ今次ノ販賣統制ニ當リテモ産業組合或ハ農會ニ於テ一圓乃至二圓ノ前渡ヲナスニ非ザレバ所期ノ効果ヲ收メ難シト考ヘラル、故此ノ點重ネテ考慮サレタシト望ミ融資小麥ノ貯藏期間ハ何程ナリヤト質ス

田中産業組合課長 茨城縣ノ産業組合ノ狀況ヨリスレバ相當融資ヲ受ケ得ルモノト考ヘラル又組合員外ト雖モ必ズシモ融資ノ見込ナキニ非ズ尙産業組合ノ擴張ニ付テハ特ニカヲ注ギツ、アルヲ以テ各位ニ於テモ此ノ機會ニ組合ニ加入シテ利益ヲ受ケ得ラル、ヤウ農家ニ獎勵サレタシト述ベタル後貯藏ノ期間ハ三箇月以上ノ豫定ナリト答フ

小濱農政課長 元來農會ガ小麥ノ販賣斡旋ヲ行フハ産業組合發達ノ現狀ヨリ見テ止ムヲ得ザルモノニシテ農會トシテハ其ノ性質上斡旋ノ程度ヲ超ユルコトヲ得ズ從ツテ之ニ對シ金融ノ途ヲ講ジ統制ヲ行ハシムルコトハ考慮ヲ要スト述ブ

關塚茨城縣農事試驗場長 貯藏期間三箇月ハ短キニ非ズ麥類ハ價格ノ變動著シキ故生産者全體ガ徹底的ニ貯藏シ平均賣ヲ勵行スル場合ハ兎モ角然ラザレバ貯藏持越ガ必ズシモ有利トハ云ヒ得ザル場合アリト論ズ

長瀬農務局長 貯藏持越ニ付テハ勿論疑問ナキニ非ズ現行米穀貯藏融資ニハ貯藏持越ノ結果金利、倉敷料等ヲ差引キ不利トナリタル場合ハ融資中ヨリ補償スル意味ヲ含ミ居レリ小麥ニ付テモ同様ノ方法ヲ考ヘ得ザルニ非ザルモ小麥ハ今回ガ手始メナルヲ以テ先ヅ低利資金ニヨリ一時ヲ凌ギ漸次經驗ヲ積ミ方策ヲ講ズルノ外ナシ又出來秋ニ小麥ヲ賣急グモノハ通常低資ヲ借り得ザルモノナルヲ以テ融資ノ効力ハ之等ノ生産者ニ均霑セズトノ疑問アルモ原則トシテ價格ノ暴落スル七、八月ノ出廻リヲ抑制スル上ニハ爲ササルニ勝ルモノナリ尙此ノ點ハ未決定ニテ公表ヲ憚ルモ農林省トシテモ十人連帶位ニ對シ低資融通ノ途ヲ拓キ得ルヤウ大藏省ト交渉中ナリ又産業組合ト農會トノ關係ニ付テハ農會トシテハ大局ニ着眼シテ農民ヲ指導シ産業組合ノ發展ヲ圖ルベキナリ而シテ如何ナル方法ヲ採ルモ結局ハ農民ノ自覺ヲ促シ共同精神ノ發露ニ俟ツテ拔賣等ヲナスモノナキヤウ精神の訓練ヲナ

スニ非ザレバ究極ノ目的ハ達シ得ザルモノナレバ此點各位ニ於テモ單ニ物質的方面ノミニ限ラズ精神の方面ニ於テモ農家ノ自奮自勵ヲ促スヤウ農會、産業組合方面ト協力指導セラレ度シト述ブ

問部農産課長 出廻期ニ於テ貯藏ヲナスガ有利ナリヤ否ヤハ過去ニ於ケル小麥價格變動ノ實績ヲ基礎トシテ判斷スル以外ニ方法ナシ抑々内地小麥價格ノ高低ハ價格ノ實數ヲ以テ決スベキニ非ズシテ外國小麥ノ輸入價格（内地輸入港ニ於ケル沖着相場ニ關稅及輸入諸掛ヲ加ヘ更ニ内地小麥トノ格差ヲ加味シタルモノ）ト比較シテ其差ノ大小ニ依ツテ決スベキモノニシテ此ノ方法ニ依ル最近五箇年間ノ内地小麥價格ノ月別變動ヲ見ルニ四月頃ヨリ下落シ出廻期ニ入りタル七月ニ於テ最モ低ク十一月迄低位ヲ續ケ十二月以降ニ於テ漸次恢復シテ二、三月ニ最高位トナル傾向アリ之ニ依レバ生産後五箇月位ノ貯藏ヲナスコトハ小麥價格維持上有効ナリト謂ハザルベカラズ今回ノ低資融通ニヨル貯藏期間三箇月ハ短キニ失スル如ク考ヘラル、モ之ハ最短期間ヲ定メタルノミナリト詳細ニ説明ス

後藤農林大臣臨席別項ノ訓示ヲナス
關塚茨城縣農事試驗場長 出廻期ニ賣ルヲ不利トセバ出來秋ヨリ販賣時迄ノ金利ヲ計算シテハ如何又販賣統制ヲ行フ場合ニ於テ大製粉會社ガ原料ヲ外國ヨリ仕入レタル場合ニハ如何ニナスヤ尙製粉會社、醸造會社ニハ一定ノ小麥買付時期アリヤト質ス

問部農産課長 關稅引上見越、爲替思惑等ニテ一時ニ必要以上ノ大量買付ヲ行フ場合或ハ資金、倉庫、

製粉ノ賣行等ノ關係ニヨリ多少例外ハアルモ大體ニ於テ大製粉會社ハ平均的ニ買付ヲ行フモノ、如ク醸造會社モ仕込時期アレドモ矢張り平均的ニ買入ル、モノ、如シ尙本年生産者側ノ販賣統制ノ進行如何ニ依リテハ會社側ガ案外高値ニ買フ結果持越ヲナシタルモノガ却ツテ不利トナル如キコトモ豫想サレザルニ非ザルモ農家トシテハ豫期ノ如キ結果ヲ見ザリシノミニテ結局持越ヲ行ハザル場合ニ比シ利益セルワケナリト答フ

下山香川縣農林技師 産業組合ニ於テ販賣スルモノニ對シテハ資金ノ融通ヲナシウルモ農會ニ對シテハ不可能ナリトセバ農事實行組合ガ農會ヲ通ジテ販賣スル場合農事實行組合ハ産業組合ヨリ低資ノ融通ヲ受ケ得ルヤ又農事實行組合ニモ産業組合員ノ相當多キ場合ニハ産業組合ヨリ手付金トシテ相當ノ金額ヲ渡シ得ルヤト質ス

田中産業組合課長 産業組合ニ加入シナイ農事實行組合ニハ絶對ニ不可能ナリト答フ
森京都府農林技師 融資ヲ受ケテ貯藏、平均賣ヲ行ヒ幸ニシテ高クナリタル場合ハ問題ナキモ然ラザル場合資力ナキ小農階級ニ對シテ金利、倉敷料等ヲ差引ク事ハ困難ナリト思ハル、モ此ノ損失補給ノ途ナキヤト質シ此ノ點ヲ考慮スルニ非ザレバ小農階級ニ貯藏ヲ奨ムルコトハ困難ト思ハル、ト述ブ

問部農産課長 平均賣ガ總テノ場合成功スルモノトハ云ヒ得ザルモ大體ニ於テ成功率ノ方大ナルヲ以

テ長期間ニ亘リテ考察スレバ貯藏持越ヲ行フ方ガ當然有利ナリト言ヒ得ベシ尙貯藏持越ニ付テハ利益ヲ得タルトキ其ノ一部ヲ以テ損失ノ場合ヲ補填スル如キ考ヘ方モ必要ナリト答フ

長瀬農務局長 小麥ハ米ノ場合ト異リ出廻期ノ市場殺到ヲ一時的ニ緩和スルコトニ依リ大體價格維持ノ目的ヲ達シ得ベシト考ヘ先ヅ本年最初ノ計畫トシテ一定期間ノ貯藏ニ必要ナル資金ノ融通ニ止メタル次第ニテ此際極力其ノ効果ヲ收ムルヤウ努力セラレタシト述ブ

月原滋賀縣農林技師 從來買取販賣ハ認めラレザリシモ今回ノ如キ場合ニハ低利資金ノ範圍内位ニテ買取販賣ヲ認めラル、方寧ロ適當ナラズヤト質ス

田中産業組合課長 組合ノ經營ニ影響ナキ極小範圍ノ買取販賣ハ默認セル如キトコロアレドモ原則トシテ認めズ組合ノ事情ニヨリ自己資金ヲ以テ或程度ノ買取販賣ヲ行フハ格別ナルモ低利資金ニテハ不可ナリト答フ

竹内青森縣農林技師 本年度青森縣ノ産業組合系統ノ取扱フ數量ハ一少部分ニ過ギズ從ツテ融資ノ恩典ニ浴スル途ナキヲ以テ現在ノ米穀資金ノ延期等適當ナル方法ヲ講ゼラレタシト希望ス

長瀬農務局長 青森縣ハ特殊ノ事情モアラン故全販聯ノ打合會其ノ他ノ機會ニ於テ相談セラレタシト答フ

議長(長瀬農務局長) 道府縣提出協議事項一「簡易製粉機ノ考案及利用獎勵ニ關スル件」同二「農林

省統計ノ調査方法更改ノ件」ヲ議題ニ供ス

高野北海道廳農林技師 價格低廉ナル簡易製粉機ノ考案ヲ助成セラレタシト希望シ現在優良ト認めラル、モノハ價格高キニ失スル故何等カ統制ノ途ナキヤ又他府縣ニ於ケル簡易製粉機普及獎勵方法承リタシト述べ次デ提出協議事項二ニ關シ北海道特殊ノ事情トシテ春時小麥ノ統計調査必要ナルニ拘ラズ現在ノ農林統計調査ニハ春時、秋時ノ區別撤廢サレ居リ道廳ニテハ春時小麥ニツキ別途ニ調査ヲナシ居ルモ農林省統計課ヨリ道廳ニ對シ右調査方通達セラレタシト述ブ

長瀬農務局長 簡易製粉機ニ關シテハ現在大日本農會ヲシテ懸賞募集ヲ行ハシメ利用ヲ奨メ居ルモ今回ノ増殖獎勵ニ伴ヒ一層重要性ヲ加ヘタルヲ以テ本省ニ於テモ出來ルダケ考慮スベシ尙斯ノ如キ機械ハ一旦考案サレタルモノガ實際農家ノ使用ニヨリ漸次改良サル、傾アリ或ハ地方ニ於テハ能率高ク價格モ廉キモノ考案サレ居ルヤモ知レズ實驗アラバ報告セラレタシト求ム

間部農産課長 農村ニ於ケル小型發動機ノ普及狀況、農家ノ共同利用上ノ便益等ヨリシテ一馬力乃至五馬力程度ノモノガ適當ナラズヤト考ヘラル價格ハ現在製作臺數少キ關係上高價ナルヲ免カレザルモ機械ノ普及ニ從ヒ漸次低下スベク別段價格ヲ引下グル如キ方法ナシト答フ

高野北海道廳農林技師 北海道ノ一農家ニテ在來ノ石臼ニ風車ヲ取付ケタルモノヲ發明セリ之ハ總經費三十圓位ニシテ簡便ナルヲ以テ北海道農事試驗場ニ於テ後援ノ豫定ナリト述ブ

長瀬農務局長 統計ノ件ニ關シテハ統計課長ヨリ説明スベキ筋ニテ即答シ難シト答フ

高野北海道廳農林技師 他府縣ニモ同様ノ事情アランモ勸業統計ニ對シテ信ヲ置キ難キモノアリ將來増殖計畫上統計ヲ嚴正ナラシムルコトハ特ニ必要ナリト説ク

間部農産課長 春蒔、秋蒔ニ區分シテ調査スルコトニ付テハ本省統計課ニ傳フベシ統計ノ正確ヲ期スルコトニ付テハ從來モ注意シタルコトアリ今後トモ地方統計係ノ注意ヲ促スヤウ本省統計課ニ對シ適當ニ取計フベシト答フ

正午休憩

午後一時十分再會

間部農産課長議長席ニ着ク

小平經濟更生部長ヨリ約四十分ニ亘リ經濟更生施設ニ關スル講演アリ

議長(間部農産課長) 農林省提出協議事項二、三ハ時間ノ都合ニテ委員會ヲ設ケ審議シ同協議事項六

ハ本省ニテ作成セル參考案ニツキ決定ヲ求ムルコトニ致シタシ又同協議事項五ハ十七日午前ニ附議スベシト述ベ道府縣提出協議事項三「小麥採種圃生産種子ノ普及徹底ヲ圖ル良法如何」ヲ議題ニ供ス竹内青森縣農林技師 小麥採種圃生産種子ノ普及徹底上適當ナル方法アラバ承リ度シト述ブ

奥山神奈川縣農林技師 神奈川縣ニ於テハ今回ノ増殖獎勵ヲ機トシテ町村農會ヲシテ新タニ採種圃ヲ

設置セシメ其ノ經營ハ一般ニ信望アル農家ニ擔當セシメ農會ハ採種圃ノ採種前ニ豫メ各農家ヨリ希望數量ヲ申込マシメ交換スベキ小麥ハ申込ト同時ニ納付セシメ尙其他ニ手数料トシテ二割ヲ徴收スルコト、シ而シテ之等ノ小麥ハ相當設備アル倉庫ニ完全ニ保管ス此ノ方法ニ於テハ農家ヲシテ採種圃ハ各自ノモノナリトノ信念ヲ與フルコト及ビ擔當者ニ適任者ヲ得ルコトガ特ニ大切ナリト神奈川縣ニ於ケル組織ニ就キ説明ス

議長(間部農産課長) 道府縣提出協議事項四「道府縣ニ於ケル小麥増殖實行委員ノ活動狀況及實行委員ニ對スル道府縣ノ指導督勵方法ヲ承リ度シ」ヲ議題ニ供ス

阿部宮城縣農林技師 昨日來各道府縣ノ報告ニヨリ承知セルモ尙其他ニアラバ承リ度シト述ブ

高野北海道廳農林技師 北海道ハ町村ノ區域廣キヲ以テ實行委員ハ農事實行組合ニ一人宛設置スルヲ要スルタメ本省ノ割當ハ八百餘名ナルモ三千八百餘名ヲ任命セリ而シテ實行委員ハ農事實行組合ト町村農會トノ間ニ立チテ活動スルヲ要スル關係上青年篤農家ヲ選ビタリ又北海道ノ農事實行組合ニハ各部門別ニ係ヲ設ケアルヲ以テ小麥増殖實行委員ハ組合内ニ於ケル小麥係トシテ活動ス從ツテ他ノ係ニハ手當ナク獨リ小麥係ノミニ手當アルハ面白カラザル故現金ニテ交付セズ記念品ヲ贈與セリト説明ス

織田愛知縣農林技師 實行委員ノ選定方針ハ一般農家指導ノ能力竝ニ指導ノ經驗ノ點ニ重キヲ置キ町

村長ノ推薦ニ依リ其町村出身ノ穀物検査員、實行組合ノ幹部等ニ囑託セリ實行委員ノ指導ニ關シテハ小麥増殖改良委員二十八名ニテ指導ニ當リ「實行委員心得」ヲ實行委員ニ配付シ「實行委員指導心得」ニ依リ指導シ居レリ實行委員ハ各分擔區域ヲ定メ「實行計畫樹立様式」ニ準據シテ實行計畫ヲ樹テ各町村ニ於ケル増殖計畫ノ樹立ニ參與シ統計調査員ト連絡シ實際ノ數字ヲ正確ニ調査シ又實行委員ノ一年中ニ實行セル指導結果ヲ項目別ニ七月末日迄ニ報告スルコト、シ更ニ實行委員ニハ「實行委員手簿」ヲ携帶セシメ實行委員日誌ヲ記入シ「指導日誌」ヲ作り指導員ノ指導セル日時ヲ記入セシメ居レリト愛知縣ノ状態ヲ説明ス

議長（間部農産課長）道府縣提出協議事項五「小麥新品種普及増殖ノ件」同六「小麥萎縮病防除法研究ニ關スル件」同七「小麥加工利用ノ研究施設ニ關スル件」同八「小麥生産品ノ品質向上ニ關スル件」ヲ議題ニ供ス

關塚茨城縣農事試験場長 有望ナル品種ニ付テハ他府縣ノ希望ニ應ジテ配付シ得ルヤウ餘分ニ栽培サレタシ萎縮病ハ連作ヲナセル場合ニ多キ傾向アリ茨城縣ノ如キハ増殖上相當障害ヲ豫想サル、ヲ以テ速カニ防除ノ方法ヲ研究サレタシ之ニ關シ最近土壤ノ蒸氣消毒法ガ有效ナルヤニ傳ヘラル、モ實驗成績アリヤ若シ有效ナリトスレバ消毒器ノ購入費助成ニツキ考慮サレタシト述べ次デ小麥ノ自家消費ノ必要ニ付テハ昨日來説カレタル所ナルモ小學兒童ノ辨當用バンノ共同製造ノ如キハ種々ノ意

味ニ於テ必要ナリト考ヘラル、故其ノ研究、設備等ニ要スル經費ハ特殊事業トシテ認メララル、ヤト質シ小麥乾燥室ノ建設ハ特殊事業トシテ一層經費ヲ増額サレタシ尙簡單ナル品質鑑定裝置アラバソノ設備ニモ助成サレタシト述べ

間部農産課長 小學兒童ノ辨當用バンノ共同製造モ面白キ計畫ナルモ餘リニ積極的ニ消費ヲ奨メルトキハ米穀ノ消費關係等ニモ影響アル故考慮ヲ要ス又萎縮病ニ付テハ本省ノ調査ヲ報告スルモ道府縣ニ於テ氣付カレタル點ヲ承リタシト答フ

田杉農事試験場技師 本邦ノ萎縮病ハ「グリーンモザイク」ト「イエローモザイク」ノ二種アルモノ、如ク茨城、山形、埼玉縣地方ノモノハ前者ニ屬シ岡山縣及ビ九州方面ノモノハ後者ニ屬スルモノト見ラル此ノ他ニ「イエローモザイク」ニ類似ノ病徴ヲ現ハスモノアリ岡山縣ニ於テハ前二者トノ混同ヲ避クル爲條斑性立枯ト稱スルヲ適當ナリトノ意見アリ而シテ現在各府縣ニ見ラル、病害モ之等ノ外ニ「フザリユーム」菌ニヨル病害、「ピシユーム」菌ニヨル病害、菌核病、立枯病等種々混ジテ形成サレテキルモノ、如ク考ヘラル、ヲ以テ之等病害ノ種類、病原菌、分布及防除法ニ關シ大イニ研究調査ノ必要ヲ認メ居ルモノナリト説明ス

關塚茨城縣農事試験場長 静岡縣ニテ蒸氣消毒ヲ行ヒ好結果ヲ收メタル如ク聞キ居ルモノノ詳細如何ト質ス

田杉農事試驗場技師 外國ノ報告書等ニ依レバ「フォルマリン」ガ有效ナル如クナルモ我國ノ試驗ニテハ蒸氣消毒、「クロールピクリン」ハ效果ナキモ石灰窒素ヲ多ク施用セバ有效ナリト聞クト答フ
 前田岡山縣農事試驗場長 岡山縣立農事試驗場ニ於ケル小麥萎縮性病害ニ關スル研究ニツキ説明ス
 安孫子北海道農事試驗場長 北海道ニ於ケル萎縮病發生竝ニ試驗結果ニ付説明ス
 川瀬樺太中央試驗場技師 北海道農事試驗場北見支場在勤當時日光ト病害トノ關係ヲ試驗スル爲寒冷紗ノ被覆ヲ設ケ日光ノ直射ヲ防ギタルニ全然發病ヲ見ザリキ此ノ關係ハ尙進ンデ研究ノ價值アリト考ヘラルト報告ス

寺尾農事試驗場技師 本病ハ單ニ其ノ病害ノ防除ノミニ限ラズ品種改良上ノ問題トシテ考ヘラル即チ其ノ一ハ本病ハ稻熱病等ニ比シ品種間ニ著シク罹病性ニ差異アルコトニシテ同ジ發病條件ノ下ニ於テモ品種間ニ明瞭ナル差異ヲ認メラル其ノ二ハ育種上ニ於ケル耐病性ト實用性トノ關係ニシテ今年九州小麥試驗地ニ於テ栽培シタル八百有餘ノ品種中大多數ハ發病ヲ見タルモ例ヘバ小麥農林四號、同六號、鴻巢二六號、長崎小麥一號等品質、收量ニ於テ優良ナリト認メラル、品種ニシテ發病セザルモノ相當多シ其ノ三ハ耐病性ニ關スル鑑定方法ノ容易ナルコトナリ九州小麥試驗地ガ氣候、土壤等本病發生ニ對シ九州地方一圓ト同一條件ニアリ今後ノ本病防除ニ關スル研究ニ便ナル旨ヲ述ブ
 議長(間部農產課長) 道府縣提出協議事項九「小麥ノ價格維持ニ關スル件」ヲ議題ニ供ス

筒井千葉縣農林技師 本省提出協議事項ニテ論議サレタルヲ以テ説明ヲ省略スル旨ヲ述ブ

議長(間部農產課長) 道府縣提出協議事項十「小麥ノ病蟲竝ニ化學ニ關スル調査研究費ニ對シ獎勵金交付ニ關スル件」ヲ議題ニ供スル旨ヲ宣ス

寬島根縣農林技師 島根縣ノ小麥栽培ハ貧弱ニシテ病害蟲問題ノ解決ハ増殖上最モ必要ナリ又小麥ノ跡作タル水稻ノ栽培法、肥料等ニ付研究ヲ要スルヲ以テ經費ヲ考慮サレタシト述ブ

議長(間部農產課長) 道府縣提出協議事項十一「小麥増殖面積計畫ニ關スル件」ヲ議題ニ供ス

吉田山口縣農林技師 計畫當初ノ増殖面積ハ二十二萬町歩ナルニ道府縣ノ豫定面積ハ三十三萬町歩ニ上ルトノコトナリ今後ノ獎勵上如何ナル態度ヲ採ルベキヤト質ス

間部農產課長 農林省ハ第一期トシテ大體三百萬石乃至三百五十萬石ノ増產ヲ目安トナシ居ルヲ以テ其ノ程度ニ留ルヤウ道府縣ニ按分的ニ面積ノ範圍ヲ決定シ獎勵ヲ願ヒタキ意向ナリト答フ

高野北海道廳農林技師 販賣統制ニハ自然生産統制ヲモ含ムコト、考ヘラル、モ其ノ統制ハ各道府縣ヲ單位トセザルベカラズ其ノ場合全國的ニ見レバ優良品質ノモノヲ生産スル適地ニ於テ多ク生産セシムルガ得策ナルモ一面何レノ道府縣ニ於テモ農業經營改善上小麥作ヲ必要トスル事情アリ如何ナル方法ニヨリ各道府縣ニ割當セラル、ヤ尙植民地ニ於ケル小麥増殖計畫ニ付承リタシト述ブ

間部農產課長 昨年道府縣ヨリ提出サレタル増殖見込面積ニ對シテハ何等本省トシテハ制限ヲ附シ居

ラザル故ニ大體以上ノ見込面積ヲ基準トシテ按分的ニ縮小シタシ尙適地、不適地ト云フコトハ今後優良品種ノ育成等ニヨリ差別ハ少クナルヤモ知レズ一概ニ決定スルコト不可能ナリ植民地ノ増殖計畫ハ朝鮮總督府ヨリノ回答ニヨレバ五箇年間ニ三萬五千町歩、三十萬石程度ノモノニシテ同地ノ需要状態ヨリスレバ内地小麥ニ影響ナク又樺太ハ大體五千町歩位擴張ノ豫定トノコトナリト答へ更ニ滿洲小麥ニ付テハ將來我國ノ小麥ヲ脅威セズヤトノ懸念アリト聞クモ差當リノ所ハ勿論問題トナル筈ナク又將來ニ於テモ同國ガ獨立國デアリ關稅制度ガ存スル以上將來諸外國ニ承認サル、時ニハ所謂關稅ノ最惠約款ノ適用ヲ受クルヲ以テ無條件ニ我國ニ輸入サル、ガ如キコトナカルベシト説ク

高野北海道廳農林技師 北海道ハ條件ニ惠マレナバ十萬町歩位ノ増殖可能ニシテ昨年本省ニ報告シタル二萬三千町歩ハ最惡ノ場合ナル故此點ハ更ニ道府縣ノ事情ヲ調査ノ上割當ヲ慎重ニサレタシト述べ五箇年後ニ三百萬石ノ増殖トナリタル場合ニモ用途ノ關係ヨリ加奈陀小麥ノ輸入ヲ必要トスルヤニ考ヘラル、モンノ分ダケ過剩トナラズヤ又製粉會社ハ農家ノ自家製粉等ヲ見越シテ支那、滿洲等ニ對スル輸出向ノモノニ轉向セントスルヤニ聞クモ將來ノ小麥粉輸出ハ有望ナリヤト質ス

間部農産課長 昭和二年ニ人口食糧問題調査會ノ資料トシテ作成セル需給推算ニ依レバ昭和三十二年ニ於ケル小麥需要高ハ大體二千萬石ナル故單ニ五箇年後ト云フコトヲ考フレバ或ハ過剩ノ問題ヲ生ゼンモ將來ハ少クトモ現在ノ消費ノ二倍トナルモノニテ栽培面積ニ於テモ相當擴張ノ必要アリ斯ノ

如キ點モ考慮セラレタシ三百万石増産後ニ於ケル需給推算中ニハ加奈陀輸入小麥ヲモ或ル程度考察シアリ又特殊用途ノタメ輸入スル小麥ノタメニ需給ノ均衡ガ破ル、如キ場合ニハ現ニ獨逸、伊太利、佛蘭西等ニ於テ實施サレツ、アル「クオート」法ノ如キ制度ヲ採用スルコトニヨリ緩和シ得ベシ又農家ノ自家製粉ハ或ル程度迄ハ當然ノコトニシテコノタメニ製粉ノ賣行不振トナルコトハ豫想セラ

ル、モ製粉會社ハ製粉元價ニ比シ相當高價ニ販賣シツ、アレバ多少利益ヲ低下セバ小麥粉ノ賣行ニ影響スルガ如キコトナカルベシ尙現在ノ滿洲、支那方面ニ對スル輸出小麥粉ノ原料ハ戻稅ノ關係上總テ外國小麥ガ使用セラレツ、アリ從ツテ若シ將來滿洲小麥ノ増産ガ行ハレ同國ニ於ケル製粉事業ガ發達セバ我國ノ製粉會社ニハ打撃トナランモ之ハ滿洲ノ發展上止ムヲ得ズト説キ裏作物トシテハ菜種ノ如キ重要ナルモノアリ又大麥、稈麥ノ如キモ急激ニ減少スルコトハ避クベキトセバ將來小麥ノ作付面積ヲ増加スルコトハ左程容易ナラズ從ツテ反當收量増加ノ方面ニ力ヲ注グハ肝要ナリト述

ブ

高野北海道廳農林技師 農家ノ自家製粉ヲ獎勵スルトキハ製粉會社ノ販路ヲ狹メ小麥價格ノ下落ヲ來シ結局不利トナルコトナキヤト質ス

間部農産課長 農家ノ自家製粉ハ一面小麥消費ヲ増加セシムルトモ思ハル、ニヨリ小麥ノ價格ガ一概ニ下落スルトハ考ヘラレズ尤モ小麥生産者ノ産業組合組織ニヨル大製粉モ考ヘラレザルニ非ザルモ差當リ自家製粉ノ獎勵ハ農家ノ餽飪、團子等ノ爲ノ製粉ノ程度ニテ十分ナラント答フ

午後四時三十分休憩

午後四時五十分再會

井上滿鐵經濟調查會技術員ヨリ滿洲ノ小麥ニ關シ、安藤農事試驗場長ヨリ滿洲ノ農業事情ニ關シ夫々講演アリ

午後六時五分散會

四月十七日（月曜日）午前九時二十分開會

間部農産課長議長席ニ着ク

議長（間部農産課長）農林省提出協議事項五「小麥ノ乾燥、調製、包裝及貯藏ノ指導督勵ニ關スル件」ヲ議題ニ供ス

森農林技師 提案要旨ヲ説明ス

間瀬岐阜縣農事試驗場長 昭和七年度ニ於テ農林省委託ニヨリ施行セル小麥火力乾燥ニ關スル試驗結果ノ概要ヲ報告ス

關塚茨城縣農事試驗場長 小麥原種圃擴張ノ結果天候ノ如何ニヨリテハ所要種子ノ火力乾燥ヲ行フ要アリ又採種圃ニ於テモ同様ナリ小麥火力乾燥ト發芽竝ニ其後ノ生育關係ニ付テノ試驗成績アリヤ包裝ニ付テモ完全ナルモノアラバ承リタシト質ス

寺尾農事試驗場技師 昨年「ジャーマル・オヴ・アグリカルチュラル・リサーチ」ニ攝氏四十度以上

ニテ乾燥セル小麥ハ可成リ發芽ヲ害セラレ且ツ發芽セルモノモ相當成育ヲ害セラル、意味ノ某州ノ試驗場ノ報告アリタリ尙鹿兒島縣ニ於テモ試驗セラレタルヤニ記憶スト答フ

内藤鹿兒島縣農事試驗場長 未ダ斷定ヲナシ得ザルモ昨年金岡式ヲ用ヒ七十度ニテ乾燥セルモノハ相當發芽ヲ害セラレタリト報告ス

久保群馬縣農事試驗場長 以前本縣ニ於テ行ヒタル試驗ニ依レバ水分十三%位ノモノヲ五十五度以上ニテ五時間乾燥シタル時ハ被害ヲ認メタルモ五十度ノ場合ハ何等障害ヲ認メザリシタメ爾來五十度迄ノ範圍ニテ乾燥ヲ獎メ居ルモ別段發芽ニ障害ヲ認メズト報告ス

寺尾農事試驗場技師 前述ノ米國ニ於ケル試驗ハ我國ニモ適用シ得ベキモ之ハ獨リ乾燥溫度ノミナラズ種子ノ含有水分トモ重大ナル關係アリ小麥ニ付テハ精密ナル試驗ナキモ種子ノ發芽歩合ノ減少ト乾燥ニヨル種子中ノ蛋白質ノ凝固ノ曲線トハ大體並行スルモノ、如シト説明シ之等ノ問題ニ關シテハ既ニ一部ハ本省ヨリ大原農業研究所ニ研究ヲ委託シアルモ農事試驗場ニ於テモ亦研究ノ必要ヲ認メ居レリト述ブ

渡邊農林技師 小麥ノ包裝ハ一重俵裝、二重俵裝、三本繩複式編俵、叭、麻袋等アルモ最モ多ク用ヒラル、ハ二重俵裝ナリ之等ノ何レガ完全ナルカハ各道府縣ノ事情ニヨリ判斷スベキモノナルモ製粉

會社方面ニテハ麻袋ヲ希望スル如シ但シ麻袋ハ農家ニテ自給シ得ザル缺點アリト答フ

秋元農事試験場技師 岐阜縣、新潟縣等ニ普及セル火力乾燥室ハ四十度以上ニナル場合少キヲ以テ採種種子ノ乾燥ニ用ヒ得ル實行性アルモ火力乾燥機ハ少クトモ最初五、六十度ノ溫度ヲ出サレバ乾燥能率ヲ低下シ効果ノ不充分ナル關係上採種種子ニ用フルコトハ現在ノトコロ危険ニ非ズヤト説ク
關塚茨城縣農事試験場長 茨城縣ニテハ乾燥室ノ獎勵ヲナシ居ルモ栽培種子ハ乾燥室ニテ乾燥セルモノヲ用ヒテ差支ナシト當業者ニ斷言シ得ルヤト質ス

寺尾農事試験場技師 將來研究ノ要アルモ試験方法ガ正確ナリトセバ前述ノ米國ニ於ケル成績ハ我國ニ於テモ參考トナシ得又從來農事試験場ニ於テ乾燥室ヲ用ヒ實驗用種子ノ乾燥ヲナシタル經驗ニヨルモ四十度以下ナラバ障害ナシト答フ

關塚茨城縣農事試験場長 製粉會社側ハ麻袋ヲ歡迎シ事情ニヨリテハ會社ヨリ農家ニ貸與シテモ差支ナシトノ意向ヲ有スル如クナルモ麻袋ハ検査等ノ場合ニ不便アリ本省ノ方針如何ト質ス

渡邊農林技師 麻袋ハ運搬ノ際鈎穴ヲ生ズル缺點アルモ其ノ他ニ特ニ検査上不都合アリトハ聞キ及バズ本省トシテハ包裝統一ノ意向ナシト答フ

高野北海道廳農林技師 小麥ノ製粉竝ニ貯藏上適當ナル含水量如何ト質ス

渡邊農林技師 製粉會社ノ協定ニ依レバ十三%以上ハ受入拒絕品、十一%以内ハ格上品トナリ居レリ

從ツテ製粉原料小麥ハ少クトモ十二%乃至十一%ニ乾燥スルヲ要ス又貯藏ニハ十一%以内ニ乾燥スル必要アリト答フ

寺尾農事試験場技師 小麥格付ノ基礎資料トシテ各地方穀物検査所ヨリ提出ノ重要品種ノサンプルニ百餘點ニ付含有水分ヲ檢定セル結果ニ付説明ス

水内福岡縣農事試験場長 福岡縣ニテハ昨年「シラトビムシモドキ」ノ爲ニ發芽ヲ害サレタルモノ尠カラズ縣農事試験場及農家ニテ實驗セル所ニヨレバ有機質肥料ノ施用箇所ニ多クノ被害アリシモ大豆粕ノ施用箇所ニハ被害ヲ見ズ又種子ノ「ナフタリン」ニヨル處理ニテ被害ヲ見ザリシ實驗アルモ防除試驗成績等アラバ承リタシト述ブ

秋元農事試験場技師 鴻巣試驗地ニテ種子ニ「ナフタリン」ヲ混ジ播下シタル成績ニヨレバ反當ニ封度以上ヲ使用セバ發芽ニ危険アリ但シ昨年ニ於ケル一回ノミノ成績ナル故斷言シ難シト答フ

寺尾農事試験場技師 大豆粕、穀等ハ該蟲ノ嗜好物ナルヲ以テ之ヲ施用スルトキハ蟲ガ其方ニ集リタメニ芽ヲ食害セザルモノニテ要スルニ蟲ノ發生ノ量ニヨリ「ナフタリン」ト誘致スル嗜好トヲ適當ニ施サバ有効ナラント答フ

新倉佐賀縣農事試験場長 佐賀縣ノ水田作小麥ニ於テハ被害多ク寒クナルニ從ヒ蟲ノ活動猛烈トナルヲ以テ早播ヲナシ且ツ播種ト同時ニ大豆粕ヲ施スヤウ獎メ居レリト報告ス

上遠農林技師 「シラトビムシモドキ」ノ發生ハ年十數回アリ佐賀縣ノハ「ヤギトビムシモドキ」ニ非ズヤト説ク

織田愛知縣農林技師 麻袋ハ二重俵裝ニ比シ貯藏中ノ蟲害多シト聞クモ試験成績アリヤ又麻袋ヲ使用スル場合蟲害防除ノ良法アリヤト質ス

渡邊農林技師 小麥ニ付テ包裝ト蟲害トノ關係ヲ試験シタルヲ知ラズ米ノ試験ニ於テ緊括ノ緩キ部分ニハ蟲害多キ點ヨリ類推スルニ麻袋ハ緊括比較的緩ク且ツ薄キヲ以テ蟲害ヲ受ケ易カラント答フ

森農林技師 製粉會社ニ於テモ水分十二%以上ノモノニ麻袋ヲ使用スルコトハ貯藏上不適當ト認メ居ル如シ尙麻袋ニテ貯藏スルトキハ俵ニ比シ間隙少キタメ空氣ノ流通惡ク從ツテ乾燥不良ノ場合ハ酸酵、腐敗ノ虞多ク且ツ藥劑燻蒸ニモ不便ナル故農業倉庫ニテ貯藏ヲナス場合ハ之等ノ點ヲ考慮シ適當ナル包裝ヲ行ハレタシト述ブ

家村愛媛縣農林技師 製粉會社ハ目減ヲ補フ意味ニテ成可ク斤量ノ多キモノヲ望ム關係上生産者トシテハ餘分ニ若干ノ增量ヲ餘儀ナクセラル、如キ場合アリ此ノ點本省ハ如何ナル意見ナリヤ尙百斤十六貫ニ斤量ヲハカリ俵ニ移ス簡單ナル裝置アラバ承リタシ又乾燥調製中ニ黑穗病粒ヲ除去スル方法ナキヤト質ス

渡邊農林技師 目減ニ關シテハ試験ヲ行ヒシコトナシ又地方ニヨリ乾燥程度ニモ相違アルヲ以テ一率ニ目減ヲ決定スルコトハ困難ナラント答フ

間部農産課長 過渡的ニハ止ムヲ得ザルモ商人側ニ乗セラレザルヤウナル可ク乾燥ヲ充分ニ行ハシメ一定ノ增量ヲナスガ如キハ避ケラレタシト述ベ黑穗病粒ハ調製中ニ除去スルコト困難ナラント答フ

森農林技師 俵ニ移スタメニ兵庫縣下ニテ自轉車ノ車輪ノ廢物ヲ利用シ漏斗ヲ取付ケタルモノヲ使用スル向アリ尙斤量ハ十六貫百斤ニ統一スルヲ便利ナリト考フル故今後新タニ小麥検査ヲ開始セラル、府縣ニ於テハナルベク左様ニ決定サレタシト述ブ

田口福井縣農事試驗場長 福井縣ニ於テハ原種ノ乾燥、燻蒸ハ程ノ儘ニテ行フ豫定ナルモ「クロールピクリン」等ノ使用量ト含有水分トノ關係如何ト質ス

秋元農事試驗場技師 詳細ナル試験成績ナキモ農事試驗場ニ於テ使用スル種子ニ對シ風乾ニ於テ四「ポンド」ノ二硫化炭素ヲ使用シタル場合含有水分十二%以下ノモノニハ發芽ニ害ヲ認メズト答フ

間部農産課長 以上問題トナリタル事項ニ付テハナルベク種々ノ試験成績ヲ纏メ何等カノ形ニ於テ各位ノ參考ニ供スベキモ各位ニ於テモ一層ノ努力ヲ以テ之等ノ障礙ヲ除去シ目的ノ達成ニ努メラレタシト希望ス

高野北海道農林技師 北海道ニテハ脱粒前ニ於ケル乾燥ヲ獎勵シツ、アルモ之ニ關聯シ他府縣ニ適當ナル方法アラバ承リタシ尙赤黴病ニ關スル試験成績承リタシト述ブ

間部農産課長 赤黴病ノ防除試験ハ本省ヨリ千葉縣ニ委託シ今後モ試験ヲ繼續スル豫定ナリ尙赤黴病ノ病菌ニ付テハ大原農業研究所ノ西門博士ノ研究ガ近ク完成セラル、由ナル故其ノ結果ニ依リ防除法ノ見當モツクコト、考ヘラルト答フ

上遠農林技師 麥蛾ノ害ニ付テ觀ルニ刈取後圃場ニ於テ長ク乾燥スルトキハ麥蛾ノ害アルヲ以テ注意ヲ要ス尙北米合衆國ニ於ケル試験ニ依レバ麥蛾ハ卵、幼蟲、成蟲共ニ攝氏五十度位ノ火力乾燥ニヨリテ死滅シ其ノ試験ニ於テハ攝氏五十度ニテハ發芽力ニ影響ナキ旨報告サレ居ルト説明ス

議長(間部農産課長) 農林省提出協議事項六「小麥生産費調査ニ關スル件」ヲ議題ニ供ス
間部農産課長 小麥生産費調査ノ重要性ニ付テ述ベタル後調査ニ關シ最善ノ努力ヲ致サレタシト希望ス

森農林技師 本省提出案ニ付逐條解説ス
織田愛知縣農林技師 米穀生産費調査農家ニハ手當ヲ支給サレ居ルヲ以テ小麥生産費調査農家ニモ考慮サレタシ尙道府縣ニ對スル調査農家戸數ノ割當ヲ至急決定セラレタシト希望ス

間部農産課長 手當ハ大體米穀生産費調査ノ場合ト同様ノ見込ナリ但シ米穀生産費ト同一農家ノ場合ハ多少加減スベシ尙道府縣米穀生産費調査主任官トノ聯絡ニ付テハ米穀部ト協議スベシト答フ
森農林技師 調査農家戸數ハ各道府縣四戸乃至八戸ノ豫定ナルモ餘裕アル場合ハ多クトモ差支ナシト

答フ

議長(間部農産課長) 農林省提出協議事項二及三ニ付テハ委員會ニテ審議サレタシト述ブ
午後零時二十五分休憩
午後一時三十分委員會開催

第一委員會

農林省提出協議事項二「小麥增收競技會審査方法ニ關スル件」附議

委員長 前田岡山縣農事試驗場長

- 委員 青森 宮城 秋田 山形 栃木 埼玉 東京 富山 福井 山梨 岐阜 愛知 滋賀 大阪 鳥取 島根 岡山 廣島 德島 高知 佐賀 長崎 大分 各府縣農事試驗場長及小麥増殖獎勵技術官

第二委員會

農林省提出協議事項三「小麥増殖成績競進會實施計畫及審査方法ニ關スル件」附議

委員長 安孫子北海道農事試驗場長

- 委員 北海道 岩手 福島 茨城 群馬 千葉 神奈川 新潟 石川 長野 静岡 三重 京都 兵庫 奈良 和歌山 山口 香川 愛媛 福岡 熊本 宮崎 鹿兒島 各道府縣農事試驗

場長及小麥増殖獎勵技術官

四日十八日（火曜日）午前九時三十分開會

間部農産課長議長席ニ着ク

間部農産課長 注意事項ヲ述ブ

織田愛知縣農林技師 昭和九年度ヨリ全般ノ事業内容等ニ更改ヲ加ヘラル、ナラバ道府縣ノ豫算編成

前ニ決定セラレタシトノ希望ヲ述ブ

西田福井縣農林技師 經理ニ關スル事項ハ本省ヨリ直接縣會計課ニ通牒サレタシト述ブ

間部農産課長 不日農務局長ヨリ通牒スベシト答フ

關塚茨城縣農事試驗場長 現在ノ實行委員ノ選任方法ハ實狀ニ則セズ實行委員トシテハ寧ロ町村農會

技術員、町村勸業主任等ヲ任命スル方適當ナラズヤト質ス

間部農産課長 實行委員設置ノ趣旨ハ當業者中ノ適當ナル人物ヲシテ誘掖セシメントスルニアリ一方

町村農會技術員等ハカ、ル特別ノ辭令ナクトモ實行委員ノ上ニ立テ當然活動スベキモノナリト答フ

下山香川縣農林技師 實地指導旅費ハ管外ノ優良事例等視察ノ旅費ニ使用シ得ルヤト質ス

森農林技師 原則トシテ管内ノミニ限ルヲ以テ縣ノ職員ノ縣外視察等ニ支出スル事ハ許サレズ但シ郡

農會ノ技術員ガ縣内ノ他郡ニ出張スル如キ場合ハ豫メ縣ニ於テ獎勵委員等ニ任命シ其ノ資格ニ於テ

縣ヨリ出張セシムルハ差支ナシ

木村熊本縣農林技師 昭和九年度ヨリノ事業内容ノ更改ニ付テハ道府縣ノ具體的事情ヲ徴シ成可ク速

カニ決定サレタシト述ブ

間部農産課長 昭和九年度ニ交付スベキ金額ハ昭和八年度ニ交付セル金額ノ範圍内ト承知サレタシサ

レバ大體其ノ範圍ニテ豫算ヲ計上シ多少ノ變更ハ參事會ニ附議スルノ方法ヲ採ラレタシト答フ

織田愛知縣農林技師 貯藏中ノ燻蒸ニ要スル藥劑購入等ハ特殊事業トシテ認メラル、ヤ又經理ハ産業

組合、農會等ノ藥劑購入助成トシテ可ナリヤト質ス

間部農産課長 本省ノ手持經費ヨリ多少捻出シテ交付スル見込ナリ尙經理ニ付テハ別途通牒ヲ出スベ

シト答フ

森農林技師 追加交付シ得ル金額ハ僅少ナルヲ以テ道府縣ニ於テモ特殊事業費ノ内ヨリ出來得ル限り

捻出サレタシ尙各地方ニ於テハ既ニ販賣統制計畫ガ完了シツ、アルヲ以テソレニ基キ計畫及所要經

費ノ大體ヲ農産課長宛報告サレタシト述ブ

議長（間部農産課長） 十七日午前ニ引續キ農林省提出協議事項六「小麥生産費調査ニ關スル件」ヲ議

題ニ供スル旨ヲ宣ス

笹川山梨縣農林技師、月原滋賀縣農林技師、竹内青森縣農林技師、黒住岡山縣農林技師ヨリ調査上ノ

細目ニ關スル質問アリ之ニ對シ森農林技師詳細ニ説明ス

間部農産課長退席長瀬農務局長議長席ニ着ク

議長(長瀬農務局長) 第一委員會委員長ノ報告ヲ求ム

前田岡山縣農事試驗場長 第一委員會ノ經過竝ニ別項ノ如キ決議ヲ報告ス

長尾兵庫縣農林技師 兵庫縣ハ五畝刈ト決定シ居ル故委員會案ニ統一サル、トキハ計畫ヲ變更スルノ

要アリト述ブ

森農林技師 委員會案ノ趣旨ハ十分諒解スルモ本省トシテハ全刈又ハ一畝宛三箇所ヲ刈取ルコト、シ

坪刈ハ認メザル方針ナルヲ以テ委員會案ヲ其ノ儘採用スルコトハ困難ナラン尙全刈ヲ理想トスル見

地ヨリスレバ五畝刈ハ三畝刈ニ比シ全刈ニ近似スルモ本省トシテハ成可ク全刈又ハ三畝刈ニ統一シ

タキ意向ナリト答フ

館谷富山縣農林技師 全刈ハ理論トシテハ審査上正確ヲ期シ得ルモ從來ノ例ヨリスレバ面積ヲ廣クス

ルコトハ弊害ヲ伴ヒ却ツテ正確ヲ失スル懼アリト述ブ

高野北海道農林技師 審査ノ實施上全刈ハ不適當ナリ五坪宛三箇所或ハ十坪宛三箇所位ノ程度ニ刈

取リテハ如何トノ意見ヲ述ブ

久保群馬縣農事試驗場長 群馬縣ニ於テ四、五年間實驗セル結果ニ依レバ全刈ヲ行ヒ全重量ヲ秤リ其

ノ百分ノ一乃至十分ノ一丈ケヲ調製シタル後全面積ニ換算シテ實收ト比較スルニ殆ンド誤差ヲ認メ
ズ此ノ方法ガ最モ適當ナラズヤト説明ス

議長(長瀬農務局長) 只今ノ意見竝ニ委員會案ハ後日審査方法決定ノ際參考トシテ十分參酌考慮スベ

シ本案トシテハ委員長ノ報告通り可決確定セラレタシト述ベ第二委員會委員長ノ報告ヲ求ム

安孫子北海道農事試驗場長 第二委員會ノ經過竝ニ別項ノ如キ決議ヲ報告ス

議長(長瀬農務局長) 委員長ノ報告通り可決確定スベシト述ブ

長瀬農務局長 閉會ノ辭ヲ述ブ

午後零時二十分閉會

第九 會議出席者氏名

- 北海道 農事試驗場長 安孫子孝次、地方農林技師 高野重一
- 青森 農事試驗場長 吉田清、地方農林技師 竹内久藏、五戸分場長 川村遙
- 岩手 農事試驗場長 猪狩源三、地方農林技師 上原盛造
- 宮城 農事試驗場長 寺澤保房、地方農林技師 阿部謹吾
- 秋田 農事試驗場長 足立啓次、農林技師 高橋茂

山形	農事試驗場長 鈴木忠三郎、農林技手 北真藏
福島	農事試驗場長 佐本榮次郎、地方農林技師 廣瀬退藏
茨城	農事試驗場長 關塚茂七、地方農林技師 藤平重信
栃木	農事試驗場長 内山恒三、地方農林技師 田中武夫
群馬	農事試驗場長 久保貞次郎、地方農林技師 新野水作
埼玉	農事試驗場長 松本芳道、地方農林技師 何木重治
千葉	農事試驗場長 田中定夫、地方農林技師 筒井順太郎
東京	農事試驗場長 佐藤信哉、地方農林技師 山口尹市
神奈川	農事試驗場長 藤川弘一、地方農林技師 奥山元吉
新潟	農事試驗場長 西大條透、地方農林技師 西村強
富山	農事試驗場長 小林貢、農林技手 館谷豐吉
石川	農事試驗場長 橋本驥一、農林技手 江戸義宗
福井	農事試驗場長 田口秀雄、農林技手 西田佐右衛門
山梨	農事試驗場長 小林榮一、地方農林技師 笹川孝助
長野	農事試驗場長 前田源吉、地方農林技師 袴田法司

岐阜	農事試驗場長 間瀬鉦太郎、地方農林技師 北川尹行
靜岡	農事試驗場長 上野操、地方農林技師 植松喬
愛知	地方農林技師 岩槻信治、地方農林技師 織田武市
三重	農事試驗場長 中村義雄、地方農林技師 龜田孫六
滋賀	地方農林技師 松尾大五郎、地方農林技師 月原寅市
京都	地方農林技師 吉村季貞、地方農林技師 森熊三
大阪	農事試驗場長 新見勇吉、農林技手 鳥井實太郎
兵庫	地方農林技師 松崎忠義、地方農林技師 長尾善治郎
奈良	農事試驗場長 春日直人、地方農林技師 宮崎重雄
和歌山	農事試驗場長 田中慶夫、地方農林技師 坂本健吾
鳥取	農事試驗場長 加藤廣造、農林技手 砂口行衛
島根	農事試驗場長 林忠昭、農林技手 笥泰雄
岡山	農事試驗場長 前田修治、地方農林技師 黒住宗市
廣島	農事試驗場長 平岩健吉、地方農林技師 熊田重雄
山口	農事試驗場長 袴田輔明、農林技手 吉田正人

第四一	優良農用器具機械=關スル調査	同	昭和七年三月
第四二	蜜柑刺粉蝨ノ天敵「シルベストリ」小蜂=關スル研究(第一報)	同	同
第四三	稻熱病ノ防除=關スル試験研究成績(第二報)	同	同
第四四	綠肥作物栽培分布圖	同	同
第四五	噴霧器=關スル試験成績	同	同
第四六	紫雲英ノ菌核病ト其ノ防除	同	同
第四七	稻熱病=關スル研究(第二報)	同	七月
第四八	小麥其他麥類ノ菌核病(雪腐)ト其ノ防除	同	十月
第四九	小麥ノ増殖獎勵=ツイテ	同	同
第五〇	農産課關係法規	同	同
第五一	小麥ノ銹病ト其ノ防除	同	同
第五二	螟蟲=關スル研究	同	昭和八年一月
第五三	苧麻ノ増殖獎勵=就イテ	同	同
第五四	農産物検査概要	同	同
第五五	昭和六年輸移出入植物検査統計(第八號) 附輸移出入植物病菌害蟲調査研究事業概要	同	二月
第五六	主要食糧農産物改良増殖獎勵事業要覽	同	三月
第五七	動力精米機比較審査成績	同	同
第五八	世界ニ於ケル小麥事情	同	同
第五九	穀物検査事業要覽(第九號)	同	同
第六〇	園藝要覽	同	同
第六一	小麥要覽	同	同
第六二	農産物検査概要	同	同
第六三	穀物要覽	同	同
第六四	稻熱病ノ防除=關スル試験研究成績(第三報)	同	同
第六五	工藝農産物要覽	同	同
第六六	稻熱病ノ防除=關スル試験研究成績(第四報)	同	六月
第六七	貯藏小麥ノ主ナル害蟲ト其ノ防除法	同	七月
第六八	一、日本産介殼蟲科デアスピ亞科=關スル研究 二、日本産介殼蟲科デアスピ亞科屬檢索表 三、日本産介殼蟲科デアスピ亞科=屬スル種ノ索引	同	八月
第六九	蔬菜及果樹ノ品種改種=關スル調査	同	十月
第七〇	第七十最近ニ於ケル歐羅巴諸國ノ穀物貿易制限策	同	十二月
第七一	第七十一優良農用器具機械=關スル調査	同	昭和九年二月
第七二	農産物検査概要	同	三月
第七三	農産物検査事業要覽(第十號)	同	同
第七四	小麥増殖獎勵協議會要錄	同	同
第七五			
第七六			
第七七			
第七八			
第七九			
第八〇			

德島	農事試験場長	東野市次郎、地方農林技師	鎌田理一
香川	農事試験場長	滿田正軌、地方農林技師	下山長次
愛媛	農事試験場長	納富金作、地方農林技師	家村守一
高知	農事試験場長	立川義夫、農林技師	三國佐雄
福岡	農事試験場長	水内哲雄、地方農林技師	奥村利雄
佐賀	農事試験場長	新倉晴光、地方農林技師	志水一雄
長崎	農事試験場長	田中富太郎、地方農林技師	石田勘助
熊本	地方農林技師	德永健吉、地方農林技師	木村茂
大分	農事試験場長	山口巖太郎、地方農林技師	桑仁之助
宮崎	農事試験場長	江上英三、地方農林技師	富田龜三
鹿児島	農事試験場長	内藤晉、地方農林技師	河野丑之助
拓務省	拓務技師	大谷信太郎	
樺太	樺太廳技師	佐藤司、中央試験所技師	川瀬逝二
南滿洲鐵道株式會社	經濟調査會參事	奥村愼次、經濟調査會技術員	井上實

農事改良資料目錄

番 號	書 名	刊 行 年 月
第 一	優良農用器具機械=關スル調査	昭和四年 六月
第 二	種藝=關スル協議會要錄	同
第 三	穀物検査事業要覽 (第六號)	同 八 月
第 四	穀物火力乾燥裝置ノ概要	同 十 月
第 五	道府縣農事試驗場=於ケル陸稻=關スル試驗成績概要	同 十二 月
第 六	主要食糧農產物改良増殖獎勵事業要覽	昭和五年 三月
第 七	昭和二年度農具共同利用=關スル調査	同 三 月
第 八	肥料要覽	同
第 九	病菌害蟲驅除豫防協議會要錄 (昭和四年四月開催)	同
第 十	昭和三年輸移出入植物検査統計	同
第一一	麥其他穀物要覽	同
第一二	本邦内地=於ケル麥酒用大麥及麥酒=關スル調査	同
第一三	豆類要覽	同
第一四	桃葉蜂=關スル研究	同
第一五	動力槓選別機比較審査成績	同
第一六	工藝農產物要覽	同
第一七	水稻栽培過程別時期=關スル調査	同
第一八	農產主任技術官會議要錄	昭和六年 三月
第一九	穀物検査事業要覽 (第七號)	同
第二〇	稻熱病ノ防除=關スル試驗研究成績	同
第二一	茶業要覽	同
第二二	農業用小型發動機審査成績	同
第二三	昭和四年輸移出入植物検査統計 第六號 附輸移出入植物病菌害蟲調査研究事業概要	同
第二四	優良農用器具機械=關スル調査	同
第二五	主要食糧農產物改良増殖獎勵事業要覽	同
第二六	道府縣=於ケル農產物改良増殖獎勵事業調査	同
第二七	道府縣=於ケル小麥=關スル試驗成績概要	同
第二八	園藝業要覽	同
第二九	Japanese Coccidae: I. The Genus Phenacaspis II. The Genus Kerfies in Japan	同
第三〇	稻熱病=關スル研究	同 四 月
第三一	水稻栽培=於ケル慣行施肥量及施肥期=關スル調査	同 五 月
第三二	稻熱病防除ノ方法トシテ種粒ノ消毒及藁處分	同 十二 月
第三三	植物検査官會議要錄	昭和七年 三月
第三四	豆類要覽	同 二 月
第三五	麥其他穀物要覽	同 三 月
第三六	穀物検査事業要覽 (第八號)	同
第三七	道府縣農事試驗場=於ケル大豆=關スル試驗成績概要	同
第三八	主要食糧農產物改良増殖獎勵事業要覽	同
第三九	農業用器具機械並共同作業場普及調査	同
第四〇	昭和五年輸移出入植物検査統計 (第七號) 附輸移出入植物病菌害蟲調査研究事業概要	同

昭和九年二月二十七日印刷
昭和九年三月一日發行

農 林 省 農 務 局

東京市京橋區入舟町二丁目九番地ノ二
印刷人 小 藥 政 吉
東京市京橋區入舟町二丁目九番地ノ二
印刷所 小 藥 印 刷 所
電話京橋五六七六番

終

